



hp officejet 5500 series all-in-one

invent

リファレンスガイド

hp officejet 5500 series
all-in-one

出版番号：Q3434-90213

初版：2003 年 7 月

アメリカ、ドイツ、シンガポールまたはマレーシアで印刷

注意

本書に記載されている内容は事前の通知なしに変更されることがあり、Hewlett-Packard Company がその内容を保証するものではありません。

Hewlett-Packard は本書の内容に瑕疵があった場合でもそれについて責任を負いません。また、特定目的のための市場商品力および適合性に関する暗黙の保証を含め、ただしこれに限らず、本製品の内容に関する明示的あるいは暗黙の保証もいたしません。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

注意：規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告！ 発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告！ 感電の危険性があります

1. セットアップの章に記述されている指示をすべてお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンラインヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

目次

ヘルプ情報 vii
メニューの概要 ix
梱包内容と各部の機能 xi
1 セットアップ 1
2 hp officejet 概要 31
3 原稿および用紙のセット 41
4 コピー機能の使用 53
5 スキャン機能の使用 65
6 ファクス機能の使用 67
7 ファクスのセットアップ 89
8 コンピュータからの印刷 101
9 サプライ品 105
10 hp officejet のメンテナンス 107
11 hp officejet 5500 series サポート 121
12 保証に関する情報 129
13 技術情報 133
14 HP Instant Share のセットアップと使用 145
15 トラブルシューティング情報 151

ヘルプ情報

このリファレンス ガイドでは HP Officejet の使用方法を説明し、インストールに役立つトラブルシューティングについて補足します。また、サプライ品とアクセサリの注文方法、技術仕様、サポート、保証に関する情報についても説明します。

以下の表は、HP Officejet についての補足説明をまとめたものです。

ヘルプ	説明
HP フォト イメージング ヘルプ	HP フォト イメージング ヘルプには、HP Officejet 用ソフトウェアの使用方法が詳しく説明されています。 **Windows ユーザーの場合**：[HP ディレクタ] から、[ヘルプ] をクリックします。 **Macintosh ユーザーの場合**：[HP ディレクタ] から、[ヘルプ] をクリックし、[HP フォト イメージング ヘルプ] をクリックします。
トラブルシューティング ヘルプ	トラブルシューティング情報にアクセスするには **Windows ユーザーの場合**：[HP ディレクタ] で ［ヘルプ］をクリックしてください。[HP フォト イメージング ヘルプ] のトラブルシューティングを開き、総合トラブルシューティングのリンクを辿るか、ご使用の HP Officejet に関するトラブルシューティング ヘルプのリンクを辿ってください。またトラブルシューティングは、エラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを押すことでも開けることがあります。本リファレンス ガイドの「トラブルシューティング」の章で説明しています。 **Macintosh ユーザーの場合**：Apple ヘルプ ビューアで、**[HP フォト イメージング トラブルシューティング]** をクリックし、**[HP Officejet 5500 Series]** をクリックします。
インターネット上のヘルプと技術サポート	インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます **www.hp.com/jp/hho-support** この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。
Readme ファイル	ソフトウェアをインストールすると、HP Officejet 5500 Series CD-ROM または HP Officejet 5500 Series プログラム フォルダのいずれからでも Readme ファイルがあればそれを表示できます。Readme ファイルには、このリファレンス ガイドやオンライン ヘルプにまだ載っていない最新情報が掲載されています。

ヘルプ	説明
ダイアログ ボックス ヘルプ (Windows のみ)	**Windows の場合**：その機能の説明を表示するには、次のいずれかを実行してください。 • その機能を右クリックする • その機能を選択してから、**[F1]** を押す • 右上にある [?] を選択してから、その機能をクリックする

メニューの概要

次の図は、HP Officejet のフロント パネル ディスプレイに表示される最上位のメニューを示したものです。

コピー

コピーマイスウ
シュクショウ / カクダイ
コピーヒンシツ
コピーヨウシサイズ
ヨウシ ノ シュルイ
ウスク / コク
キョウチョウ
カラーキョウド
デフォルト トシテ セッテイ

ファクス

ファクス バンゴウ
カイゾウド
ウスク / コク
ファクス ホウホウ
デフォルト トシテ セッテイ

スキャン

HP フォト イメージング ギャラリ

注意：このメニューの内容は、コンピュータから使用できるスキャン先の数によって異なります。

セットアップ

1. レポート ノ インサツ
2. タンシュクダイヤル ノ セッテイ
3. ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ
4. ファクス ノ ショウサイ セッテイ
5. ツール
6. プリファレンス

梱包内容と各部の機能

このセクションでは、HP Officejet の各部の名称と機能について説明します。

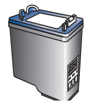
梱包内容

梱包を開き、次のすべてのアイテムがあることを確認してください。アイテムがないか、または壊れている場合、カスタマ ケア センターに連絡してください。同梱物の一部はプリンタ内部に入っています。用紙トレイとプリントキャリッジ アクセスドアを開いて取り出してください。

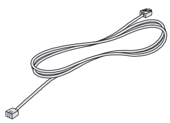
ご注意： 将来プリンタを搬送するときに備えて、すべての梱包材をとっておいてください。



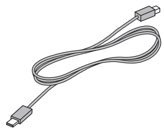
HP Officejet



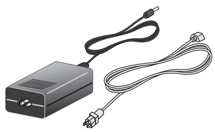
黒プリント カートリッジ
カラー プリント カートリッジ



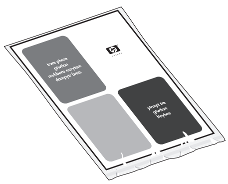
電話コード



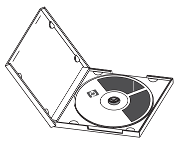
USB ケーブル



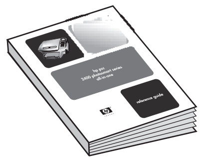
電源アダプタと
電源コード



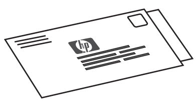
メディア サンプル キット



CD-ROM（2 枚）



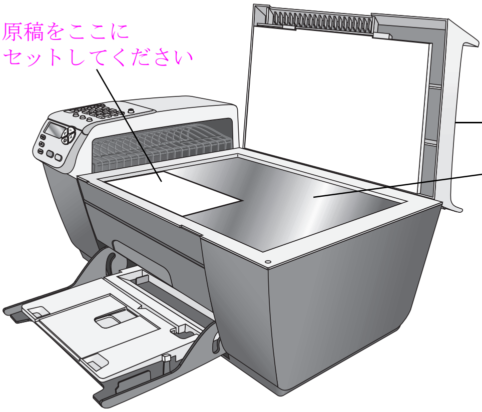
リファレンス ガイド

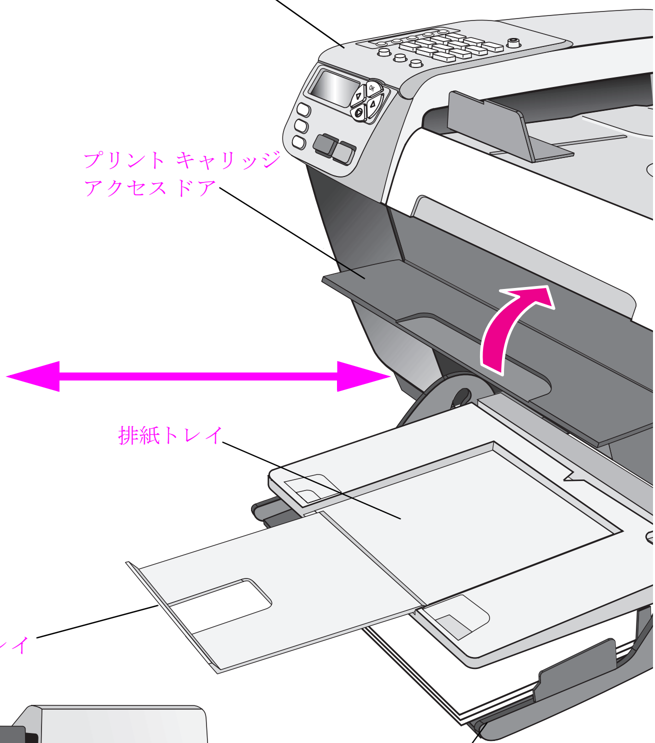


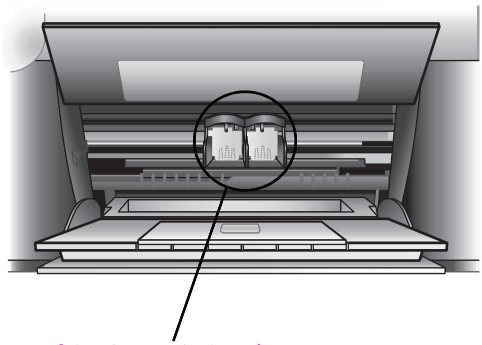
保証書

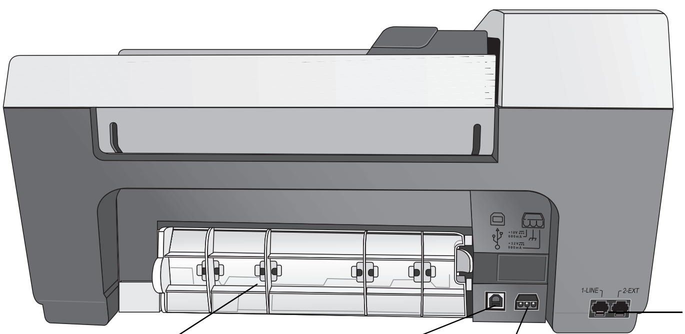
ご注意： USB ケーブルを接続する前に、HP Officejet 5500 Series CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入してください。

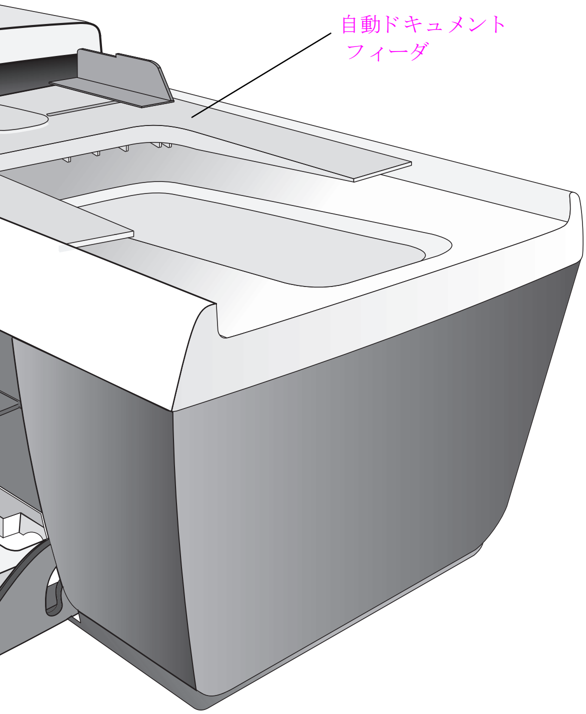
各部の名称と機能

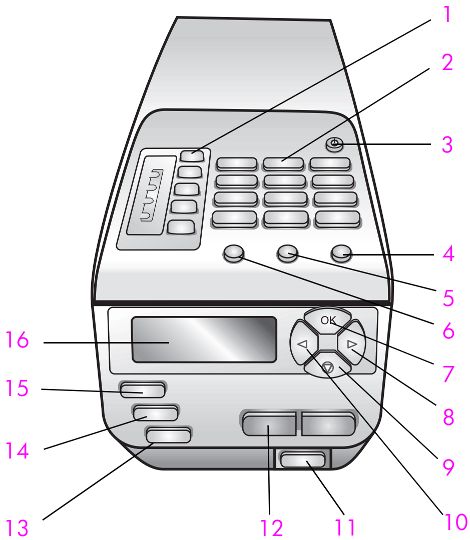

原稿をここに
セットしてください
カバー
コピー ガラス


フロント パネル
プリント キャリッジ
アクセス ドア
排紙トレイ
補助トレイ
給紙トレイ


プリント カートリッジ


1-LINE
2-EXT
電話と
留守番電話用プラグ
差込み口
後部アクセス ドア
USB ポート
電源コネクタ





1	ワンタッチ短縮ダイヤル：
2	キーパッド
3	**On**
4	セットアップ
5	リダイヤル / ポーズ
6	短縮ダイヤル
7	**OK**
8	右向き矢印
9	キャンセル
10	左向き矢印
11	自動ド キュメント フィーダの解除ボタン
12	[スタート] - [モノクロ]、[スタート] - [カラー]
13	スキャン
14	ファクス
15	コピー
16	フロント パネル ディスプレイ

1 セットアップ

All-in-one ユニットをセットアップするには、HP Officejet 自体をセットアップして、CD-ROM にあるソフトウェアをインストールしておく必要があります。次の手順を順序どおりに行ってください。USB ケーブルは、指示があるまで接続しないでください。ソフトウェアが正しくインストールできない恐れがあります。箱の梱包内容と、システム要件を確認してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 1 ページの **hp officejet のセットアップ**
- 5 ページの **PC のセットアップ**
- 20 ページの **Mac のセットアップ**

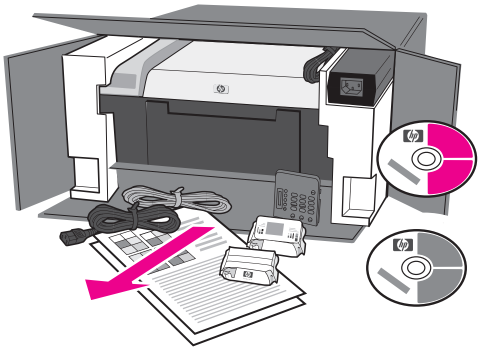
hp officejet のセットアップ

HP Officejet をセットアップするには、次の作業を行います。

- 梱包からの梱包物の取り出し
- 用紙のセット
- 電源コードと電話コード (USB ケーブルではなく) の接続
- プリント カートリッジの挿入と調整

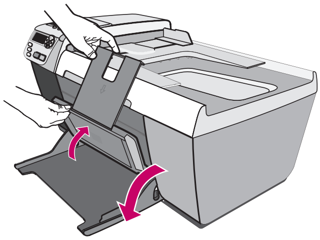
ご注意 : インストール ソフトウェアから指示されるまで、USB ケーブルを接続しないでください。HP Officejet がユーザーのコンピュータ上で正しく動作しないおそれがあります。

1 HP Officejet の梱包を解きます。

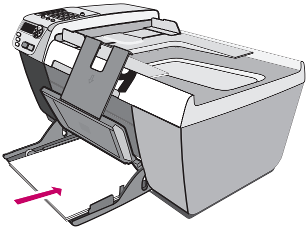


2 以下のように、普通紙をセットします。

a. 給紙トレイを下に降ろし、排紙トレイを上げます。

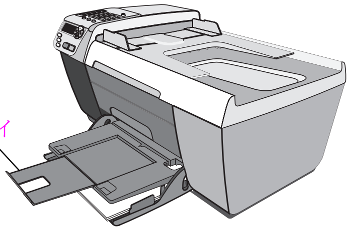


b. 用紙をゆっくりとセットします。枚数が多すぎないように注意してください。

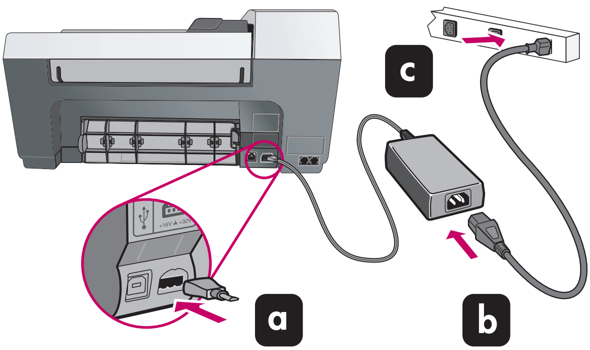


ご注意： 調整ページを印刷するために白い普通紙をセットします。

c. 排紙トレイを下に降ろし、補助トレイを開きます。

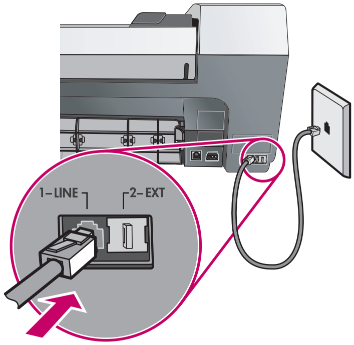


3 電源コードを接続します。



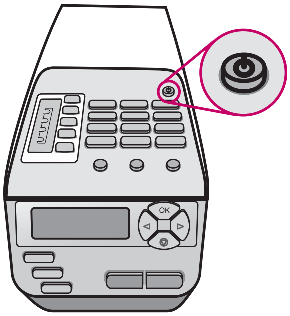
4 電話コードを次のように接続します。

a. 付属の電話コードを左側の空いている電話ジャック (1-LINE) に接続します。

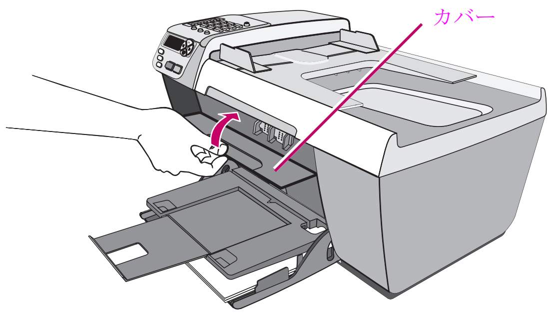


b. 留守番電話などの他の機器を接続したり、別のコードを使用したりする場合は、89 ページのファクスのセットアップを参照してください。

5 **On** ボタンを押して、機器の電源をオンにしてください。プロンプトがディスプレイに表示されるのを待ちます。



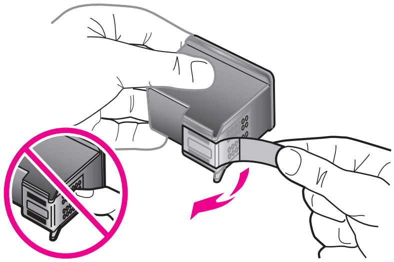
6 プリント キャリッジ アクセス ドアを持ち上げます。
プリント キャリッジは中央に移動します。



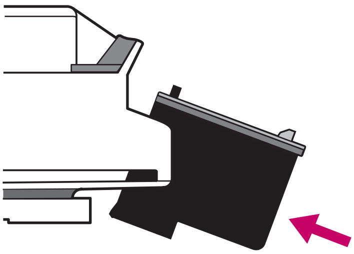
プリント カートリッジの挿入と調整

ご注意： HP Officejet 内の梱包材が、すべて取り除かれていることを確認します。

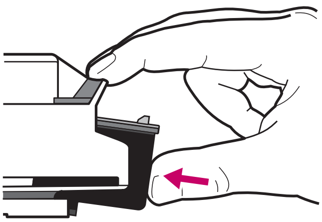
7 プリント カートリッジから明るいピンク色のテープを剥がします。金色の接点に触ったり、テープを貼り付け直したりしないでください。



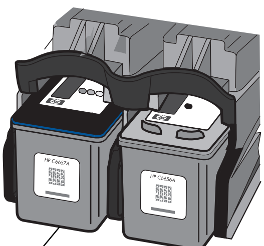
8 大きい HP ラベルを上にして、黒プリント カートリッジを持ちます。プリント カートリッジを図のようにわずかに傾けながら、右側のプリントキャリッジにセットします。プリント カートリッジが所定の場所にカチッとはまるまで、しっかり押します。



9 大きい HP ラベルを上にして、カラー プリント カートリッジを持ちます。プリント カートリッジを図のようにわずかに傾けながら、左側のプリントキャリッジにセットします。プリント カートリッジが所定の場所にカチッとはまるまで、しっかり押します。



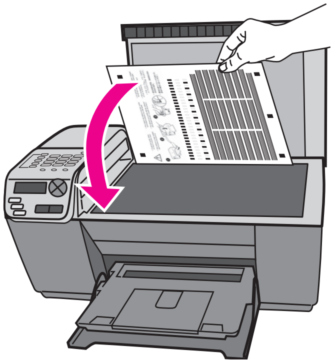
10 両方のプリント カートリッジが確実に装着されたことを確認します。



詳しくは、105 ページの**サプライ品**を参照してください。

11 プリント カートリッジ カバーを閉じて、**[OK]** ボタンを押します。数分以内に、プリント カートリッジの調整用のページが印刷されます。

12 調整用のページを、ガラス板の左下隅に合せて表を下にして置き、カバーを閉じます。



13 **[OK]** ボタンを押します。



ディスプレイ上に **[チョウセイ ガ カンリョウ シマシタ]** と表示されたら、調整は完了です。

14 この調整ページは再利用するか捨てるかしてください。

15 ハードウェアの設定が完了しました。コンピュータに戻ってください。以上で、コンピュータをセットアップする準備ができました。

PC を使用している場合は、次のセクション **PC のセットアップ**に進みます。

Mac を使用している場合は、20 ページの **Mac のセットアップ**に進みます。

PC のセットアップ

このセクションでは PC のセットアップ方法について説明します。Macintosh の場合は、20 ページの **Mac のセットアップ**を参照してください。

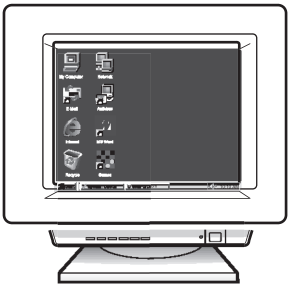
1 コンピュータの電源を入れ、Windows PC のデスクトップが表示されるまで待ちます。

開いているプログラムをすべて閉じたことを確認します。

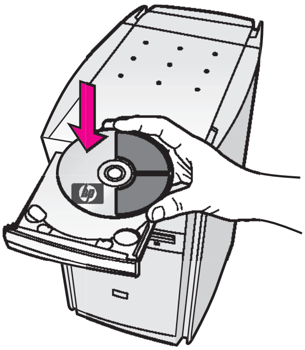
ご注意 : インストールするコンピュータが推奨環境を満たしていることをご確認ください。推奨環境は日本 hp インクジェットプリンタ ホームページでも確認することができます。

インストール前にはウィルスソフトなどの常駐プログラムも終了させてください。

すべてのインストールにはシステムの環境により 20 分から 1 時間以上かかります。



2 HP Officejet の Windows CD を挿入し、画面上の指示に従います。



ご注意： CD のインストール後、コンピュータ画面に何も表示されない場合は、151 ページのトラブルシューティング情報を参照してください。

*USB ケーブルはまだ***接続しない***でください。*



次へ

3 [次へ] をクリックします。

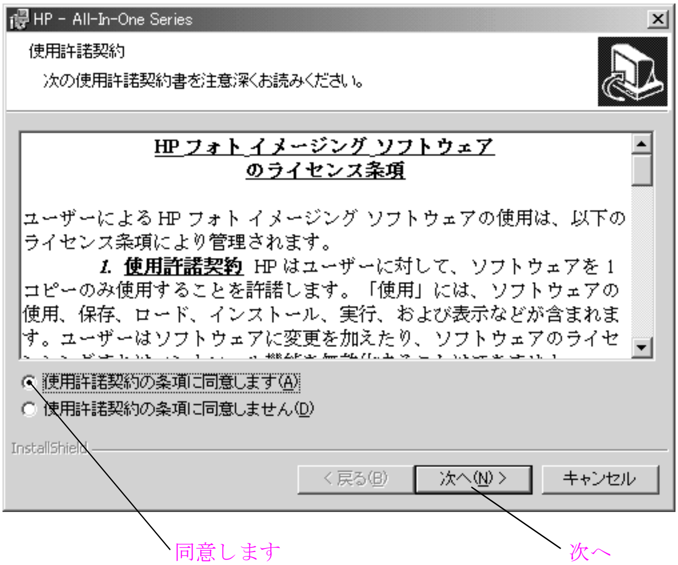
[システム要件の結果] 画面が表示されます。



詳細　　続行

4 いずれかの項目の横に黄色の三角が表示される場合は、**[詳細]** ボタンをクリックして詳しい情報を入手してください。それ以外は、**[続行]** をクリックします。

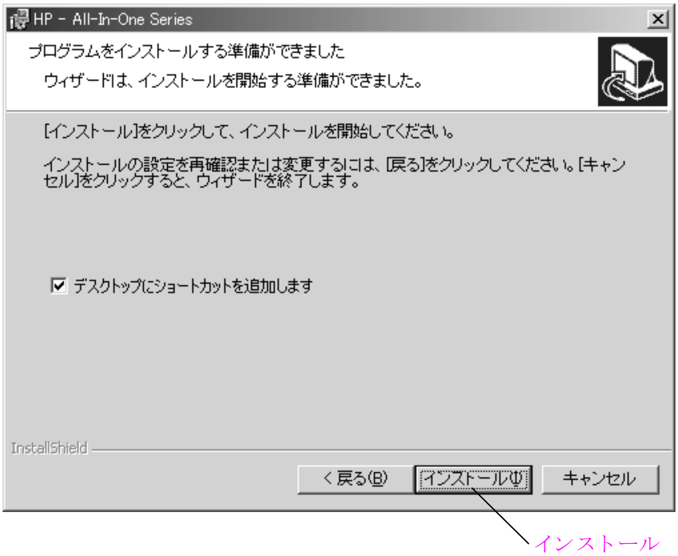
[使用許諾契約] が表示されます。



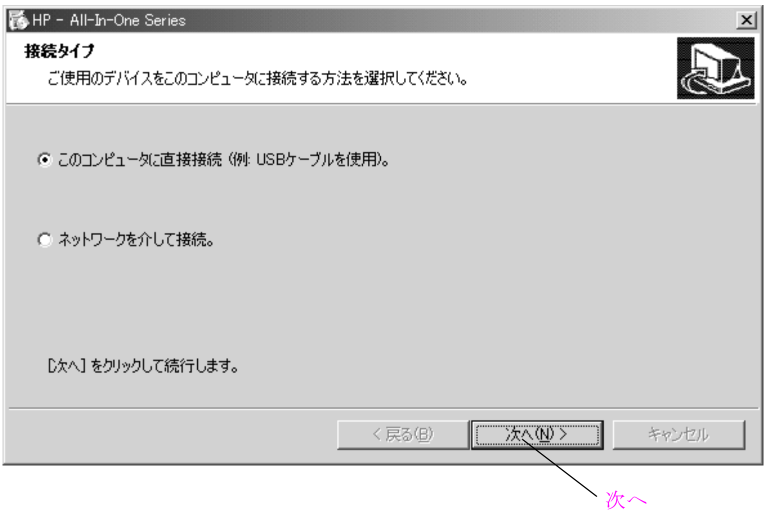
5 すべての項目に注意して読み終わったら、**[使用許諾契約の条項に同意します]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。



6 **[次へ]** をクリックして、デフォルト フォルダにインスト ールするか、**[変更]** をクリックして、別のフォルダにインスト ールします。それから **[次へ]** をクリックします。



7 **[インストール]** ボタンをクリックします。
[接続タイプ] 画面が表示されます。



※ ご使用の機種によってこの画面は出ない場合があります。

8 **[このコンピュータに直接接続]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。
ソフトウェアのインストールが始まります。



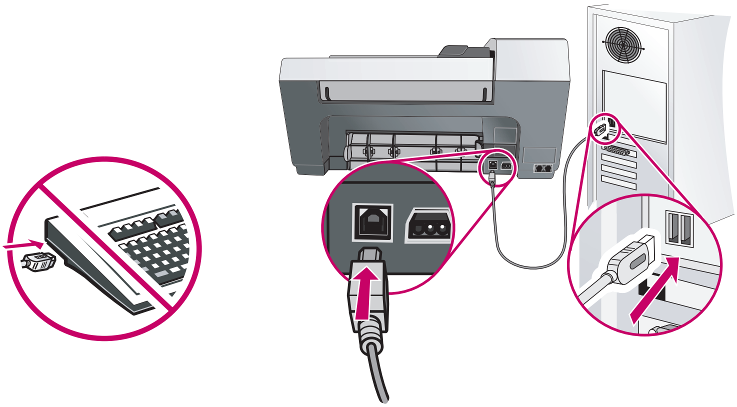
ご注意： ソフトウェアのインストールには、おおよそ 1 時間かかります。

ソフトウェアのインストールが完了したら、デバイスのセットアップウィザードが表示します。



9 USB ケーブルを接続します。

ご注意： コンピュータ上に [今すぐデバイスをセットアップします] 画面が表示されていることを確認してから、USB ケーブルを接続します。USB ケーブルを、キーボードや給電されない USB ハブに接続しないでください。

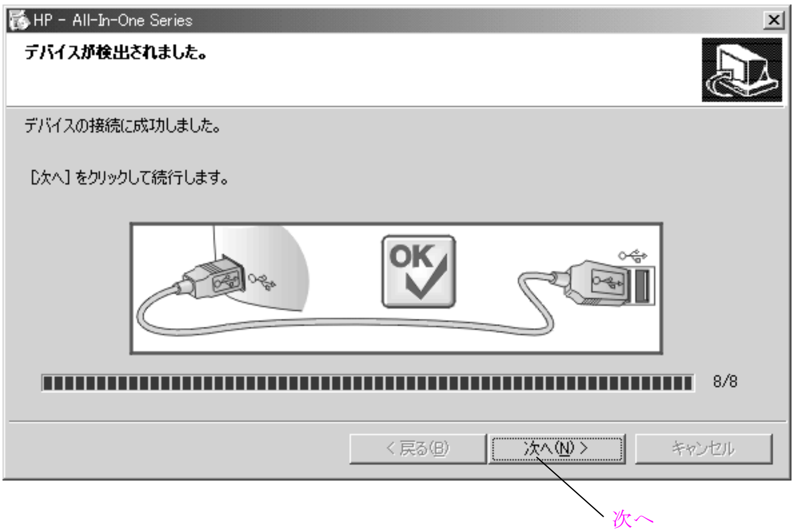


PC ソフトウェアのセットアップを終了する

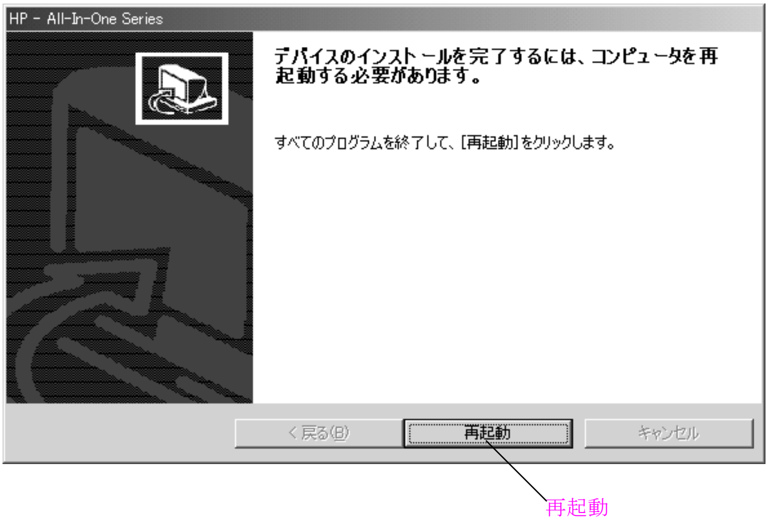
ご使用のオペレーティング システムの説明については、次に示します。

Windows Me/2000/XP の場合

緑のチェックマークを持つダイアログ ボックスが表示されます。



1　[次へ] をクリックします。
システムによっては、ソフトウェアのインストールが終了するまで 45 分以上かかることがあります。



2 ［再起動］ダイアログボックスが表示されると、［再起動］をクリックしてください。

3 コンピュータを再起動すると、ファクス セットアップ ウィザードが表示されます。画面上の指示に従って操作します。[インストールが終了しました] という画面が表示されたら、HP Officejet を使用することができます。ファクスのセットアップはキャンセルしてもインストール完了後に HP ディレクターから行うこともできます。ファクスのセットアップについては、本章のファクス セットアップ画面と手順をご覧ください。

Windows 98 の場合

Windows 98 に次の画面が表示されます。



1 [次へ] をクリックします。



2 ドライバを選択して、[次へ] をクリックします。推奨されるドライバが強調表示されます。



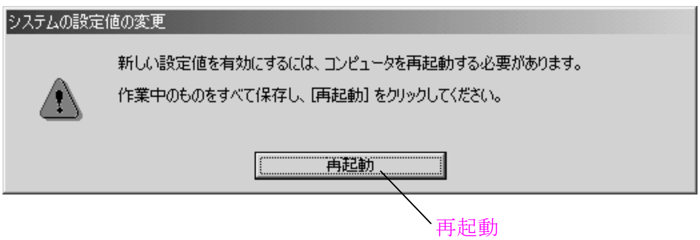
3 CD-ROM ドライブ チェックボックスだけを選択して、[次へ] をクリックします。



4 ［次へ］をクリックします。



5 ［完了］をクリックします。
いくつかの追加ソフトウェアが、コンピュータにコピーされます。
次の画面が表示されたら、［再起動］をクリックします。再起動後にインストールは続行されます。



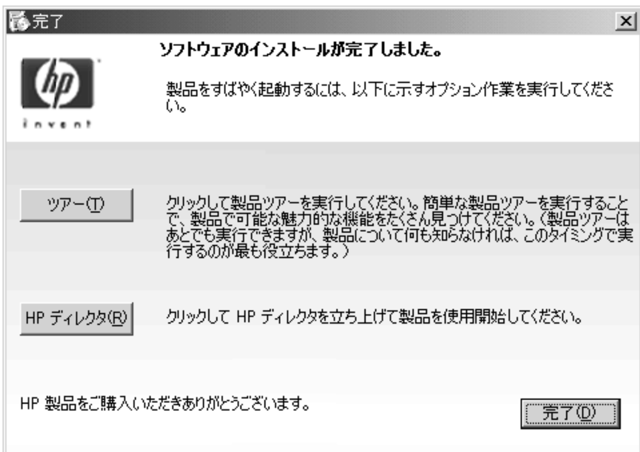
注意！ 再起動するとき、CD-ROM をコンピュータから取り出さないでください。CD-ROM を取り出すと、インストールが正常に終了しなくなります。

HP イメージング ディレクタへのショートカットがデスクトップ上に表示され、HP イメージング モニタのアイコンが画面右下のタスク バーに追加されます。

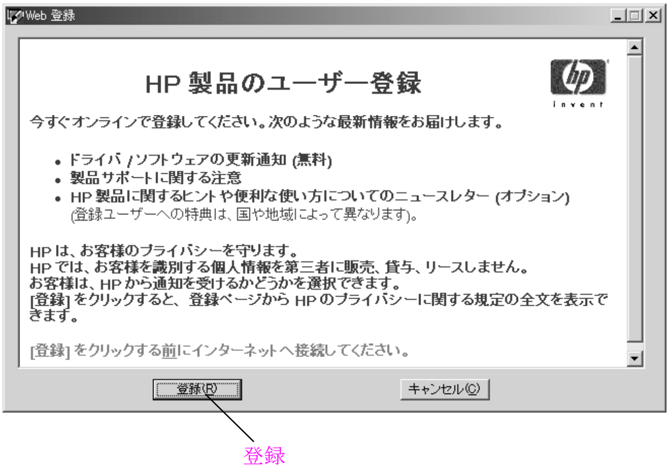


コンピュータを再起動すると、ファクス セット アップ ウィ ザード が表示されます。画面上の指示に従って操作します。**[ソフトウェアのインストールが完了しました]** という 画面が表示されたら、HP Officejet を使用できます。ファクスのセット アップは「 キャンセル」してもインスト ール後に HP ディレクターから行う こと ができます。

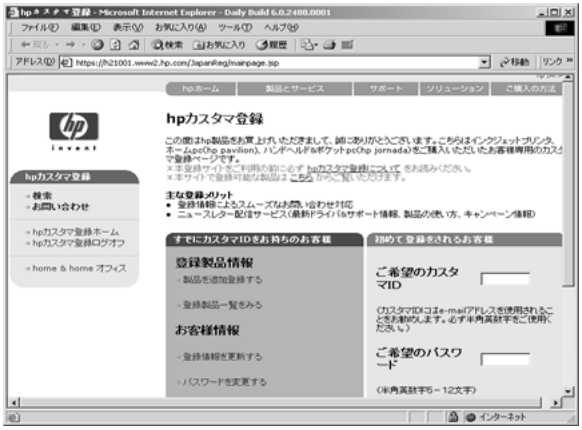
6 コンピュータを再起動すると、ファクス セットアップ ウィザードが表示されます。画面上の指示に従って操作します。[ソフトウェアのインストールが完了しました] という画面が表示されたら、HP Officejet を使用できます。



登録



1 **[登録]** をクリックすると、オンライン登録に進みます。
製品のオンライン登録をお勧めします。製品を登録すると、HP の最新ニュースやキャンペーン情報、サポート情報などを受け取ることができます。



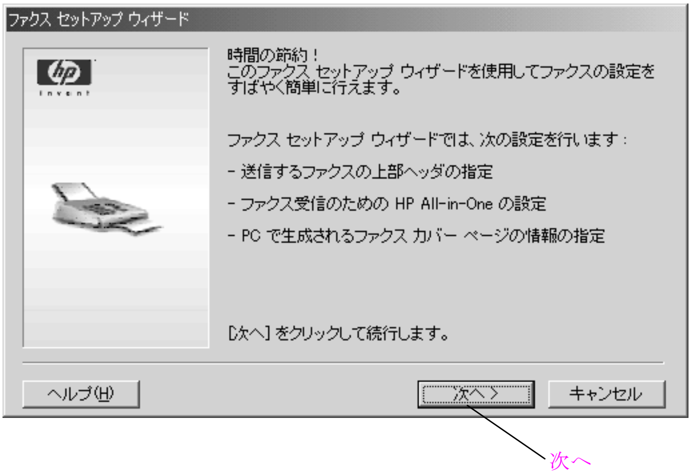
ご注意： Windows プログラム メニューを使えば、製品をいつでも登録できます。

これでソフトウェアのインストールが完了します。CD-ROM をコンピュータから取り出してください。

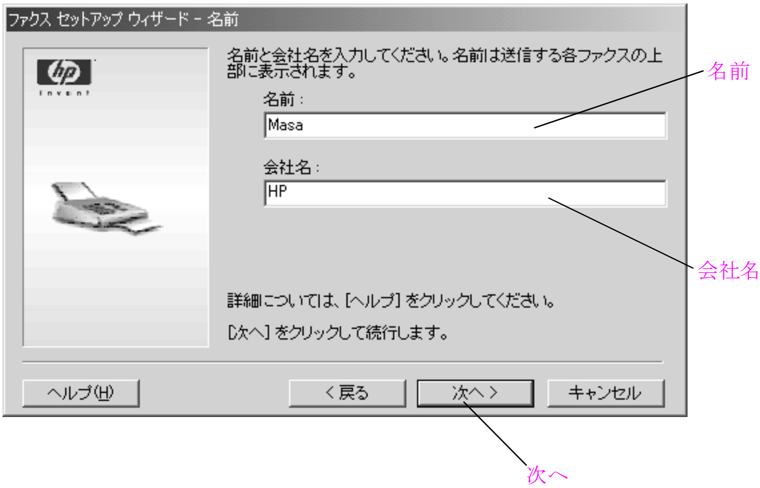
ファクスをセットアップして製品ツアーを実行する

画面の指示に従って、自分の名前、電話番号やその他の重要な設定を入力します。

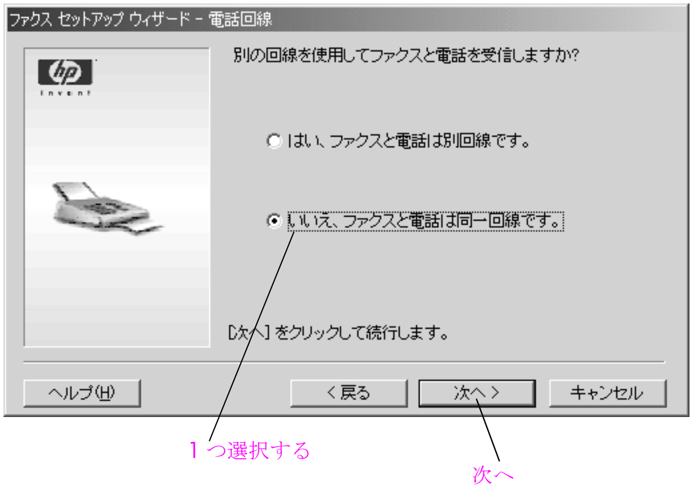
新しい HP Officejet について知りたいときは製品ツアーを実行してください。



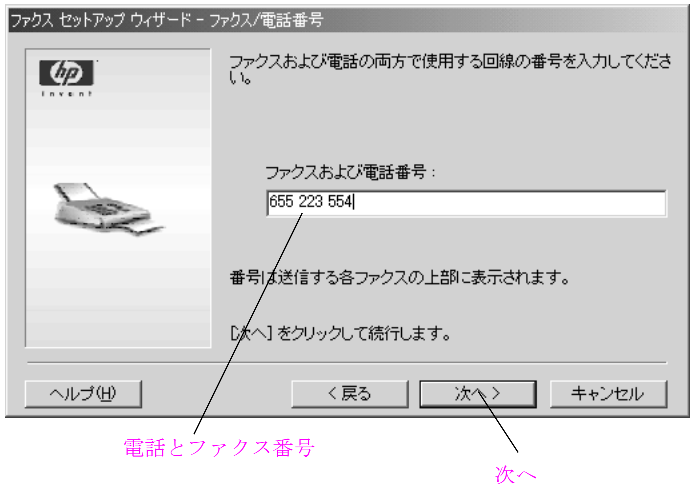
1 ［次へ］をクリックします。［名前］画面が表示します。



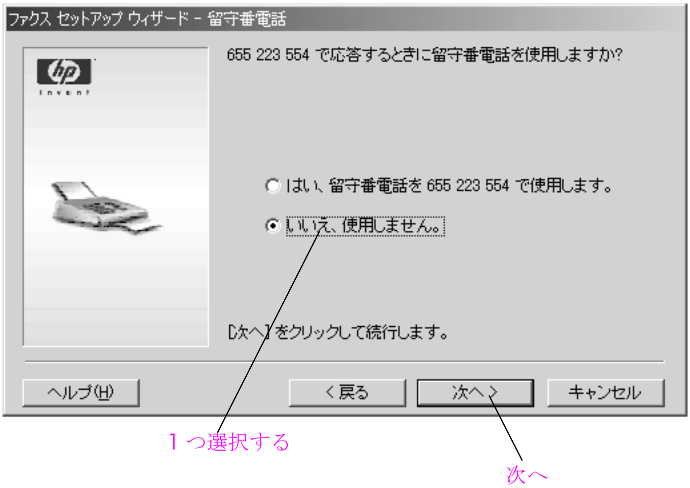
2 ユーザー名や会社名を入力して、［次へ］をクリックします。
[電話回線] 画面が表示されます。



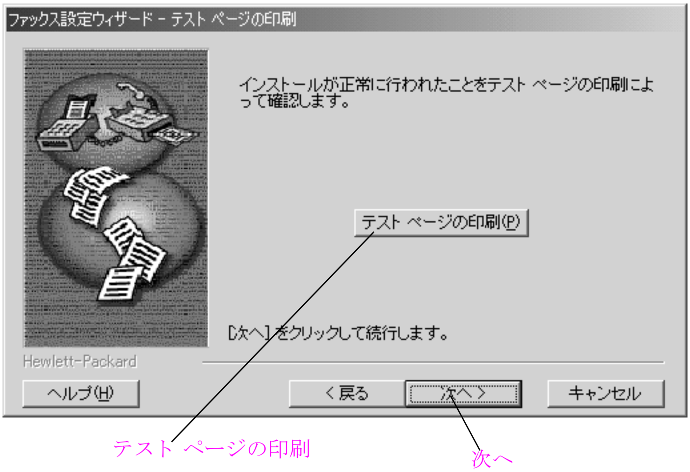
3　別の回線を使用してファクスと電話を受信する場合は **[はい]** を選択します。それ以外の場合は、**[いいえ]** を選択します。それから **[次へ]** をクリックします。



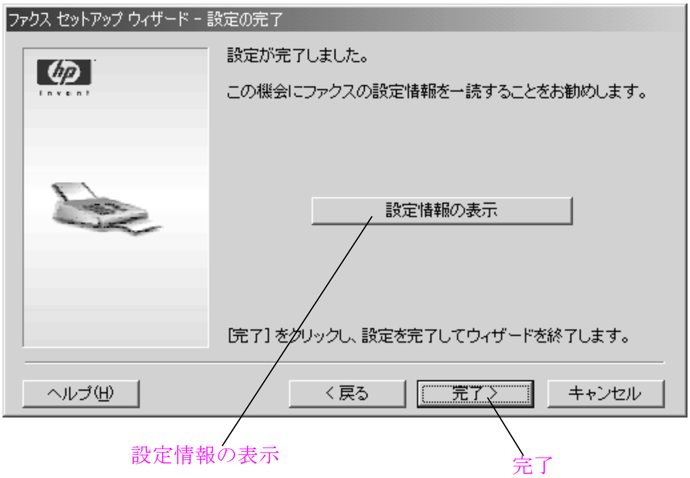
4　ファクスと電話番号を入力します。それから **[次へ]** をクリックします。



5 留守番電話またはボイスメールをファクス回線に使用する場合は、**[はい]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。使用しない場合は、**[いいえ]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。



6 テストページを印刷する場合は、**[テスト ページの印刷]** をクリックして、 **[次へ]** をクリックします。これは、ソフトウェアが正常にインストールされたかどうかを検証します。テストページを印刷しない場合は、**[次へ]** をクリックするだけです。



7　セットアップ情報を表示するには、[セットアップ情報を表示] ボタンをクリックして、[完了] をクリックします。入力したすべてのセットアップ情報を示すテキスト ファイルが表示されます。これらの情報を表示しない場合は、[完了] をクリックするだけです。

登録ページが表示されます。詳しくは、16 ページの登録を参照してください。

Mac のセットアップ

Mac をセットアップする前に、1 ページの **hp officejet のセットアップ**の手順を完了します。

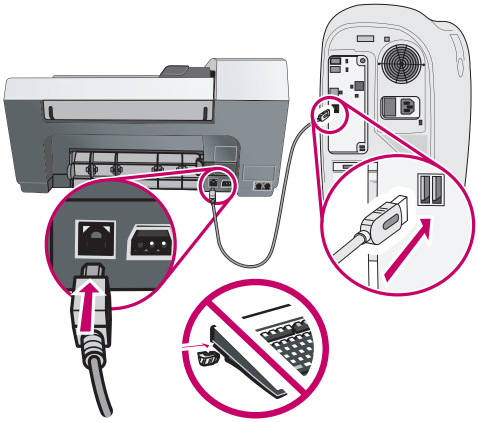
1　Macintosh に電源を入れ、スタートアップの完了を待ちます。

開いているプログラムをすべて閉じたことを確認します。

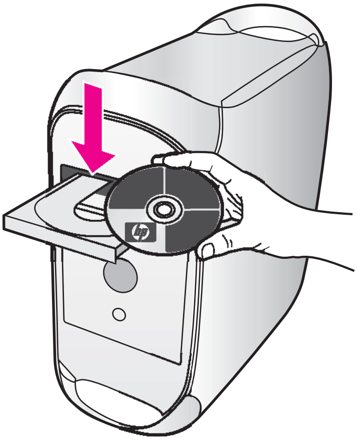
2　Macintosh 用のソフトウェアをインストールする前に、1 ページの **hp officejet のセットアップ**に従って、HP Officejet をセットアップします。

3　USB ケーブルを接続します。

ご注意： iMac を使用している場合は、脇にある USB ポートを使用してください。HP Officejet を、キーボード用の USB ポートや給電されない USB ハブに接続しないでください。



4　Macintosh の HP Officejet CD を挿入します。



HP Officejet アイコンがデスクトップに表示されます。



hp all-in-one installer アイコン

5 デスクトップ上の ［**hp all-in-one installer**］アイコンをダブルクリックします。

ご注意： 必ず、次に示す画面上の指示に従ってください。セットアップ中に Macintosh を再起動する必要がある場合があります。設定アシスタント全体を完了します。

OS X では、**[認証]** ダイアログ ボックスが表示されます。OS 9 の場合、手順 6 に示すダイアログが表示されます。

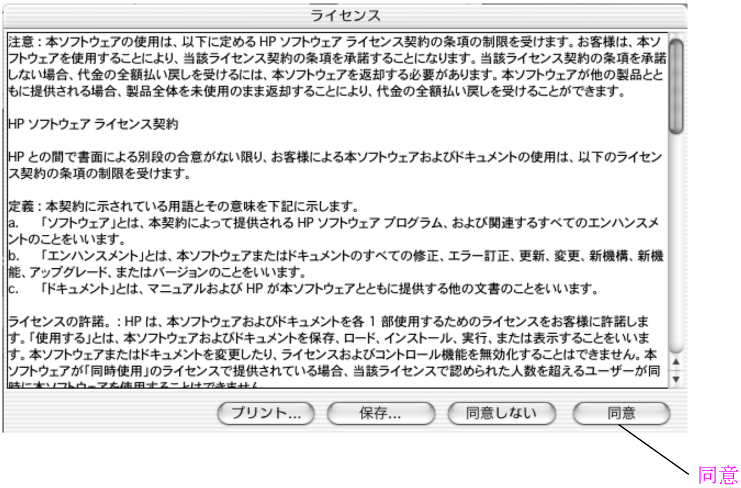


OK

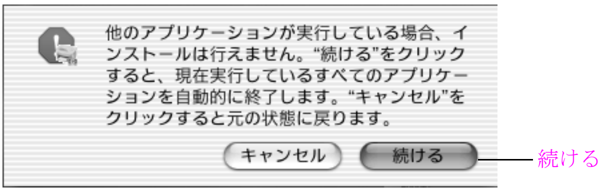
6 名前とパスワードまたはフレーズを入力して、［**OK**］をクリックします。
次のダイアログ ボックスが表示されます。



7 ［**officejet 5500 series**］を選択して、［続ける］をクリックします。
[ライセンス] 画面が表示されます。



8 ライセンス同意書を読み、［同意］ をクリックして、先に進みます。
起動中のすべてのプログラムを閉じるよう、警告が表示されます。



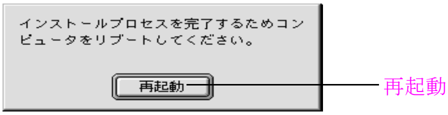
9 [続ける] をクリックします。
ほかのプログラムはすべて終了します。([キャンセル] ボタンを押すと、ファイルを何もインストールせずにインストールを中止します。)
インストールが始まります。



OS X では、インストールが完了したら、次の画面が表示されます。

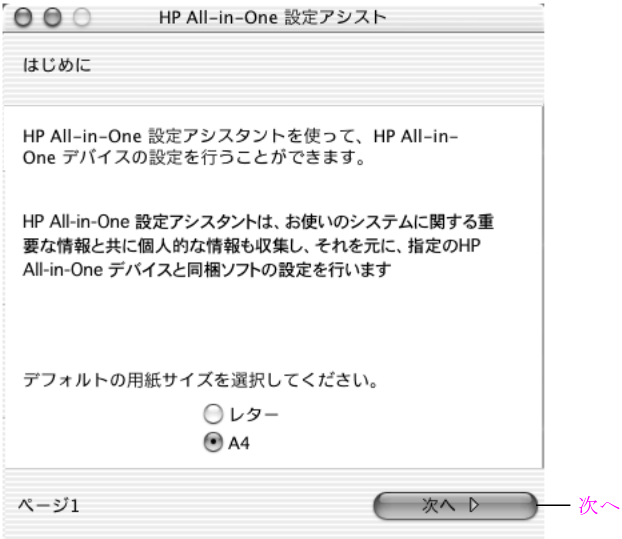


OS 9 では、コンピュータを再起動するよう要求されます。

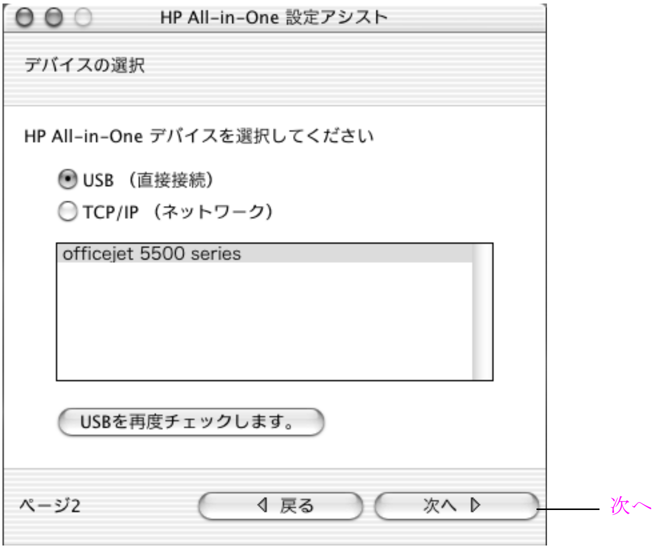


10 OS X では、**[続ける]** を、OS 9 では、**[再起動]** をクリックして、システムを再起動してください。

hp all-in-one 設定アシストの 1 ページ目が表示されます。



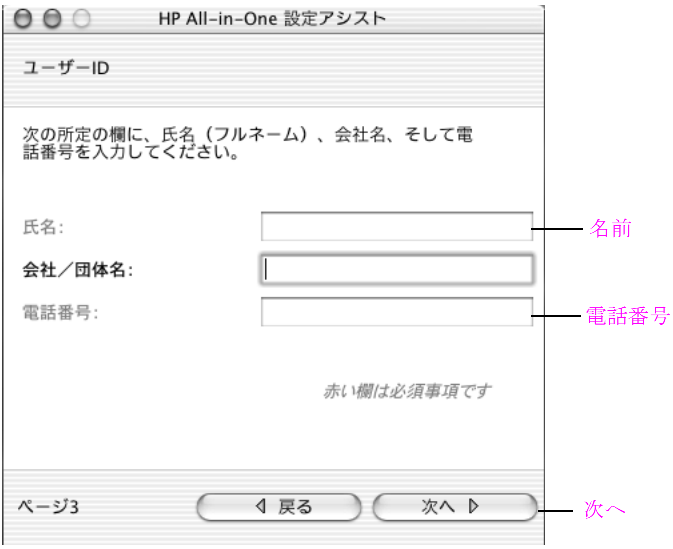
11 デフォルトの用紙サイズを選択して、[次へ] をクリックします。
設定アシストの 2 ページ目が表示されます。



ソフトウェアはデバイスを検索します。デフォルトの設定は [USB (直接接続)] です。officejet 5500 series はネットワーク非対応です。

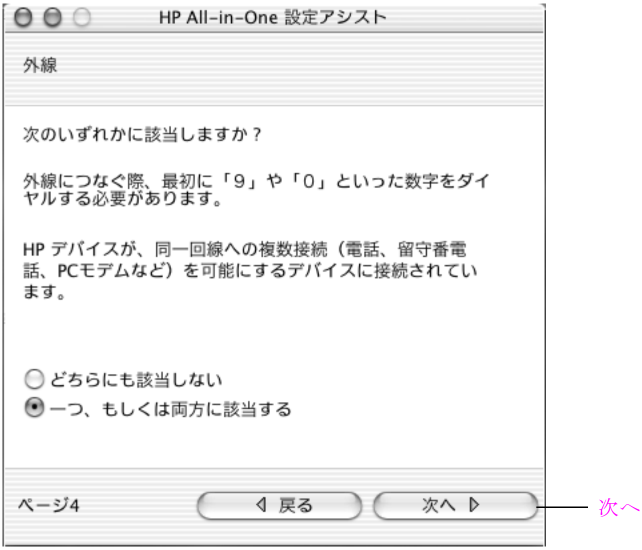
ご注意： HP Officejet が一覧に表示されなかった場合、プラグが繋がれて、スイッチがオンになっており、コンピュータに接続されているかを確認してください。それから [**USB を再度チェックします。**] をクリックします。

12 officejet 5500 series を選択して、[次へ] をクリックします。
設定アシストの 3 ページ目が表示されます。

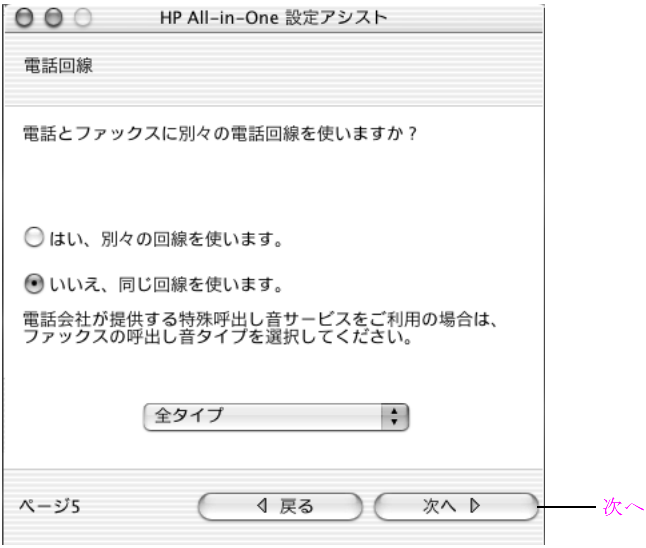


13 3 ページから 7 ページまで、必要情報を入力して、**[次へ]** をクリックします。

4 ページ目 (外線) :

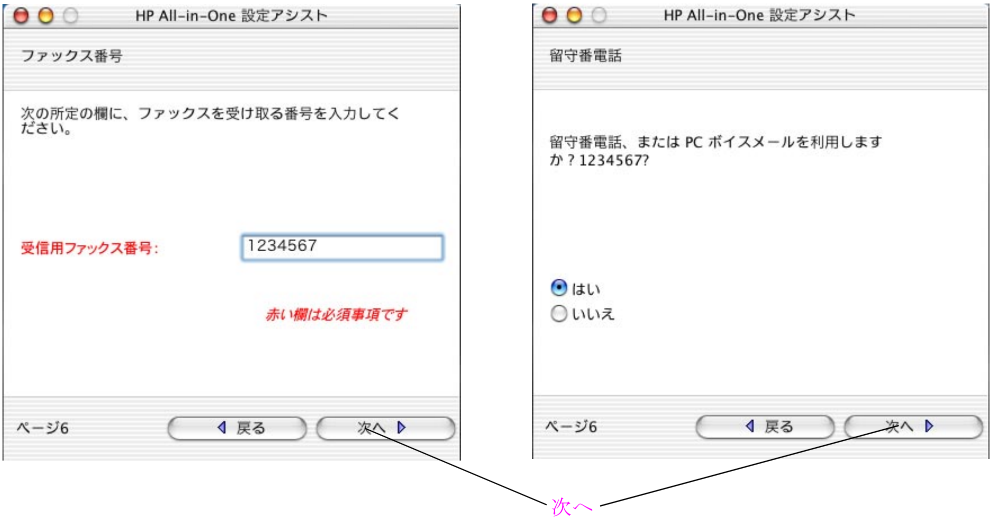


5 ページ目 (電話線) :

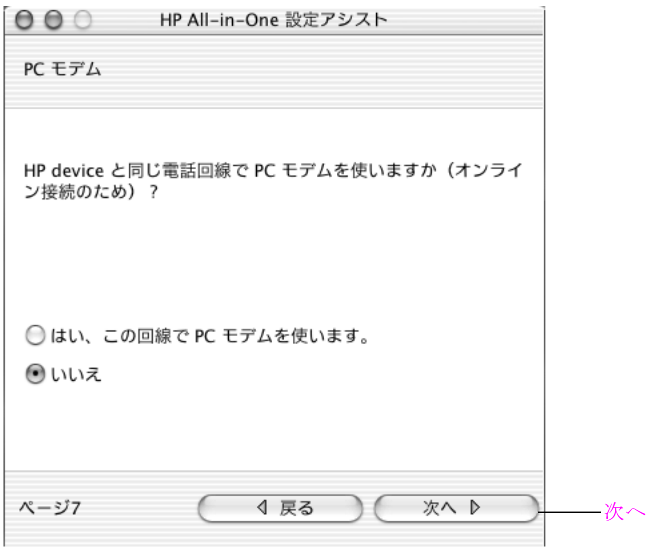


[はい、別々の回線を使います] を選択した場合は、6 ページにファクス番号を入力します。**[いいえ、同じ回線を使います]** を選択した場合、6 ページに留守番電話のページが表示されます。

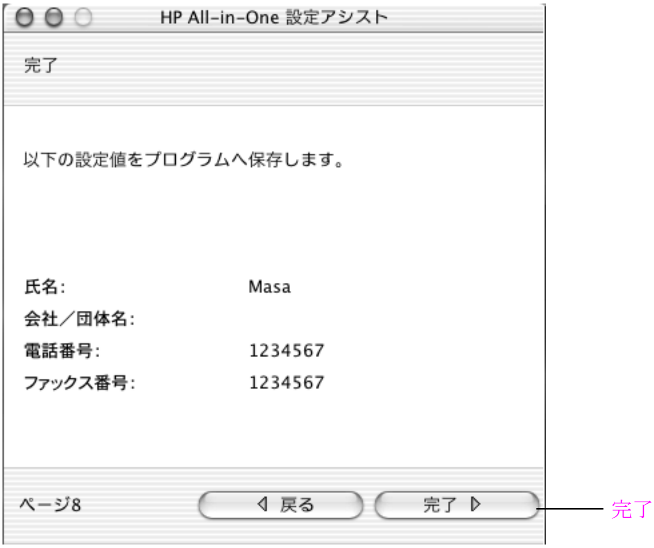
6 ページ目 (ファクス番号または留守番電話) :



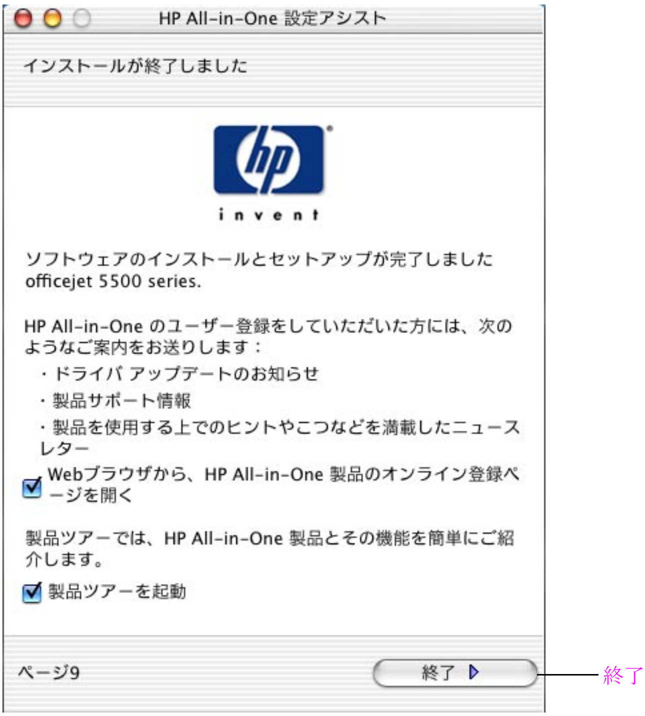
7 ページ目 (PC モデム) :



7 ページで [次へ] をクリックしたら、次の画面が表示されます。



14 8 ページの［完了］をクリックします。
OS X では、設定アシスタントの 9 ページ目が表示されます。**[終了]** をクリックします。



OS 9 では **[プリンターの選択]** ダイアログが表示されます。その手順にしたがってプリンタを選択し、**[終了]** をクリックします。



OS X または OS 9 で [終了] をクリックすると HP Officejet 5500 Series ツアーが表示されます。

15 新しい HP Officejet について知りたいときは製品ツアーを実行してください。

2 hp officejet 概要

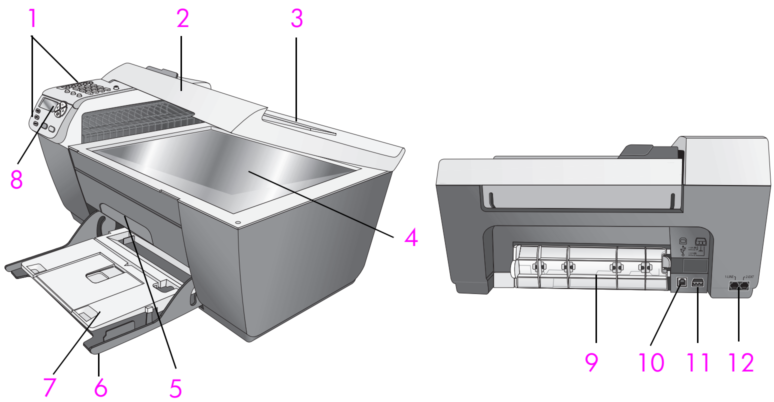
HP Officejet の機能の多くはコンピュータに接続しなくても使用できます。このため、ファクスの送信やドキュメント / 写真のコピーなどのタスクを HP Officejet で早く、簡単に行うことができます。

> ヒント： 初期セットアップで自動的にインストールされるソフトウェア HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) を利用すると、HP Officejet をさらに活用することができます。HP ディレクタからは、トラブルシューティングのヒント、製品ごとのヘルプ、および高画質のコピー、ファクス、スキャン機能を利用できます。[HP ディレクタ] の使用方法の詳細については、35 ページの HP ディレクタ ソフトウェアによる hp officejet のフル活用 を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 31 ページの hp officejet 5500 series の概要
- 32 ページのフロント パネルの概要
- 34 ページのメニューの概要
- 35 ページの HP ディレクタ ソフトウェアによる hp officejet のフル活用

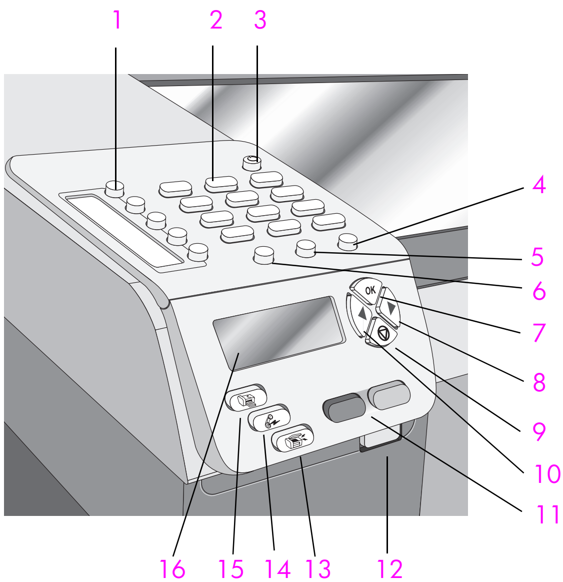
hp officejet 5500 series の概要



機能	用途
1	フロント パネル
2	カバー
3	自動ドキュメント フィーダの給紙トレイ （カバーの上にある）

機能	用途
4	ガラス板
5	プリント キャリッジ アクセス ドア
6	給紙トレイ
7	排紙トレイ
8	フロント パネル ディスプレイ
9	後部アクセス ドア
10	USB ポート
11	電源コネクタ
12	電話用プラグ差込み口

フロント パネルの概要



機能	用途
1	**ワンタッチ短縮ダイヤル**：1 つのボタンを押すだけでファクス番号をダイヤルします。5 つの短縮ダイヤル ボタンが、短縮ダイヤルの設定時に入力した最初の 5 つのファクス番号に対応します。
2	**キーパッド**：ファクス番号や値、文字を入力します。

機能	用途
3	**On**：HP Officejet の電源をオンかオフにします。 **警告！** HP Officejet の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。HP Officejet の電源を完全に切るには、電源コードを抜いてください。
4	**セットアップ**：レポート、短縮ダイヤルの設定、ファクスの設定、ツール、プリファレンス用のメニューを呼び出すために使用します。
5	**リダイヤル / ポーズ**：最近ダイヤルしたファクス番号をリダイヤルします。電話番号を入力する際に、ポーズを挿入するためにも使用します。
6	**短縮ダイヤル**：プログラムした短縮ダイヤル エントリから番号を選択します。短縮ダイヤルのファクス番号を探すには、フロント パネルの矢印かキーパッドの番号を使用します。
7	**OK**：フロント パネル ディスプレイの現在のメニュー設定を選択します。フロント パネル ディスプレイ上のプロンプトへの応答にも使用します。
8	**右矢印**：フロント パネル ディスプレイ上に設定を表示しているとき、値を増やすか、次に進みます。
9	**キャンセル**：ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了、短縮ダイヤルの終了を行います。
10	**左矢印**：フロント パネル ディスプレイ上に設定を表示しているとき、値を減らすか、前に戻ります。
11	**スタート - モノクロ**、**スタート - カラー**：モノクロ / カラー コピー、スキャン、ファクス ジョブを開始します。
12	**自動ドキュメント フィーダの解除ボタン**：ボタンを押して、フロント パネルを持ち上げ、自動ドキュメント フィーダ内の紙詰まりを取り除きます。フロント パネルは途中までしか開きません。無理に開こうとしないでください。
13	**スキャン**：スキャン機能を選択します。[スキャン] メニューの設定をスクロールするには、[スキャン] ボタンを繰り返し押します。
14	**ファクス**：ファクス機能を選択します。[ファクス] メニューの設定をスクロールするには、[ファクス] ボタンを繰り返し押します。
15	**コピー**：コピー機能を選択します。[コピー] メニューの設定をスクロールするには、[コピー] ボタンを繰り返し押します。
16	**フロント パネル ディスプレイ**: メニュー、メッセージ、ステータス メッセージ、エラー メッセージを表示します。

メニューの概要

次の図は、HP Officejet のフロント パネル ディスプレイに表示される最上位のメニューを示したものです。

コピー

コピーマイスウ
シュクショウ / カクダイ
コピーヒンシツ
コピーヨウシサイズ
ヨウシ ノ シュルイ
ウスク / コク
キョウチョウ
カラーキョウド
デフォルト トシテ セッテイ

ファクス

ファクス バンゴウ
カイゾウド
ウスク / コク
ファクス ホウホウ
デフォルト トシテ セッテイ

スキャン

HP フォト イメージング ギャラリ

注意：このメニューの内容は、コンピュータから使用できるスキャン先の数によって異なります。

セットアップ

1. レポート ノ インサツ
2. タンシュクダイヤル ノ セッテイ
3. ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ
4. ファクス ノ ショウサイ セッテイ
5. ツール
6. プリファレンス

HP ディレクタ ソフトウェアによる hp officejet のフル活用

セットアップ時に HP Officejet ソフトウェアをコンピュータに初めてインストールすると、HP ディレクタがコンピュータに自動的にインストールされます。

HP Officejet の機能の拡張は、すばやく簡単に行えます。本書全体を通して、このようなボックスを見ると、トピックに固有なヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

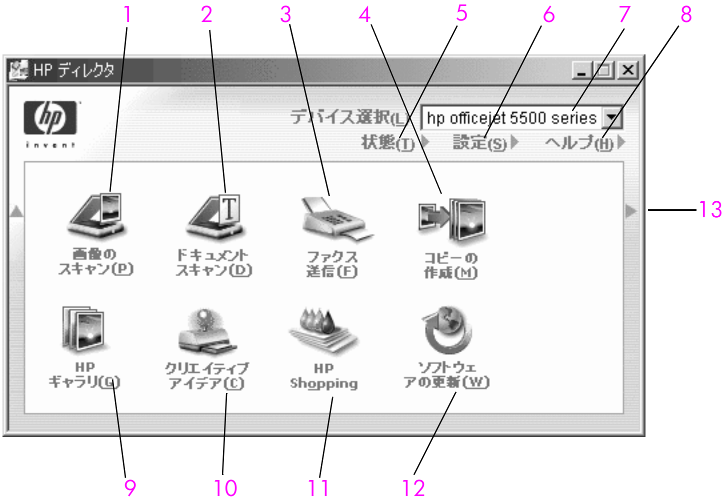
- 35 ページの **HP ディレクタを開く (Windows ユーザーの場合)**
- 37 ページの **HP ディレクタを開く (Macintosh ユーザーの場合)**

HP ディレクタを開く (Windows ユーザーの場合)

1. 以下のいずれかを実行してください。
   - デスクトップ上の **[HP ディレクタ]** アイコン をダブルクリックします。
   - Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックしてから、**[すべてのプログラム]** または **[すべてのプログラム]** (XP)、**[HP]**、に続いて、**[HP ディレクタ]** を選択します。
2. **[デバイス選択]** ボックスで、インストールされている HP デバイスのリストをクリックして表示します。
3. **[Officejet 5500 Series]** を選択します。
4. **HP ディレクタ** には、選択したデバイスに適したアイコンだけが表示されます。

   ご注意 : 下記の HP ディレクタのグラフィックに表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。HP フォト ディレクタは、選択される HP デバイスに基づいてカスタマイズされます。特定の機能がデバイスに搭載されていない場合、その機能のアイコンはコンピュータ上の HP ディレクタに表示されません。

   ヒント : コンピュータ上の HP ディレクタにアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して HP ディレクタ ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、HP ディレクタを再インストールします。



機能	用途
1	**画像のスキャン**：この機能を使用すると、画像をスキャンして、HP フォト イメージング ギャラリに表示することができます。
2	**ドキュメントスキャン**：この機能を使用すると、テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。
3	**ファクス送信**：この機能を使用して [ファクス] ダイアログ ボックスを開き、適切な情報を入力すると、ファクスを送信することができます。
4	**コピーの作成**：この機能を使用して表示する [コピー] ダイアログ ボックスでは、コピー品質、枚数、カラー、サイズの選択およびコピーの開始を実行することができます。
5	**状態**：この機能を使用すると、HP Officejet の現在の状態が表示されます。
6	**設定**：この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピー、ファクスなど、HP Officejet の各種設定値を表示したり、変更したりできます。
7	**デバイス選択**：この機能を使用すると、インストールされている HP デバイスのリストから、使用するデバイスを選択することができます。
8	**ヘルプ**：この機能を使用すると、HP フォト イメージング ヘルプにアクセスし、HP Officejet のソフトウェア ヘルプ、製品ツアー、トラブルシューティング情報や HP Officejet 製品に固有なヘルプ情報を得ることができます。

機能	用途
9	**HP ギャラリ**：この機能を使用して表示する HP フォト イメージング ギャラリ では、画像の表示と編集、複数のサイズでの写真の印刷、フォト アルバムの作成と印刷が行えます。また、E メールや Web サイト経由での画像の共有や、マルチメディア CD の作成も行えます。
10	**クリエイティブ アイデア**：このヘルプを使用して、HP Officejet の独創的な使い方を学びます。
11	**HP Shopping**：この機能を使用して、HP 製品を購入します。英語サイトから Japan を選択してください。
12	**ソフトウェアの更新**：この機能を使用して、使用している HP Officejet のソフトウェア アップデートをチェックします。
13	この矢印をクリックして表示されるヒントには、HP ディレクタの各オプションの説明が表示されます。

HP ディレクタを開く (Macintosh ユーザーの場合)

使用している Macintosh OS に従って、以下のいずれかの方法を使用すると、HP ディレクタの起動やアクセスが行えます。

Macintosh OS X を使用して HP ディレクタ (all-in-one) を開く

Macintosh OS X の使用時、HP ディレクタ (All-in-One) は HP フォト イメージング ソフトウェアのインストール中に自動的に起動されます。そのため、HP ディレクタ (All-in-One) のアイコンが、デバイスのドック内に作成されます。デバイスの機能には、HP ディレクタ (All-in-One) のアイコンに関連付けられている HP ディレクタ のメニューを使ってアクセスできます。

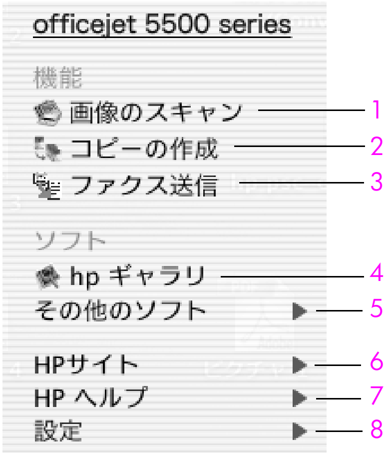
ヒント： Macintosh を起動するたびに HP ディレクタを自動的に起動したくない場合は、その設定を HP ディレクタの [設定] メニューで変更できます。

HP ディレクタのメニューを表示するには：

- ドック内で、使用するデバイスの **HP ディレクタ (All-in-One)** のアイコンをクリックします。

  [HP ディレクタ] メニューが表示されます。

  ご注意： HP デバイスを複数個インストールすると、各デバイスの [HP ディレクタ] アイコンがドック上に表示されます。たとえば、HP スキャナと HP Officejet を 1 台ずつインストールしてあると、HP ディレクタのアイコンがデバイスごとに 1 つずつ、全部で 2 つドックに表示されます。ただし、同じ種類のデバイスを 2 つインストールした場合 (HP Officejet デバイスを 2 つインストールした場合など)、[HP ディレクタ] アイコンは、ドックに 1 つしか表示されず、同じ種類のデバイスはすべてそのアイコンで表現されます。



機能	用途
1	**画像のスキャン**：この機能を使用すると、画像をスキャンして、HP フォト イメージング ギャラリに表示することができます。
2	**コピーの作成**：この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。
3	**ファクス送信**：この機能を使用して [ファクス] ダイアログボックスを開き、適切な情報を入力すると、ファクスを送信することができます。
4	**HP ギャラリ**：この機能を使用して HP フォト イメージング ギャラリを表示すると、画像の表示および編集が行えます。
5	**その他のソフト**：この機能を使用すると、コンピュータ上でほかのアプリケーションを選択することができます。
6	**HP サイト**：この機能を使用して、HP の Web サイトを選択します。
7	**HP ヘルプ**：この機能を使用すると、HP Officejet に関するヘルプのソースを選択することができます。
8	**設定**：この機能を使用すると、デバイスの設定値を変更できます。

HP フォト イメージング ディレクタを開く (Macintosh OS 9 の場合)

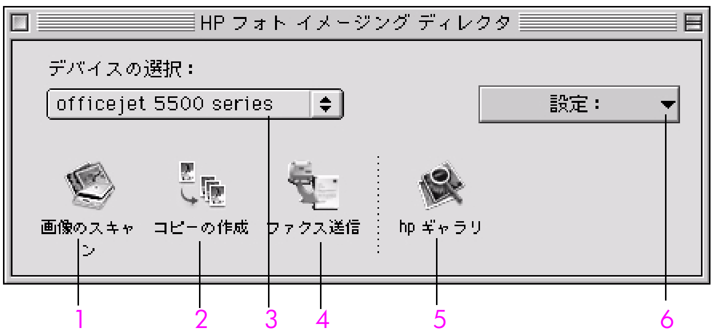
Macintosh OS 9 では、HP フォト イメージング ソフトウェアのインストール中に HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) が自動的に起動され、HP フォト イメージング ディレクタ は、デスクトップ上にエイリアスとして表示されます。次のいずれかの方法を使用して、HP フォト イメージング ディレクタを起動します。

- デスクトップ上の **HP フォト イメージング ディレクタ**のエイリアスをダブルクリックする。
- アプリケーション : Hewlett-Packard : HP Photo and Imaging Software : HP Photo and Imaging Director フォルダ内の **HP Photo and Imaging Director** をダブルクリックする。

HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) は、選択したファクスのボタンだけを表示します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

Macintosh OS 9 用の HP ディレクタで利用可能な一部の機能を下図に示します。各機能の簡単な説明については、凡例を参照してください。

> **ご注意 :** 下記の HP ディレクタのグラフィックは、コンピュータによって異なります。HP ディレクタは、選択される HP デバイスに基づいてカスタマイズされます。特定の機能がデバイスに搭載されていない場合、その機能のアイコンはコンピュータ上の HP ディレクタに表示されません。下図以外のボタンが表示される HP デバイスもあります。



機能	用途
1	**画像のスキャン** : この機能を使用して、画像をスキャンして、HP フォト イメージング ギャラリに表示します。
2	**コピーの作成** : この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。
3	**デバイスの選択** : このプルダウン リストを使用して、使用する HP デバイスを選択します。
4	**ファクス送信** : この機能を使用して [ファクス] ダイアログボックスを開き、適切な情報を入力すると、ファクスを送信することができます。
5	**HP ギャラリ** : この機能を使用して HP フォト イメージング ギャラリを表示すると、画像の表示および編集が行えます。

機能	用途
6	**設定**：このプルダウン リストを使用して、デバイスの設定値にアクセスします。

3 原稿および用紙のセット

HP Officejet 5500 Series では、A4、フォト用紙、封筒などを含む様々な種類やサイズの用紙を HP Officejet にセットすることができます。HP Officejet で最高品質のコピーをとるために、用紙の種類と用紙サイズの設定を変更することもできます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 41 ページの原稿のセット
- 44 ページの原稿のセット
- 47 ページの封筒のセット
- 48 ページの **10 x 15 cm** のフォト用紙のセット
- 49 ページの推奨されている用紙
- 49 ページのその他の種類の用紙を用紙トレイにセットする
- 50 ページの用紙の種類の設定
- 50 ページの用紙のサイズの設定
- 51 ページの紙詰まりの防止

原稿のセット

HP Officejet 5500 Series では、コピー、ファクス、スキャン ジョブに使用する原稿を、自動ドキュメント フィーダかガラス板にセットすることができます。自動ドキュメント フィーダにセットした原稿は、HP Officejet に自動的に送り込まれます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 41 ページの原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする
- 43 ページのガラス板上に写真原稿をセットする
- 44 ページのガラス板に原稿をセットする

原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする

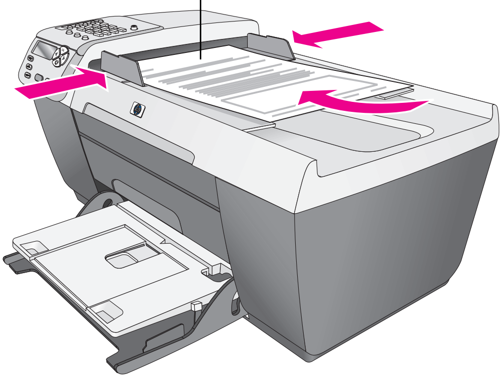
コピー、ファクス、またはスキャン用に自動ドキュメント フィーダにセットできるのは、レター、または A4 サイズの原稿です。HP Officejet の自動ドキュメント フィーダに用紙をセットする手順を、以下に説明します。

ご注意： 自動ドキュメント フィーダには、最大 20 枚の用紙をセットできます。

ご注意： 自動ドキュメント フィーダにセットした原稿に対しては、[ページ ニ アワセル] 機能は利用できません。この機能が利用できるのは、ガラス板上にセットした原稿に限られます。

ご注意： 自動ドキュメント フィーダにセットできるのは普通紙のみです。フォト用紙、OHP フィルム、封筒などはセットできません。

1 自動ドキュメント フィーダに、原稿を表を上にし、ページの上部が左に向くようセットします。



2 用紙の端に当たって止まるまで、右と左の用紙ガイドを内側にスライドさせます。

3 フロント パネルで **[コピー]**、**[スキャン]**、**[ファクス]** のいずれかを押し、実行しようとする機能を選択します。

ご注意 : [コピー] か [ファクス] の設定を変更するか、[スキャン] の送信先を変更したい場合は、目的の設定か送信先がフロント パネル ディスプレイに表示されるまで、[コピー]、[ファクス]、または [スキャン] ボタンを繰り返し押します。変更する設定が表示されたら、必要に応じて ▶ を押して特定の値 (特定の用紙サイズなど) に移動し、[OK] を押します。これで、その設定か送信先が選択されます。

4 操作を開始するには、フロント パネルから **[スタート] - [モノクロ]** か **[スタート] - [カラー]** を押します。

ご注意 : HP Officejet のカバーを持ち上げる前に、自動ドキュメント フィーダから原稿を取り出します。

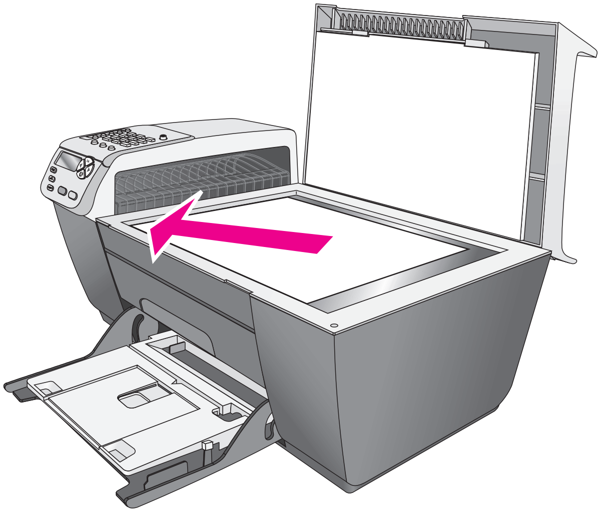
ガラス板上に写真原稿をセットする

HP Officejet のガラス板上に用紙をセットする手順を以下に説明します。

注意！ 原稿が傷つくのを防ぐため、カバーを持ち上げる前にすべての原稿を自動ドキュメント フィーダから取り出します。

1 原稿を、表を下にしてガラス板の左下隅に合わせてセットします。

ヒント： 原稿をガラス板にセットする方法については、HP Officejet の左下隅に示されている図を参照してください。



2 目的のオプションを選択するには、フロント パネルから **[コピー]**、**[スキャン]**、または **[ファクス]** を押します。

ご注意 : [コピー] か [ファクス] の設定を変更するか、[スキャン] の送信先を変更したい場合は、目的の設定か送信先がフロント パネル ディスプレイに表示されるまで、[コピー]、[ファクス]、または [スキャン] ボタンを繰り返し押します。変更する設定が表示されたら、必要に応じて ▶ を押して特定の値 （特定の用紙サイズなど）に移動し、**[OK]** を押します。これで、その設定か送信先が選択されます。

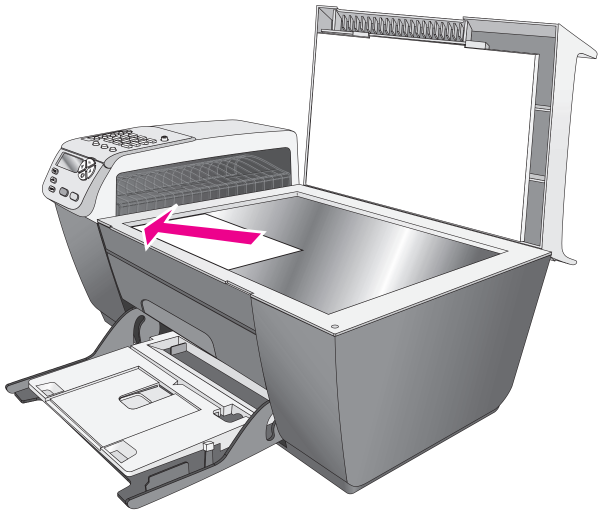
3 操作を開始するには、フロント パネルから **[スタート] - [モノクロ]** か **[スタート] - [カラー]** を押します。

ご注意 : ガラス板やカバーの裏側が汚れていると、[ページ ニ アワセル]、などの [シュクショウ / カクダイ] オプションの多くが正しく動作しません。詳しくは、107 ページのコピー ガラス板のクリーニングおよび 108 ページのカバーの裏側のクリーニング を参照してください。

ガラス板に原稿をセットする

HP Officejet のガラス板から写真原稿をコピーすることができます。最善のコピーを作成するには、写真原稿をガラス板に正しくセットすることが重要です。

1 写真原稿を、表を下にしてガラス板の左下隅に合わせてセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。



写真原稿のコピーの作成の詳細については、56 ページの写真を 10 x 15 cm フォト用紙にフチなしコピーするを参照してください。

原稿のセット

A4 サイズの用紙を給紙トレイにセットするには、次の手順に従います。特定の種類の用紙や封筒をセットする場合は、それぞれ念頭に置いておくべき点があります。この手順を確認した後で、47 ページの封筒のセット、48 ページの 10 x 15 cm のフォト用紙のセットおよび 49 ページのその他の種類の用紙を用紙トレイにセットするを参照してください。

最高の印刷結果を得るには、用紙の種類やサイズを変更するたびに用紙設定を調整してください。詳しくは、50 ページの用紙の種類の設定を参照してください。

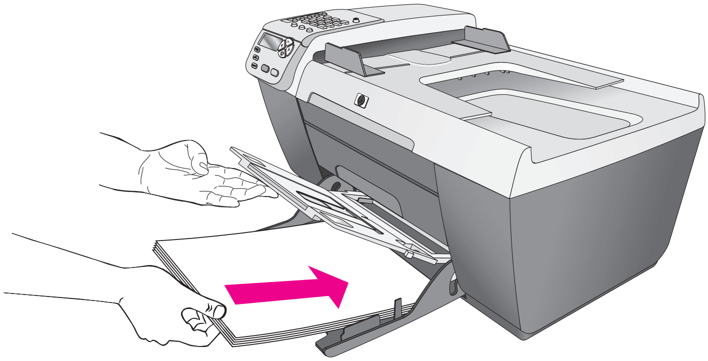
> ヒント： すべての用紙をチャック付きの袋に平らに保管し、用紙が破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないようにしてください。用紙を正しく保管していないと、急激な温度差や湿度のために用紙が波打ち、HP Officejet で利用できないことがあります。

1 給紙トレイを下の位置まで下げてから、排紙トレイを持ち上げます。

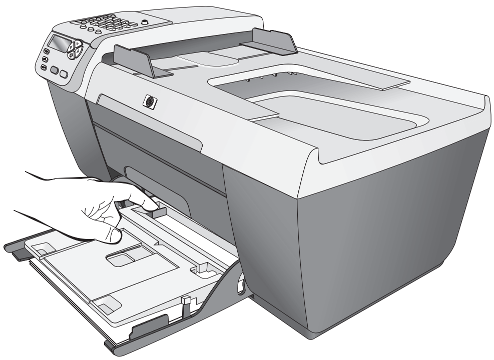
2 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

3 平らな面で用紙の端を揃え、次に用紙が同じサイズと同じ種類であることを確認します。

4 排紙トレイを持ち上げ、用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイにゆっくりと用紙が軽く当たりとまるまで差し込みます。複数枚の給紙や紙詰まり、用紙の折れ曲がりを防ぐため、無理に奥まで押し込んだり、強く押しすぎないよう注意します。レターヘッドを使用している場合は、ページの上部から先に差し込みます。

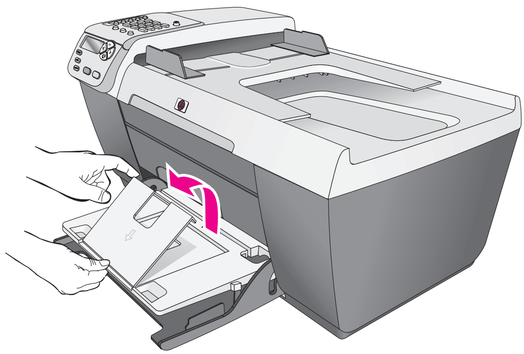


5 排紙トレイを下げ、横方向用紙ガイドを用紙の端で止まるまでスライドさせます。用紙の束が給紙トレイ内で平らになり、また横方向用紙ガイドのタブ以下に収まっていることを確認します。



6 完了した印刷、スキャン、ファクス ジョブを受け取るため、排紙補助トレイを引き出します。

ヒント： リーガル サイズの用紙をセットするときに最良の結果を得るため、排紙トレイ上の排紙補助トレイをたたみ、紙詰まりを防ぎます。

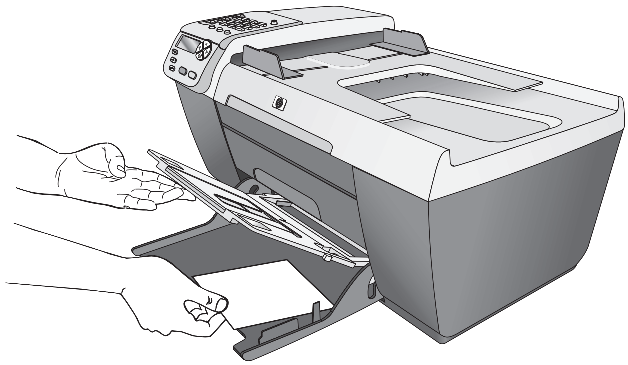


カードやはがきのセット

カードやはがきを HP Officejet にセットする手順を以下に説明します。

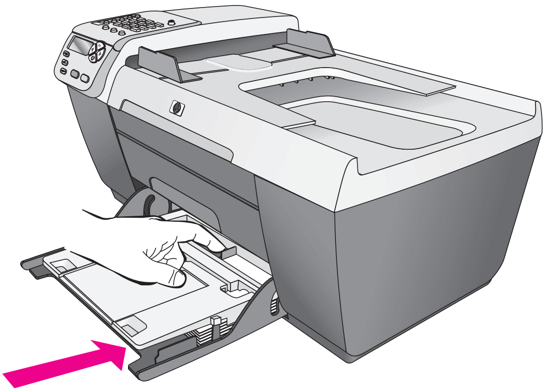
1 排紙トレイを上に上げ、カードの束を給紙トレイにゆっくりと用紙が軽く当たりとまるところにセットします。

印刷面が下になっていることを確認してください。



2 排紙トレイを下に降ろし、横方向用紙ガイドをゆっくり移動して、カードの束にそろえます。

カードの束が、横方向用紙ガイドのタブの下に収まったことを確認します。



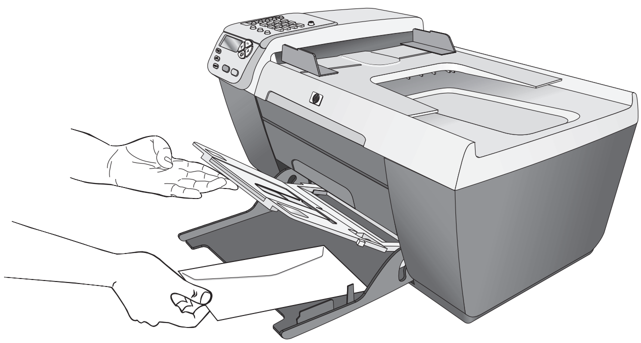
封筒のセット

HP Officejet に封筒をセットする手順を以下に説明します。給紙トレイには、1 枚以上の封筒をセットできます。光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

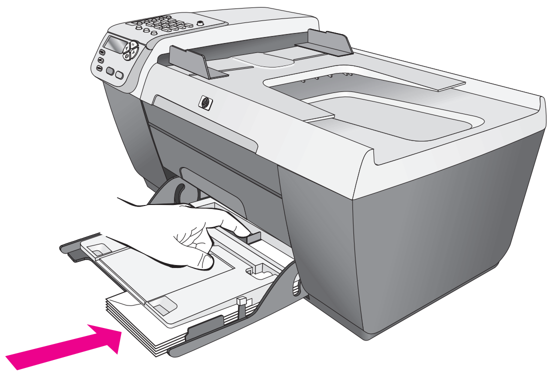
ヒント： 封筒に印刷できるようテキストをフォーマットする方法の詳細については、お使いのワード プロセッシング ソフトウェアのヘルプ ファイルを参照してください。

1 給紙トレイから用紙を全て取り出します。

2 排紙トレイを持ち上げ、給紙トレイに封筒を 1 枚以上挿入します。このとき、封筒のふたを上側にし、ふたを左側または奥に向けて（印刷面を下にして）セットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。



3 排紙トレイを下げ、横方向用紙ガイドを封筒に向かってスライドさせます。このとき、ガイドで封筒が曲がらないよう注意してください。封筒が、横方向用紙ガイドのタブの下に収まったことを確認します。



10 x 15 cm のフォト用紙のセット

10 x 15 cm のフォト用紙を HP Officejet にセットする手順を以下に説明します。

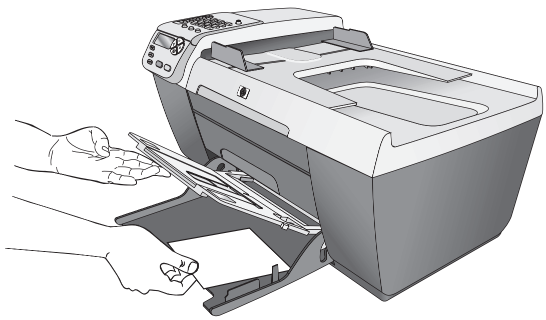
ご注意：最高品質で出力したいときは、推奨タイプの 10 x 15 cm のフォト用紙を使用してください。詳しくは、49 ページの推奨されている用紙を参照してください。さらに、最高品質で出力するためには、印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。詳しくは、50 ページの用紙の種類の設定と 50 ページの用紙のサイズの設定を参照してください。

ヒント： すべての用紙をチャック付きの袋に平らに保管し、用紙が破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないようにしてください。用紙を正しく保管していないと、急激な温度差や湿度のために用紙が波打ち、HP Officejet で利用できないことがあります。

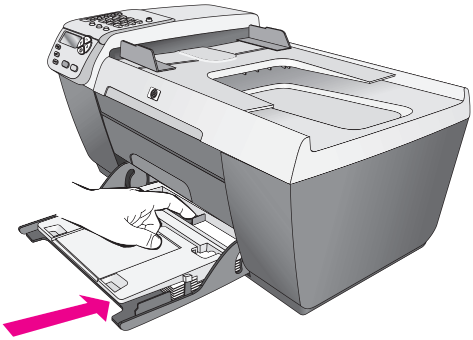
1 給紙トレイから用紙を全て取り出します。

2 排紙トレイを持ち上げ、フォト用紙の束を、光沢面 （印刷面）を下にして給紙トレイの右奥にセットし、用紙ガイドをスライドさせて用紙に合わせます。このとき、フォト用紙の長辺が給紙トレイの長辺 (右側) に揃うようにセットします。

ご注意：お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。



3 排紙トレイを下げ、横方向用紙ガイドをフォト用紙に向かってスライドさせます。このとき、ガイドでフォト用紙が曲がらないよう注意してください。フォト用紙の束が、横方向用紙ガイドのタブの下に収まったことを確認します。



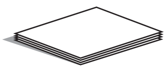
推奨されている用紙

最高画質のプリント品質を得るには、HP 純正紙を推奨します。薄すぎる用紙や裏面または表面がつるつるしている用紙、伸縮性のある用紙を使用すると、給排紙が正常に行えなかったり、紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこした用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がこすれたりにじんだり、あるいはかすれたりすることがあります。HP 用紙の詳細については、当社の Web サイトにアクセスしてください。

www.hp.com/jp/supply

その他の種類の用紙を用紙トレイにセットする

特定の種類の用紙をセットするときのガイドラインを次の表に示します。最高の印刷結果を得るには、用紙の種類やサイズを変更するたびに用紙の種類を調整してください。詳しくは、50 ページの用紙の種類の設定を参照してください。

用紙	ヒント
カードやはがき (印刷の場合のみ) 	排紙トレイを持ち上げ、カードまたははがきの束の印刷面を下にして用紙トレイに挿入します。用紙が軽く当たりとまるところでセットしてください。はがきを給紙トレイの右側にそろえ、排紙トレイを下げ、横方向用紙ガイドをゆっくり移動して、カードの束にそろえます。

用紙の種類の設定

HP Officejet の [コピー] オプション用に用紙の種類を設定する手順を以下に説明します。使用する用紙や OHP フィルムに合った [ヨウシ ノ シュルイ] 設定を選択してください。

ご注意: コンピュータから印刷する場合、印刷に使用するソフトウェア プログラムの [印刷] ダイアログ ボックスで用紙の種類のプロパティを設定します。

1 **[ヨウシ ノ シュルイ]** が表示されるまで、**[コピー]** ボタンを押します。

2 適切な用紙の種類が表示されるまで ▶ を押します。

3 **[OK]** を押して、表示された用紙の種類を選択します。

ご注意: この作業が完了してから 2 分後に、この設定は、デフォルト設定に戻ります。デフォルトのコピー設定の変更については、54 ページのデフォルト コピー設定の変更を参照してください。

用紙のサイズの設定

HP Officejet の [コピー] オプションと [ファクス] オプション用に用紙のサイズを設定する手順を以下に説明します。使用する用紙や OHP フィルムに合った [ヨウシ サイズ] 設定を選択してください。HP Officejet は、レター、A4、または 10 x 15 cm の用紙を使用します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 50 ページのコピー用紙サイズの設定
- 50 ページのファクス受信用の用紙サイズを設定する

ご注意: この作業が完了してから 2 分後に、設定はデフォルトに戻ります。デフォルトのコピー設定の変更については、54 ページのデフォルト コピー設定の変更を参照してください。

コピー用紙サイズの設定

1 **[コピー ヨウシ サイズ]** が表示されるまで、**[コピー]** ボタンを押します。

2 適切な用紙サイズが表示されるまで ▶ を押します。

3 **[OK]** を押して、表示された用紙サイズを選択します。

ファクス受信用の用紙サイズを設定する

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせてください。ファクスは A4 用紙、レター用紙のいずれかにだけ印刷できます。

ご注意: この他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていてファクスを受信すると、ファクスが印刷されません。ファクスを印刷するには、A4 用紙、レター用紙のいずれかをセットして [OK] を押してください。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[3]** を押し、次に **[5]** を押します。

これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [ファクス ヨウシ サイズ] が選択されます。

3 ▶ を押してオプションを選択してから **[OK]** を押します。

紙詰まりの防止

紙詰まりを回避するには、以下に従ってください。

- すべてのサプライ品用紙をチャック付きの袋に平らに保管し、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないようにしてください。
- 排紙トレイから印刷済みの用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 自動ドキュメント フィーダや給紙トレイにセットした用紙が平らになっていること、また端が折れたり破れたりしていないことを確認します。
- 自動ドキュメント フィーダや給紙トレイには異なる種類やサイズの用紙を一緒にセットしないでください。自動ドキュメント フィーダや給紙トレイには、種類とサイズが同じ用紙をセットします。
- 用紙がぴったり収まるように、自動ドキュメント フィーダや給紙トレイの用紙ガイドを調整してください。用紙ガイドが用紙を曲げることがないよう注意してください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP Officejet で推奨している用紙の種類をお使いください。

4 コピー機能の使用

HP Officejet を使用すると高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、さまざまな種類の用紙で作成できます。特定の用紙サイズに合わせて原稿のサイズを拡大 / 縮小したり、コピーの明暗や色の強度を調整したり、特別なコピー機能を使用して写真の高品質コピーを作成することもできます。これには、10 x 15 cm のフチなしコピーが含まれます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 53 ページの概要
- 55 ページの **2 ページのモノクロ文書をコピーする**
- 56 ページの写真を **10 x 15 cm** フォト用紙にフチなしコピーする
- 58 ページの同じ原稿を複数コピーする
- 58 ページの **10 x 15 cm** の写真を用紙のサイズに合わせてコピーする
- 60 ページのリーガル サイズのドキュメントをレター用紙にコピーする
- 61 ページの色あせた原稿をコピーする
- 62 ページの何回もファクスされた文書をコピーする
- 63 ページのコピーで明るい部分を強調する
- 63 ページのコピーの中止

概要

コピーは HP Officejet のフロント パネルから作成するか、コンピュータ上の HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアから作成することもできます。コピー機能のほとんどはどちらの方法ででも利用できます。しかし、特別なコピー機能を使用するにはソフトウェアを利用します。

この章では、HP Officejet のフロント パネルから行える一般的なコピー操作を説明します。HP ディレクタから行うコピー操作については、ソフトウェアに付属しているオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 54 ページのコピー速度を速くするまたはコピーの品質を高める
- 54 ページのデフォルト コピー設定の変更

コピー速度を速くするまたはコピーの品質を高める

HP Officejet には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

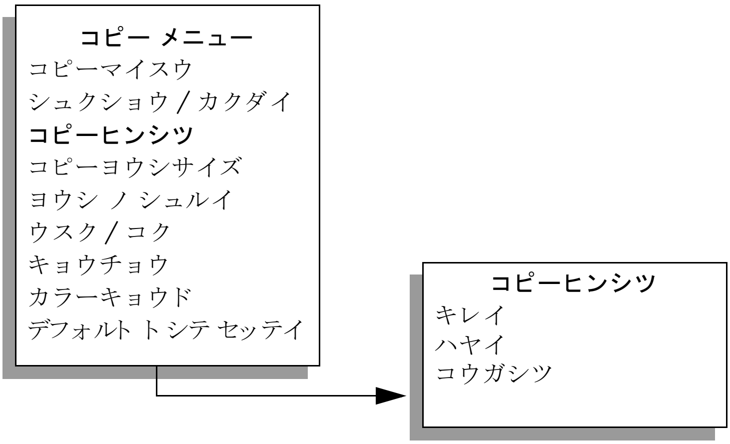
- [キレイ] は、印刷を高品質で仕上げます。ほとんどのコピーに推奨される設定です。[キレイ] 設定だと、[コウガシツ] 設定の場合よりも速くコピーできます。
- [ハヤイ] では、[キレイ] 設定の場合よりも速くコピーできます。文字の品質は [キレイ] 設定とそれほど変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。印刷の画質を [ハヤイ] に設定すると、インクの使用量が少ないため、プリント カートリッジの交換回数は少なくなります。
- [コウガシツ] は、あらゆる用紙を高画質で印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が発生しないように仕上げます。[コウガシツ] でコピーを行った場合は、他の品質設定の場合よりも印刷に時間がかかります。

1 原稿は、ガラス板の左下隅に表を下にしてセットするか、自動ドキュメント フィーダ (ADF) のトレイに表を上にしてセットします。

   自動ドキュメント フィーダを使用している場合は、ドキュメントの上部から送られるようにページを配置します。

2 **[コピーヒンシツ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

   [コピーヒンシツ] メニューでは、次のオプションが使用できます。



3 希望する品質設定が表示されるまで、▶ を押します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

デフォルト コピー設定の変更

コピー設定をフロント パネルまたは HP ディレクタ から変更すると、その変更は現在のコピー ジョブにのみ適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

1 原稿は、ガラス板の左下隅に合わせて表を下にしてセットするか、自動ドキュメント フィーダのトレイに表を上にしてセットします。
自動ドキュメント フィーダを使用している場合は、ドキュメントの上部から送られるようにページを配置します。

2 **[コピー]** メニューのオプションには、任意の変更を加えることができます。

3 **[デフォルト トシテ セッテイ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

コピー メニュー
コピーマイスウ
シュクショウ / カクダイ
コピーヒンシツ
コピーヨウシサイズ
ヨウシ ノ シュルイ
ウスク / コク
キョウチョウ
カラーキョウド
デフォルト トシテ セッテイ

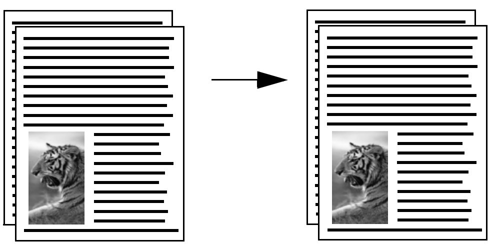
4 **[ハイ]** が表示されるまで ▶ を押します。

5 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。
これで、HP Officejet は新しいデフォルト設定を使用して原稿をコピーします。

ここで指定した設定は、**HP Officejet** 本体にのみ保存されます。ソフトウェアの設定には適用されません。コピー設定の管理に HP ディレクタ ソフトウェアをご使用の場合は、HP の [コピー] ダイアログ ボックスから、一番よく使う設定をデフォルト設定にしてください。使用方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

2 ページのモノクロ文書をコピーする

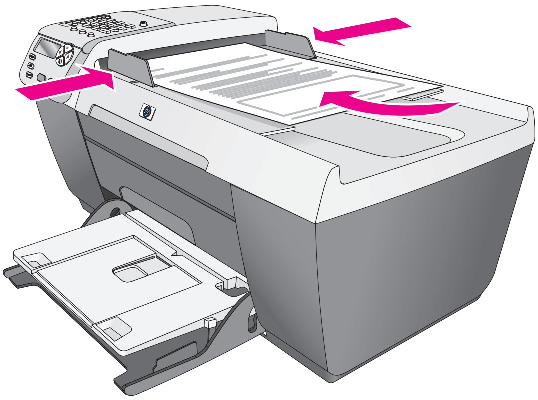
HP Officejet を使用すると、1 ページの文書でも複数ページの文書でもカラーまたはモノクロでコピーできます。ここでは、HP Officejet を使って 2 ページのモノクロ原稿をコピーする場合を例に説明します。



1 最初のページが一番上に来るよう原稿を揃えます。

2 自動ドキュメント フィーダの場合は、表が上になるよう原稿をセットします。

自動ドキュメント フィーダに、ドキュメントの上部から送られるようにページを配置します。



3 まだ点灯していなければ、**[コピー]** ボタンを押します

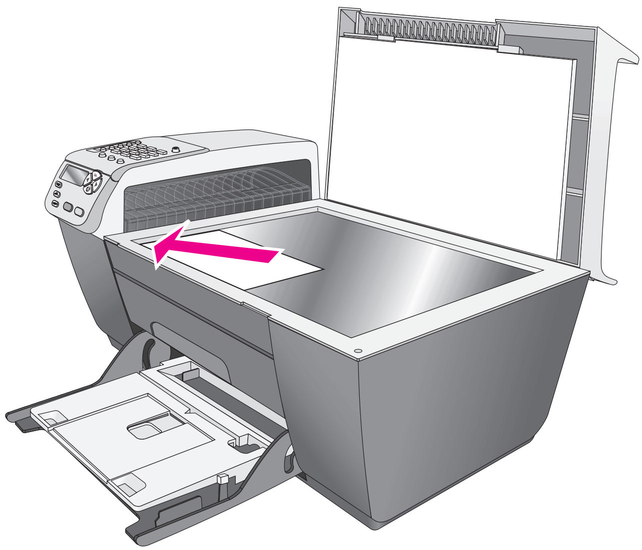
4 **[スタート] - [モノクロ]** か **[スタート] - [カラー]** を押します。

写真を 10 x 15 cm フォト用紙にフチなしコピーする

写真をコピーする際に最善の品質が得られるようにするには、給紙トレイにフォト用紙をセットし、適切な用紙の種類と写真の画質改善に関するコピーオプションを変更します。

1 写真原稿を、表を下にしてガラス板の左下隅に合わせてセットします。

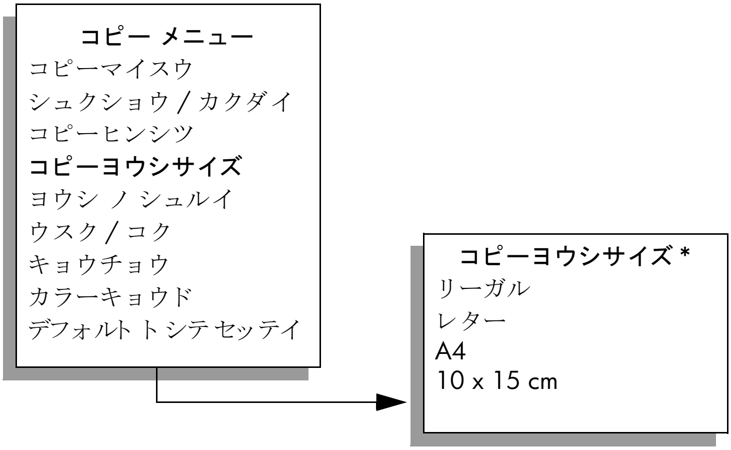
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。



2 10 x 15 cm 切り離しタブ付きフォト用紙を印刷面を下にして給紙トレイにセットします。このとき、タブが手前に向くようにします。

3 **[コピーヨウシサイズ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

[コピーヨウシサイズ] メニューでは、次のオプションが使用できます。

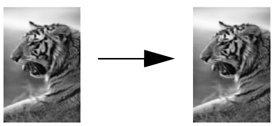


* 使用できる用紙サイズは国 / 地域によって異なります。

4 **[10 x 15 cm]** が表示されるまで▶を押します。

5 **[スタート] - [モノクロ]** か **[スタート] - [カラー]** を押します。

HP Officejet で、以下のように写真原稿が 10 x 15 cm の用紙にフチなしコピーされます。フチなしコピーのために、イメージのサイズは調整されます。



写真をコピーするには、**HP Officejet** でインストールした HP ディレクタ ソフトウェアを使う方が簡単です。HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、簡単に **10 x 15 cm** の用紙に写真をフチなしコピーしたり、セットした用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小したりできます。また、[フォト] の強調を選択すると最高の画質で写真をコピーできます。HP ディレクタの機能の使用方法については、ソフトウェアに付属しているオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

同じ原稿を複数コピーする

1 原稿は、ガラス板の左下隅に表を下にしてセットするか、自動ドキュメント フィーダ (ADF) のトレイに表を上にしてセットします。

自動ドキュメント フィーダを使用している場合は、ドキュメントの上部から送られるようにページを配置します。

2 **[コピーマイスウ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

3 ▶ を押すか、キーパッドから枚数を入力します。

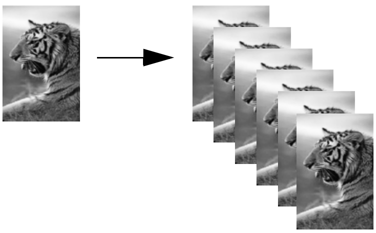
(最大枚数はモデルによって異なります。)

ヒント： 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 単位で増えるため、多くの枚数のコピーを設定するのに便利です。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

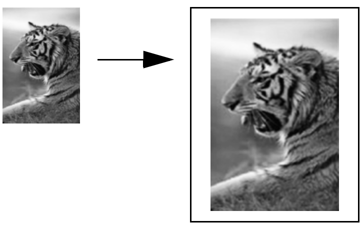
自動ドキュメント フィーダで複数ページの原稿をコピーする場合、HP Officejet は 1 ページを指定枚数だけコピーしてから、次のページをコピーします。コピーをソートし、ホッチキスで留める作業はユーザー自身が行う必要があります。

下の例では、HP Officejet で 10 x 15 cm の写真を 6 部コピーしています。



10 x 15 cm の写真を用紙のサイズに合わせてコピーする

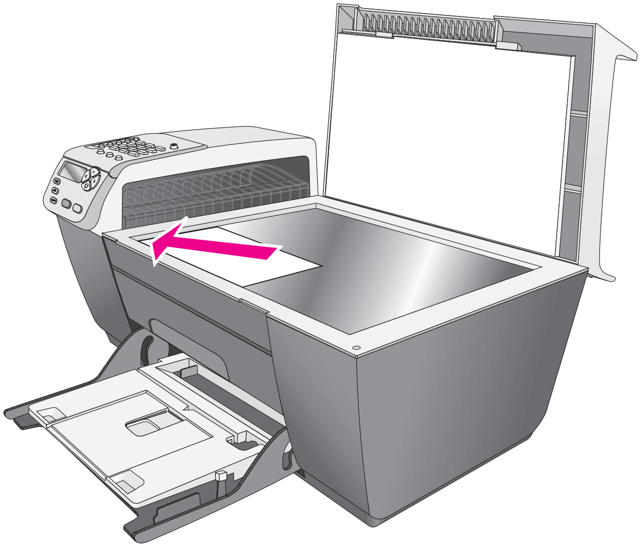
給紙トレイにセットした用紙の印刷可能領域に合わせて原稿を自動的に拡大 / 縮小したい場合は、[ページ ニ アワセル] を使用します。この例では、次に示すように [ページ ニ アワセル] を使用し、小さな写真を用紙のマージン内に拡大しています。



また、[ページ ニ アワセル] を使用すると、マージン近辺の文字や画像が間違ってトリミングされるのを防ぐために原稿を縮小したり、原稿を縮小 / 拡大して 10 x 15 cm のフチなし写真を作成することができます。

ヒント： ガラス板が汚れていないことと、原稿をガラス板の左下隅にセットしたことを確認します。[ページ ニ アワセル] オプションは、自動ドキュメント フィーダでは使用できません。

1 写真原稿を、表を下にしてガラス板の左下隅に合わせてセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。



2 A4 用紙を給紙トレイにセットします。

3 **[コピーヨウシサイズ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。
[コピーヨウシサイズ] メニューでは、次のオプションが使用できます。

コピー メニュー
コピーマイスウ
シュクショウ / カクダイ
コピーヒンシツ
コピーヨウシサイズ
ヨウシ ノ シュルイ
ウスク / コク
キョウチョウ
カラーキョウド
デフォルト トシテ セッテイ

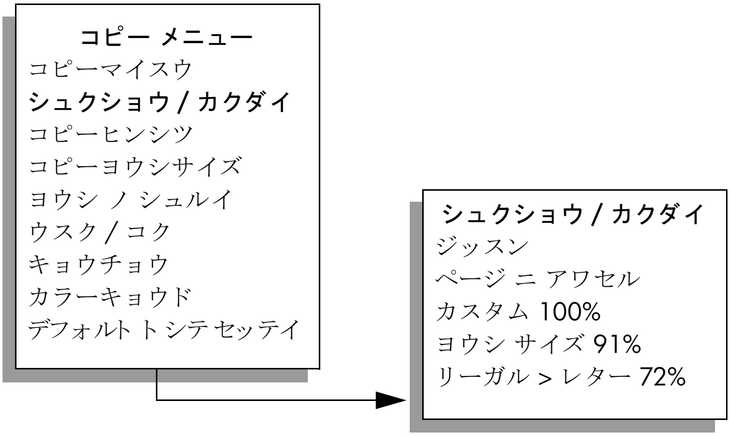
コピーヨウシサイズ *
リーガル
レター
A4
10 x 15 cm

*** 使用できる用紙サイズは国 / 地域によって異なります。**

4 **[A4]** が表示されるまで ▶ を押します。

5 **[シュクショウ / カクダイ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

[シュクショウ / カクダイ] メニューでは、次のオプションが使用できます。



6 **[ページ ニ アワセル]** が表示されるまで ▶ を押します。

7 **[スタート] - [カラー]** を押します。

原稿の縦横比を変更せずに用紙の印刷可能領域に合わせてコピーするため、HP Officejet が用紙の周囲に不均等な余白を残すことがあります。

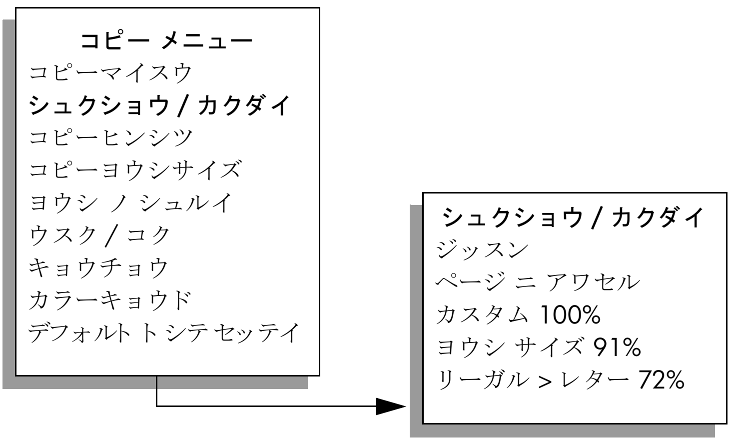
リーガル サイズのドキュメントをレター用紙にコピーする

1 表が上になるようリーガル ドキュメントを自動ドキュメント フィーダのトレイにセットします。

ドキュメントの上部から送られるように自動ドキュメント フィーダにページを配置します。

2 **[シュクショウ / カクダイ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

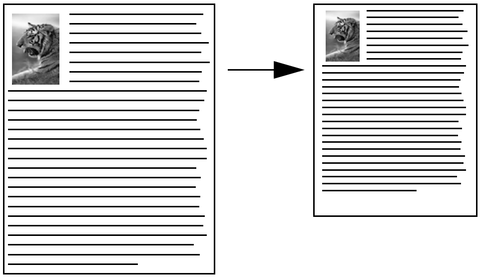
[シュクショウ / カクダイ] メニューでは、次のオプションが使用できます。



3 [リーガル > レター 72%] が表示されるまで ▶ を押します。

4 [スタート] - [モノクロ] ボタンまたは [スタート] - [カラー] ボタンを押します。

次に示すように、レター用紙の印刷可能領域に原稿が収まるよう HP Officejet が原稿のサイズを縮小します。



色あせた原稿をコピーする

[ウスク / コク] を使ってコピーの明暗を調節します。また、色の濃さを調整することで、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1 原稿は、ガラス板の左下隅に表を下にしてセットするか、自動ドキュメント フィーダ (ADF) のトレイに表を上にしてセットします。

自動ドキュメント フィーダを使用している場合は、ドキュメントの上部から送られるようにページを配置します。

2 [ウスク / コク] がディスプレイの最上行に表示されるまで、[コピー] を押します。

[ウスク / コク] の値の範囲は、フロント パネル ディスプレイに円のスケールで表示されます。

3 コピーを濃くするには ▶ を押します。

ご注意 : コピーを薄くするには、◀ を押します。

4 [カラーキョウド] がディスプレイの最上行に表示されるまで、[コピー] を押します。

色の濃さの値の範囲は、フロント パネル ディスプレイに円のスケールで表示されます。

5 画像をより鮮やかにするには、▶ を押します。

ご注意 : 画像を薄くするには、◀ を押します。

6 [スタート] - [カラー] を押します。

コピー

何回もファクスされた文書をコピーする

[キョウチョウ] 機能を使用すると、白に見えてしまうような薄い色を強調することでモノクロ文字や写真のエッジがシャープになり、テキスト文書の画質が自動的に調整されます。

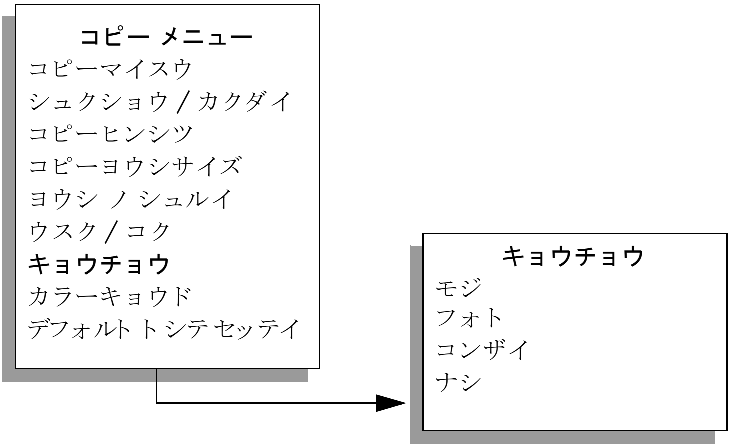
デフォルトのオプションは [モジ] の強調です。[モジ] の強調を使用すると、モノクロ文字のエッジがシャープになります。

1 原稿は、ガラス板の左下隅に表を下にしてセットするか、自動ドキュメント フィーダ (ADF) のトレイに表を上にしてセットします。

   自動ドキュメント フィーダを使用している場合は、ドキュメントの上部から送られるようにページを配置します。

2 **[キョウチョウ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。

   [キョウチョウ] メニューでは、次のオプションが使用できます。



3 **[モジ]** が表示されるまで、▶ を押します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

   ヒント： 次のような場合は、[フォト] または [ナシ] を選択することで [モジ] の強調をオフにすることができます。

   – コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
   – 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
   – カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
   – ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

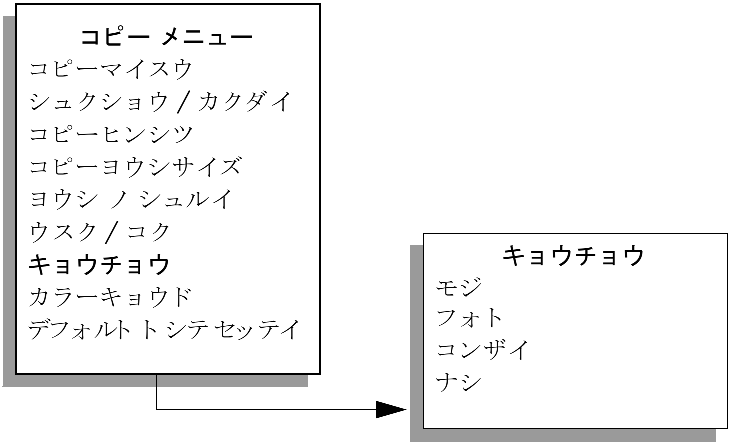
コピーで明るい部分を強調する

白に見えてしまうような薄い色を強調するには、[フォト] の強調を選択します。[モジ] の強調でコピーする場合に発生する次のような問題を避けたい場合は、[フォト] の強調でコピーすることもできます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

1 写真原稿を、表を下にしてガラス板の左下隅に合わせてセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

2 **[キョウチョウ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[コピー]** を押します。
[キョウチョウ] メニューでは、次のオプションが使用できます。



3 **[フォト]** が表示されるまで、▶ を押します。

4 **[スタート] - [カラー]** を押します。

コピーの中止

▶ コピーを中止するには、フロントパネルの **[キャンセル]** ボタンを押します。

HP Officejet が直ちにコピーを中止し、用紙を排出します。

5 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるよう、テキストや写真を電子的な形式に変換する過程のことです。写真やテキスト ドキュメントをスキャンできます。

スキャンされた画像やテキストは電子フォーマットであるため、ワード プロセッサやグラフィックス ソフトウェア プログラムに取り込み、ニーズに合わせて修正することが可能です（原稿の文字部分をテキストとして取り込むドキュメントスキャン機能は Windows OS のみ対応）。たとえば次のようなことが可能です。

- 子供の写真をスキャンして親戚に E メールで送付することや、家庭やオフィスの写真目録、電子スクラップブックを作成すること。
- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込むことで、入力し直す手間を大幅に省く。（Windows のみ）

スキャン機能を使用するには、HP Officejet とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行するに先だってコンピュータに HP Officejet ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要があります。Windows PC 上で HP Officejet ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるタスク トレイに [HP Officejet 5500 Series] のアイコンが表示されているかどうかを調べます。Macintosh の場合、HP Officejet ソフトウェアは常に動作しています。

スキャンはコンピュータか HP Officejet から行うことができます。ここでは、HP Officejet のフロント パネルによるスキャン方法についてのみ説明します。

コンピュータからスキャンを実行する方法や、スキャン結果の調整、サイズ変更、回転、トリミング、および鮮明化については、ソフトウェアに添付されているオンライン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

> **ご注意：**高解像度スキャン （600 dpi 以上）では、大量のハード ディスク スペースが必要です。ハード ディスクに十分なスペースがない場合、システムが停止することがあります。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 65 ページの原稿のスキャン
- 66 ページのスキャンの中止

原稿のスキャン

1 原稿を、表を下にして自動ドキュメント フィーダにセットするか、ガラス板の左下隅に合わせてセットします。

2 **[スキャン]** を押します。

[スキャン] メニューが表示され、設定されたスキャン先の一覧が表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。

3 ◀ か ▶ を押すか、[スキャン] ボタンを数回押してスキャン先を選択します。

4 [スタート] - [モノクロ] か [スタート] - [カラー] を押します。
HP Officejet が原稿をスキャンし、選択されたスキャン先に送信します。HP フォト イメージング ギャラリ (HP ギャラリ) を選択していた場合は、自動的にその画像が開いて表示されます。

HP ギャラリには、スキャンした画像を編集できるツールが多数用意されています。明度、鮮明度、カラー トーン、彩度などを調整することによって画像の品質を全体的に向上させることができます。画像のトリミング、歪み補正、回転、サイズ変更も行えます。スキャンした画像が目的どおりに表示されたら、それを別のアプリケーションで開いたり、電子メールでの送信、ファイルへの保存、印刷を行うことができます。HP ギャラリの使用方法の詳細については、ソフトウェアに添付されているオンライン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

スキャンの中止

- スキャンを中止するには、フロント パネルの [キャンセル] ボタンを押します。

6 ファクス機能の使用

HP Officejet から、カラー ファクスなどファクスの送受信が行えます。よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤルを設定できます。フロント パネルからは、解像度やコントラストなどのファクス オプションがいくつか設定できます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 68 ページのファクスの送信
- 72 ページのファクスの受信
- 75 ページのファクス ヘッダーの設定
- 76 ページの文字の入力
- 77 ページのレポートの印刷
- 79 ページの短縮ダイヤルのセットアップ
- 80 ページの解像度とコントラストの調整
- 82 ページのファクス オプションの設定
- 88 ページのメモリにあるファクスの再印刷
- 88 ページのファクスの中止

HP Officejet を最大限に活用するには、ファクスに付属する HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアを使用する必要があります。HP ソフトウェアを使用すると、HP Officejet のフロント パネルからは利用できない様々なタスクを実行することができます。例えば次のようなことが行えます。

- コンピュータからカバー ページを含めてファクスを送信する
- コンピュータでカバー ページを作成する
- 送信前にコンピュータでファクスをプレビューする
- 複数の受信者にファクスを送信する

HP ディレクタ ソフトウェアの開き方については、35 ページの **HP ディレクタ ソフトウェアによる hp officejet のフル活用** を参照してください。

ファクスの送信

HP Officejet のフロント パネルから、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。

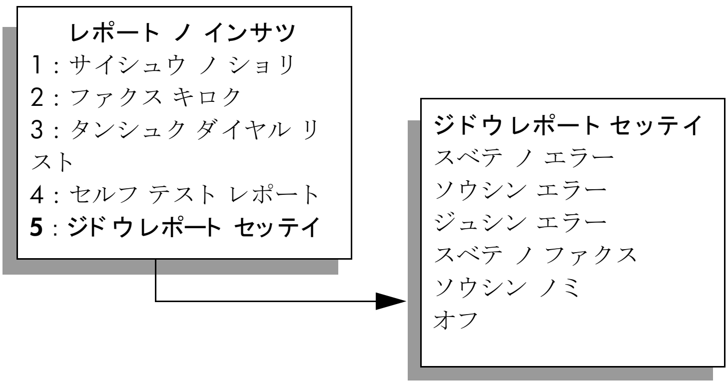
このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 68 ページのファクスの確認レポートを有効にする
- 69 ページの基本的なファクスの送信
- 69 ページのカラー原稿か写真をファクスで送信する
- 70 ページの短縮ダイヤルでファクスを送信する
- 70 ページのファクスのスケジューリング
- 71 ページのスケジュールしたファクスのキャンセル
- 71 ページのファクスをメモリから送信

ファクスの確認レポートを有効にする

デフォルト では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP Officejet でレポートが印刷されます。ファクスの送信に成功したかどうかを示す確認メッセージは、送信処理後にフロント パネル ディスプレイに簡単に表示されます。ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する*前に*次の手順を実行してください。

1 **[セットアップ]** を押します。
2 **[1]** を押し、次に **[5]** を押します。
   これで [レポート ノ インサツ] が選択され、次に [ジドウ レポート セッテイ] が選択されます。



3 **[ソウシン ノミ]** がディスプレイの 2 行目に表示されるまで▶を押し、次に **[OK]** を押します。

レポートの印刷の詳細については、77 ページのレポートの印刷を参照してください。

基本的なファクスの送信

ここでは、基本的なモノクロによるファクス送信方法を説明します。

カラーや写真のファクス送信については、69 ページのカラー原稿か写真をファクスで送信するを参照してください。

1 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。

原稿のセットの詳細については、41 ページの原稿のセットを参照してください。

2 **[ファクス]** を押します。

[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。

3 キーパッドを使用してファクス番号を入力します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンを押します。

HP Officejet に付属の HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信する表紙もコンピュータで作成して付けることができます。操作は簡単です。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

カラー原稿か写真をファクスで送信する

HP Officejet からは、カラー原稿や写真をファクスすることができます。カラー ファクスを送信したが、受信側のファクスがモノクロのみ対応のファクスだと、使用している HP Officejet が判断した場合、HP Officejet はファクスをモノクロで送信します。

カラー ファクス送信は、原稿がカラーの場合にのみ使用するようお奨めします。

1 原稿をセットするには、次のいずれかの操作を行います。

– カラー原稿を送信する場合は、原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。

– 写真をファクスする場合は、表を下にしてガラス板の左下隅に合わせてセットします。ガラス板を使用する場合、一度にファクスできるのは 1 ページだけです。

詳しくは、41 ページの原稿のセットを参照してください。

2 **[ファクス]** を押します。

[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。

3 ファクス番号を入力します。

ヒント： ファクス番号にポーズを入力するには、[リダイヤル / ポーズ] を押します。

4 写真をファクスする場合は、解像度を **[シャシン]** に変更することを推奨します。

解像度の変更については、80 ページの解像度の変更を参照してください。

5 **[スタート] - [カラー]** を押します。

6 ガラス板の上に原稿をセットした場合は、**[1] [ハイ]** を押して原稿をファクスします。

ご注意： 受信者側のファクスがモノクロしか対応していない場合、HP Officejet はファクスを自動的にモノクロで送信します。このとき、ファイルの送信が完了した時点で、ファクスがモノクロで送信されたことを示すメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、[OK] ボタンを押します。

HP Officejet に付属の HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信する表紙もコンピュータで作成して付けることができます。操作は簡単です。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

短縮ダイヤルでファクスを送信する

ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンか、フロント パネルの [短縮ダイヤル] ボタンを使用すると、ファクスをフロント パネルから素早く送信できます。

短縮ダイヤル番号が未設定の場合、[タンシュク ダイヤル] は表示されません。詳しくは、79 ページの**短縮ダイヤルのセットアップ**を参照してください。

1 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。

詳しくは、41 ページの**原稿のセット**を参照してください。

2 **[ファクス]** を押します。

[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。

3 以下のいずれかを実行してください。

– 目的の短縮ダイヤルのエントリがディスプレイの最上行に表示されるまで、**[短縮ダイヤル]** を押します。
– ワンタッチ短縮ダイヤルボタンを押します。
– **[短縮ダイヤル]** を押して、フロント パネルから 2 桁の短縮ダイヤル番号コードを入力します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、短縮ダイヤルをコンピュータからすばやく簡単に設定できます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

ファクスのスケジューリング

モノクロ ファクスは、同日内の別の時間 （例えば電話回線が込んでいないときや、通話料金が安い時間帯など）に送信するよう送信時刻を設定することができます。ファクスをスケジュールするときは、原稿を自動ドキュメント フィーダにセットしなければなりません。

指定の時間がくると、接続が確立した時点で直ちにファクスが自動的に送信されます。

1 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。
2 [ファクス] を押します。
[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。
3 キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、目的の短縮ダイヤル エントリが表示されるまで [短縮ダイヤル] を押します。
短縮ダイヤルの詳細については、79 ページの短縮ダイヤルのセットアップを参照してください。
ヒント： ファクス番号にポーズを入力するには、[リダイヤル / ポーズ] を押します。
4 [ファクス ホウホウ] がディスプレイの最上行に表示されるまで、[ファクス] を押します。
5 [アトデ ファクス ソウシン] がディスプレイの最上行に表示されるまで ▶ を押し、次に [OK] を押します。
6 数値キーパッドを使用して、[ソウシンジコク] を入力します。
7 [AM] を選択するには [1] を、[PM] を選択するには [2] を押します。
8 [スタート] - [モノクロ] ボタンを押します。

スケジュールしたファクスのキャンセル

スケジュールしたファクスや、現時点で送信中のファクスは、キャンセルすることができます。

- スケジュールされた時間が表示されたら、[キャンセル] を押します。

ファクスをメモリから送信

HP Officejet では、送信する前にファクスをメモリにスキャンし保存することができます。この機能は、送信先のファクス番号がビジーであるか一時的に利用不可能な場合に役立ちます。原稿は、送信に先立ってメモリにスキャンされ、HP Officejet が接続できるようになった時点でファクスが送信されます。このため、ページがメモリにスキャンされた後は、すぐに原稿を HP Officejet から取り出すことができます。原稿は自動ドキュメント フィーダにセットしなければなりません。また、メモリから送信できるのはモノクロ ファクスに限られます。

1 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。
2 [ファクス] を押します。
[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。
3 キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、目的の短縮ダイヤル エントリが表示されるまで [短縮ダイヤル] を押します。
短縮ダイヤルの詳細については、79 ページの短縮ダイヤルのセットアップを参照してください。
ヒント： ファクス番号にポーズを入力するには、[リダイヤル / ポーズ] を押します。
4 [ファクス ホウホウ] がディスプレイの最上行に表示されるまで、[ファクス] を押します。

5 **[メモリ ナイ ノ ファクス ヲ ソウシン]** がディスプレイの最上行に表示されるまで ▶ を押し、次に **[OK]** を押します。

6 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンを押します。
原稿がメモリにスキャンして保存され、送信されます。

ファクスの受信

HP Officejet をどのようにセットアップしているかによって、ファクスを自動か手動のいずれで受信できるかが決まります。[ジドウ オウトウ] の設定をオフにしている場合を除き、HP Officejet は受信したファクスを自動的に印刷します。[ジドウ オウトウ] の詳細については、73 ページのファクスを自動または手動で受信するために hp officejet をセットアップするを参照してください。

リーガル サイズのファクスを受信した場合、セットされている用紙に収まるようファクスのサイズが自動的に縮小されます。自動縮小機能がオフになっていると、ファクスは 2 ページにわたって印刷されます。詳しくは、84 ページの着信ファクスに自動縮小を設定するを参照してください。

HP Officejet と同じ電話回線に留守番電話を接続している場合は、HP Officejet がファクスを受信するまでに必要な呼び出し回数を設定しなければなりません。HP Officejet がファクスを受信するまでのデフォルトの呼び出し回数は 5 です （国 / 地域によって異なる)。応答するまでの呼び出し回数を設定する場合の詳細については、72 ページの応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

HP Officejet を留守番電話やボイス メールなど他のオフィス機器と一緒に使用できるようにするには、89 ページのファクスのセットアップを参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 72 ページの応答までの呼び出し回数の設定
- 73 ページのファクスを自動または手動で受信するために hp officejet をセットアップする
- 74 ページのファクスを手動で受信する
- 75 ページのポーリングを使用してファクスを受信

応答までの呼び出し回数の設定

HP Officejet が自動的に電話に応答するまでの呼び出し回数を 15 回まで指定することができます。デフォルトの呼び出し回数は 5 回です (国 / 地域によって異なります)。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[3]** を押し、次に **[4]** を押します。
これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] が選択されます。

ファクスノ ヒョウジュン セッテイ
1：ヒヅケ ト ジコク
2：ファクス ヘッダー
3：ジドウ オウトウ
4：オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ
5：ヨウシ サイズ
6：ダイヤル モード
7：ヨビダシ オン ノ オンリョウ
モノクロ ノミデ ファクス ヲ テン
ソウ

3 応答するまでの適切な呼び出し回数を、キーパッドで入力します。

この電話回線に留守番電話がつながっている場合は、HP Officejet が応答するより前に留守番電話が応答するよう設定してください。
HP Officejet の [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] には、留守番電話に応答する回数よりも多い回数を設定しなければなりません。

留守番電話は HP Officejet より*前に*応答するようにします。HP Officejet は呼び出しをモニタし、ファクスのトーン信号が検出されると応答します。

4 **[OK]** ボタンを押して設定を確定します。

HP Officejet を留守番電話やボイス メールなど他のオフィス機器と一緒に使用できるようにするには、89 ページのファクスのセットアップを参照してください。

ファクスを自動または手動で受信するために hp officejet をセットアップする

HP Officejet は、デフォルトでは受信したファクスを自動的に印刷するよう設定されています。ファクスは、手動で受信するか自動で受信するかを選択できます。

ファクスを手動で受信したい場合があります。たとえば、電話回線を HP Officejet と電話で共有しているが、着信音を区別できない場合は、ファクスに手動で応答するよう HP Officejet をセットアップする必要があります。HP Officejet では、ファクスの着信と電話の着信の違いを識別できないからです。ファクスを手動で受信する場合は、ユーザー自身がファクス着信に応答しなければなりません。そうでないと HP Officejet がファクスを受信できません。

電話会社からボイス メール サービスを利用している場合は、手動でファクスに応答するよう HP Officejet に設定することもできます。

ファクスの手動受信の詳細については、74 ページのファクスを手動で受信するを参照してください。

HP Officejet を留守番電話やボイス メールなど他のオフィス機器と一緒に使用できるようにするには、89 ページのファクスのセットアップを参照してください。

1 [セットアップ] ボタンを押します。
2 [3] を押し、もう一度 [3] を押します。
これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [ジドウ オウトウ] が選択されます。
3 ▶ を押して、[オン] か [オフ] を選択します。
– ファクスを自動で受信するには、[オン] を選択します （デフォルト）。
– ファクスを手動で受信するには、[オフ] を選択します。ファクスの手動受信の詳細については、74 ページのファクスを手動で受信するを参照してください。
4 [OK] ボタンを押して設定を確定します。

ファクスを手動で受信する

ファクスを手動で受信するよう HP Officejet を設定した場合は、ファクスの着信にユーザー自身が応答しなければなりません。着信したファクスは、HP Officejet に直接接続した電話か、本機と同じ電話回線にある電話から受信することができます。

電話と一緒に HP Officejet を使用できるようにセットアップする方法については、89 ページのファクスのセットアップを参照してください。

1 HP Officejet の自動ドキュメント フィーダに原稿がセットされている場合は、すべて取り出します。
2 ファクスを手動で受信できるように HP Officejet の [ジドウ オウトウ] をオフにします。または、[オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] オプションで、HP Officejet より前にファクスに応答できるのに十分な回数に設定します。
ファクス受信に手動で応答するよう HP Officejet をセットアップする場合の詳細については、73 ページのファクスを自動または手動で受信するために hp officejet をセットアップするを参照してください。[オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] の回数を設定する場合の詳細については、72 ページの応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。
3 HP Officejet の呼び出し音が鳴ったら、接続されている電話か、同じ回線上にある電話の受話器を取ってください。
4 ファクスのトーン信号が聞こえたら、次のいずれかの操作を実行します。
– 電話が HP Officejet の背面に接続されている場合は、[ファクス] を押し、次に [スタート] - [モノクロ] か [スタート] - [カラー] を押します。
– 電話が HP Officejet の背面に接続されていないが同じ電話回線上にある場合は、その電話で [1] [2] [3] を押します。
– 送信者が電話に出ている場合は、送信者のファクス機の [スタート] を押すよう送信者に指示します。ファクスのトーン信号が聞こえたら [ファクス] を押し、次に [スタート] - [モノクロ] か [スタート] - [カラー] を押します。
5 ファクスのトーン信号を待ち、それから受話器を置きます。

ポーリングを使用してファクスを受信

ポーリング機能を使用すると、別のファクス機のキューに保存されているファクスを送信するよう HP Officejet がそのファクス機に要求することができます。[ポーリング ヲ ショウシテ ジュシン] 機能を使用すると、HP Officejet が相手のファクス機を呼び出し、ファクスの送信を要求します。このとき、相手のファクス機がポーリング用に設定されていること、またファクスの送信準備が整っていることが必要です。

1. **[ファクス]** を押します。
   [ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。
2. 相手のファクス機のファクス番号を入力します。
3. **[ファクス ホウホウ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[ファクス]** を押します。
4. **[ポーリング ヲ ショウシテ ジュシン]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、▶ を押します。
5. **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

ファクス ヘッダーの設定

ファクス ヘッダーを使用すると、どの送信ファクスの上部にもユーザーの名前とファクス番号が印刷されます。HP ソフトウェア をインストールする場合は、ファクスセットアップ ウィザードからファクス ヘッダーを設定することをお奨めしますが、フロント パネルからも設定できます。

ファクス ヘッダーに使用できる文字は、英数字とカタカナのみです。

ファクス ヘッダー情報表示は、多くの国の法律で求められています。

ご注意： ハンガリーでは、電話加入者識別コード (ファクス ヘッダー) の設定や変更を行えるのは認可を受けた人のみです。詳細については、HP 認定の代理店にお問い合わせください。

1. **[セットアップ]** を押します。
2. **[3]** を押し、次に **[2]** を押します。
   これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [ファクス ヘッダー] が選択されます。
3. メッセージに応えて個人名か企業名を入力します。フロント パネルからテキストを入力する方法については、76 ページの文字の入力を参照してください。
4. **[OK]** を押します。
5. 数値キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
6. **[OK]** を押します。

注意： ファクス ヘッダーを作成するとき、漢字はサポートされておりません。片仮名または平仮名を使用してください。また平仮名を入力しても片仮名に変換されます。漢字を使用すると、画面上およびフロントパネルで "???" と表示されます。

ファクス ヘッダー情報を入力するには、HP Officejet にインストールした HP ディレクタ ソフトウェアから ファクス セットアップ ウィザード を使う方が簡単でしょう。ファクス ヘッダー情報を入力できるほか、カバー ページ情報も入力できます。この情報は、コンピュータからのファクス送信にカバー ページを添付するときに利用されます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

文字の入力

フロント パネルのキーパッドを使って文字を入力する方法を次のリストに示します。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。

2 ABC　A、B、C の文字は数字 [2] に対応しています。他の文字に関しても同様です。

- ボタンを複数回押して、まずカナ文字がでて、それから英数字が表示されます。

5 JKL

この文字を出すには	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	j	k	l	5
[5] をこれだけの回数押す	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

ご注意： 選択した国 / 地域によって、さらに利用できる文字がある場合があります。

- 正しい文字が表示されたら ▶ を押し、次に名前でその次にくる文字に対応する数字ボタンを押します。正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。
- スペースを挿入するには、**[スペース (#)]** を押します。
- ポーズを入力するには、**[ポーズ / リダイヤル]** を押します。
- + などの記号を入力するには、**[記号 (*)]** ボタンを繰り返し押して、使用可能な記号のリストをスクロールします。
- 間違えた場合は、◀ を押してクリアし、それから正しく入力してください。
- 文字の入力が終わったら、**[OK]** ボタンを押して入力内容を確定してください。

レポートの印刷

HP Officejet を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。必要に応じて、システムのレポートも手動で印刷できます。これらのレポートから HP Officejet について有用なシステム情報を知ることが出来ます。印刷は英数字とカタカナのみになります。

デフォルト設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP Officejet でレポートが印刷されます。ファクスの送信に成功したかどうかを示す確認メッセージは、送信処理後にフロント パネル ディスプレイに簡単に表示されます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 77 ページのレポートの自動生成
- 78 ページのレポートの手動生成

レポートの自動生成

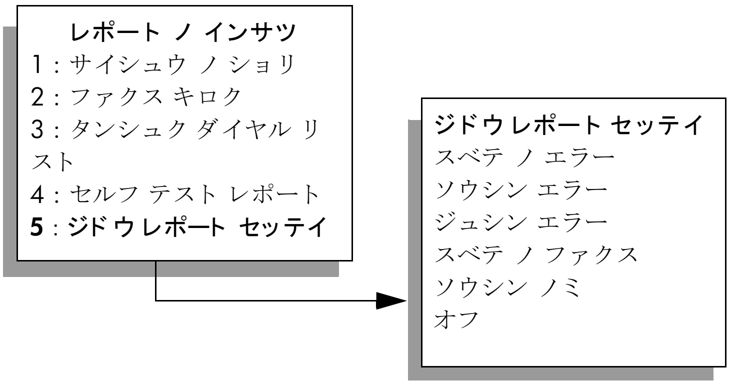
この設定を行うと、HP Officejet で自動的にエラー レポートと確認レポートを印刷できるようになります。

ご注意： ファクスの送信に成功するたびに確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する*前に*次の手順を実行してください。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[1]** を押し、次に **[5]** を押します。

これで [レポート ノ インサツ] が選択され、次に [ジドウ レポート セッテイ] が選択されます。



3 レポートには次のような種類があり、▶ を押すことでスクロールできます。
   - **スベテ ノ エラー**：各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます (デフォルト)。
   - **ソウシン エラー**：送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   - **ジュシン エラー**：受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   - **スベテ ノ ファクス**：ファクスの送受信が行われるたびに確認のレポートが印刷されます。
   - **ソウシン ノミ**：ファクスが送信されるたびにレポートが印刷されます。
   - **オフ**：ファクス レポートは印刷されません。

4 目的のレポートに達したら、**[OK]** を押します。

レポートの手動生成

最後に行われたファクス送信のステータスなど、HP Officejet についてのレポートは手動でも生成できます。

1 **[セットアップ]** を押し、次に **[1]** を押します。
   [レポート ノ インサツ] が選択されます。

レポート ノ インサツ
1：サイシュウ ノ ショリ
2：ファクス キロク
3：タンシュク ダイヤル リスト
4：セルフ テスト レポート
5：ジドウ レポート セッテイ

2 レポートには次のような種類があり、▶ を押すことでスクロールできます。
   - **[サイシュウ ノ ショリ]**：最後に処理したファクスの詳細が印刷されます。
   - **[ファクス キロク]**：最後に送受信したおよそ 30 件のファクスの記録が印刷されます。
   - **[タンシュク ダイヤル リスト]**：プログラムした短縮ダイヤル エントリのリストが印刷されます。
   - **[セルフテスト レポート]**：印刷や調整に関する問題の診断に利用できるレポートが印刷されます。詳しくは、109 ページの**セルフテスト レポートの印刷**を参照してください。
   - **[ジドウ レポート セッテイ]**：77 ページの**レポートの自動生成**で説明した自動レポートが印刷されます。

3 目的のレポートに達したら、**[OK]** を押します。

短縮ダイヤルのセットアップ

頻繁に使用するファクス番号には、短縮ダイヤルのエントリを割り当てることができます。素早くファクスを送信するには、フロント パネルのワンタッチ短縮ダイヤルを使用します。[短縮ダイヤル] を押して、短縮ダイヤルのエントリ リストをスクロールし、目的の番号を選択します。短縮ダイヤルの最初の 5 つのエントリが、フロント パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンに自動的に保存されます。

短縮ダイヤルの設定は、短縮ダイヤルの設定は HP ディレクタからとフロントパネルからのどちらでも行うことができます。

短縮ダイヤルによるファクス送信の詳細については、70 ページの短縮ダイヤルでファクスを送信するを参照してください。

HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、短縮ダイヤルのエントリをコンピュータからすばやく簡単に設定できます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 79 ページの個々の短縮ダイヤルエントリの作成
- 80 ページの短縮ダイヤル エントリの削除

個々の短縮ダイヤルエントリの作成

よく使うファクス番号について短縮ダイヤル エントリを作成できます。

1 **[セットアップ]** を押します。
2 **[2]** を押し、次に **[1]** を押します。
  [タンシュク ダイヤル ノ セッテイ] が選択され、次に [タンシュク ダイヤル] が選択されます。

  タンシュク ダイヤル ノ セッテイ
  1：タンシュク ダイヤル
  2：タンシュク ダイヤル ヲ サクジョ
  3：タンシュク ダイヤル リスト ヲ インサツ

  ディスプレイには、まだ登録されていない最初の短縮ダイヤル エントリが表示されます。
3 表示された短縮ダイヤル エントリを選択するには **[OK]** ボタンを押します。
4 その短縮ダイヤル エントリに登録するファクス番号を入力し、**[OK]** ボタンを押します。
  最大 50 桁までのファクス番号が有効です。

  ヒント： 連続する番号の間に 3 秒間のポーズを入力するには、[リダイヤル / ポーズ] を押してハイフンを表示します。

5 個人か企業の名前を入力し、**[OK]** ボタンを押します。
名前の長さは、最大 13 文字に制限されます。
文字の入力の詳細については、76 ページの文字の入力を参照してください。

6 **[マダ ニュウリョク シマスカ]** が表示されたら、別の番号をセットアップする場合は **[1] (ハイ)** を、終了する場合は **[2] (イイエ)** を押します。

短縮ダイヤル エントリの削除

個々の短縮ダイヤル エントリを削除するには、次の手順に従います。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[2]** を押し、もう一度 **[2]** を押します。
これで、[タンシュク ダイヤル ノ セッテイ)] が選択され、次に [タンシュク ダイヤル ヲ サクジョ] が選択されます。

3 削除したい個々のエントリが表示されるまで ▶ を押し、次に **[OK]** ボタンを押します。

解像度とコントラストの調整

送信する文書の解像度やコントラストを変更することが可能です。行った変更はデフォルトに設定しない限り、何もせず 2 分が経過した後にデフォルト値に戻ります。詳しくは、82 ページの新しいデフォルトの設定を参照してください。

ご注意 : これらのファクス設定はコピー設定には影響しません。コピー解像度とコピー コントラストについては、ファクス解像度とファクス コントラストとは別々に設定します。またフロント パネルから行った変更は、コンピュータから送信するファクスにも影響しません。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 解像度の変更
- コントラストの変更

解像度の変更

解像度の変更は、送信速度およびファクス送信された文書の品質に影響を及ぼします。HP Officejet では、受信側のファクスでサポートされている最も高い解像度でのみファクス送信を行います。

1 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。

2 **[ファクス]** を押します。
[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。

3 キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、目的の短縮ダイヤル エントリが表示されるまで **[短縮ダイヤル]** を押します。

4 **[カイゾウド]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[ファクス]** を押します。

カイゾウド
コウガシツ
チョウ コウガシツ
シャシン
ヒョウジュン

5 解像度には次のような設定があり、▶ を押すことでスクロールできます。
- **コウガシツ**：これはデフォルト設定値です。ほとんどの文書をファクスするのに適した高品質な文字が得られます。
- **チョウ コウガシツ**：この設定は、きわめて微細な詳細を持つ文書をファクスする場合に使用します。このオプションを選択した場合は、ファクス送信が完了するまでに通常よりも時間がかかります。
- **シャシン**：この設定では、写真をファクスするときに最高の画質が得られます。**[シャシン]** を選択した場合は、ファクス送信が完了するまでに通常よりも時間がかかります。写真をファクスするときは **[シャシン]** を選択するようお奨めします。
- **ヒョウジュン**：この設定では、ファクスの品質は低下しますが送信速度は最高になります。

6 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

コントラストの変更

原稿からファクスのコントラストの明暗を変更するには、この設定を行います。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに便利です。コントラストを調整しながら、原稿の濃度を濃くできます。

1 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。

2 **[ファクス]** を押します。
[ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。

3 キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤルボタンを押すか、目的の短縮ダイヤル エントリが表示されるまで **[短縮ダイヤル]** を押します。

4 **[ウスク / コク]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[ファクス]** を押します。
値の範囲は、ディスプレイに円のスケールとして表示されます。

5 ファクスを明るくするには ◀ を、暗くするには ▶ を押します。
ボタンを押すたびに、円が左か右に移動します。

6 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

ファクス オプションの設定

ビジー状態の番号に自動的にリダイヤルするかどうかを制御するなど、HP Officejet では数々のファクス オプションを設定できます。次のオプションに変更を加えた場合は、新しい設定がデフォルトになります。ファクス オプションの変更には、このセクションを参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 82 ページの新しいデフォルトの設定
- 83 ページのビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルする
- 83 ページのファクスを別の番号に転送する
- 84 ページのファクス転送の編集またはキャンセル
- 84 ページのエラー補正モードの使用
- 84 ページの着信ファクスに自動縮小を設定する
- 85 ページのボリュームの調整
- 85 ページの応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更
- 86 ページの日付と時刻の設定
- 86 ページの用紙のサイズの設定
- 87 ページのトーン ダイヤルかパルス ダイヤルの設定
- 87 ページのバックアップ ファクス受信の設定

新しいデフォルトの設定

[カイゾウド] と [ウスク / コク] の各設定のデフォルト値は、フロント パネルから変更できます。

1. 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。
2. **[ファクス]** を押します。

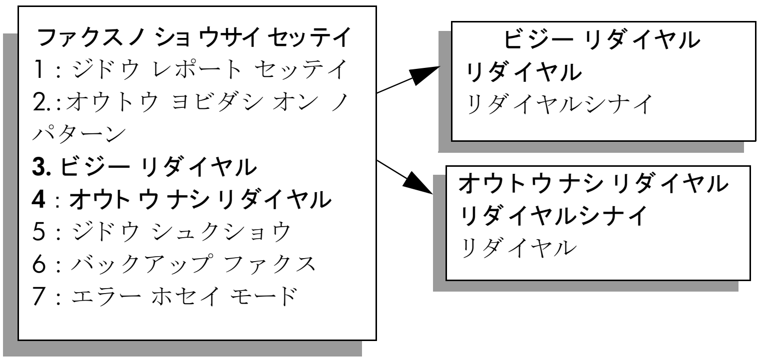
   [ファクス バンゴウ] がディスプレイの最上行に表示されます。
3. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、目的の短縮ダイヤル エントリが表示されるまで **[短縮ダイヤル]** を押します。

   短縮ダイヤルの詳細については、79 ページの短縮ダイヤルのセットアップを参照してください。
4. 変更する設定がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[ファクス]** を押します。
5. **[カイゾウド]** と **[ウスク / コク]** を必要に応じて変更してください。
6. **[デフォルト トシテ セッテイ]** がディスプレイの最上行に表示されるまで、**[ファクス]** を押します。
7. ▶ を押して **[ハイ]** を選択します。
8. **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルする

HP Officejet を、ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルするよう設定できます。[ビジー リダイヤル] のデフォルト設定は [リダイヤル] です。[オウトウ ナシ リダイヤル] のデフォルト設定は [リダイヤルシナイ] です。

1　[セットアップ] を押します。
2　以下のいずれかを実行してください。
   – [ビジー リダイヤル] 設定を変更するには、[4] を押してから [3] を押します。
     これで、[ファクス ノ ショウサイ セッテイ] が選択され、次に [ビジー リダイヤル] が選択されます。
   – [オウトウ ナシ リダイヤル] 設定を変更するには、[4] を押してからもう一度 [4] を押します。
     これで、[ファクス ノ ショウサイ セッテイ] が選択され、次に [オウトウ ナシ リダイヤル] が選択されます。



3　▶ を押して [リダイヤル] か [リダイヤルシナイ] を選択します。
4　［OK］を押します。

ファクスを別の番号に転送する

[ファクス ノ テンソウ] 機能を使用すると、指定した一定の期間だけファクスを別のファクス番号に転送することができます。[ファクス ノ テンソウ] を有効にしている期間中、HP Officejet は受信したファクスを印刷しません。転送できるのは、モノクロのファクスだけです。

1　[セットアップ] を押します。
2　[3] を押し、次に [8] を押します。
   これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [モノクロ ノミデ ファクス ヲ テンソウ] が選択されます。
3　メッセージの指示に従って、ファクスの転送先とするファクス番号を [ファクスバンゴウ] に入力します。
4　［OK］を押します。
5　数値キーパッドを使用して、[カイシ ビ] を入力します。
6　数値キーパッドを使用して、[カイシ ジコク] を入力します。
7　[AM] を選択するには [1] を、[PM] を選択するには [2] を押します。

8 数値キーパッドを使用して、**[テイシ ビ]** を入力します。
[ファクスノテンソウ] がディスプレイに表示されます。

ファクス転送の編集またはキャンセル

ファクスの転送を有効にした後で、入力した転送先の番号や開始 / 終了時刻を変更しなければならないことがあります。また、ファクス転送に関するすべての設定をキャンセルしたいことがあります。ファクスの転送を編集するかオフにするには、次のステップに従います。

1 **[セットアップ]** を押します。
2 **[3]** を押し、次に **[8]** を押します。
これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [モノクロ ノミデ ファクス ヲ テンソウ] が選択されます。
3 数秒後に、**[テンソウ ガ オン 1= ヘンシュウ 2= キャンセル]** がディスプレイに表示されます。以下のいずれかを実行してください。
– ファクス番号を編集するか開始 / 終了時刻を変更するには、**[1]** を押します。フロント パネル ディスプレイのメッセージに従います。
– **[ファクス ノ テンソウ]** をキャンセルするには、**[2]** を押します。

エラー補正モードの使用

[エラー ホセイ モード] (ECM) を使用すると、データ伝送中に発生したエラーを検出し、誤った部分を再伝送するよう自動的に要求するため、品質の悪い電話回線が原因でデータが欠落してしまうのを防ぐことができます。品質のよい電話回線を使用している場合、電話料金は変わりません。場合によってはむしろ下がることさえあります。品質の悪い電話回線を使っている場合、ECM を使うことで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。ECM を使うことで電話料金が大幅に増える場合で、電話料金を安く押さえるためならデータの品質が下がってもよいという場合にのみ ECM をオフにしてください (デフォルト設定はオンです)。

1 **[セットアップ]** を押します。
2 **[4]** を押し、次に **[7]** を押します。
これで、[ファクス ノ ショウサイ セッテイ] が選択され、次に [エラー ホセイ モード] が選択されます。
3 ▶ を押して、**[オン]** か **[オフ]** を選択します。
4 **[OK]** を押します。

着信ファクスに自動縮小を設定する

この設定は、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP Officejet が行う処理を決定します。この設定をオンにすると (デフォルト)、1 ページに収まるよう画像が縮小されます。この機能がオフになっている場合は、1 ページ目に収まりきらなかった情報が 2 ページ目に印刷されます。[ジドウ シュクショウ] は、A4 サイズの用紙が給紙トレイにセットされている場合にリーガル サイズのファクスを受信したとき役立ちます。

1 **[セットアップ]** を押します。
2 **[4]** を押し、次に **[5]** を押します。
これで、[ファクス ノ ショウサイ セッテイ] が選択され、次に [ジドウ シュクショウ] が選択されます。

3 ▶ を押して、[オン] か [オフ] を選択します。
4 ［OK］ を押します。

ボリュームの調整

HP Officejet では、呼び出し音とスピーカのボリュームを 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームは、電話呼び出し音のボリュームです。スピーカのボリュームは、発信音、ファクス トーン、プッシュ音などを含むその他すべてのボリュームです。デフォルトの設定は [ショウ] です。

1 [セットアップ] を押します。
2 [3] を押し、次に [7] を押します。
   これで、[ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [ヨビダシ オン ノ オンリョウ] が選択されます。
3 ▶ を押し、次の選択肢のいずれかを選択します : [ショウ]、[ダイ]、[オフ]。
4 [OK] ボタンを押して設定を確定します。

応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更

1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が、多くの電話会社から提供されています。この着信識別サービスを使用していると、シングル呼び出し音やダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、それぞれの番号で違う呼び出し音パターンが使用されます。この着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン、すなわち [スベテ ノ ヨビダシ] を使用してください。

着信識別音が設定されている電話回線に HP Officejet を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音のパターンとファクス着信の呼び出し音のパターンをそれぞれ別に割り当ててもらってください。ファクス番号にはダブル呼び出し音あるいはトリプル呼び出し音を割り当てるのが一番よいでしょう。

1 HP Officejet がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認してください。詳しくは、73 ページのファクスを自動または手動で受信するために hp officejet をセットアップするを参照してください。
2 [セットアップ] を押します。
3 [4] を押し、次に [2] を押します。
   これで [ファクス ノ ショウサイ セッテイ] が選択され、次に [ヨビダシ オン ノ パターン] が選択されます。
4 ▶ を押し、次のオプションをスクロールします : [スベテ ノ ヨビダシ]、[ヨビダシ 1 カイ]、[ヨビダシ 2 カイ]、[ヨビダシ 3 カイ]、[2 カイ & 3 カイ]。
5 電話会社がこのファクス番号に割り当てた呼び出し音のパターンがディスプレイの最上行に表示されたら、[OK] ボタンを押してください。

日付と時刻の設定

フロント パネルから日付と時刻を設定することができます。ファクス送信時に、この現在の日付と時刻がファクス ヘッダーに印刷されます。この日付と時刻のフォーマットは言語と国 / 地域の設定に基づいて決まります。

通常は、日付と時刻の設定はコンピュータのソフトウェアで自動的に行われます。

> ご注意 : HP Officejet の電源が 72 時間以上切れると、日付と時刻の再設定が必要になります。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[3]** を押し、次に **[1]** を押します。

これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [ヒヅケ ト ジコク] が選択されます。

3 キーパッドの適切な数字を押して、年、月、日 (下 2 桁のみ) を入力してください。選択した国 / 地域によっては、日付を別の順番で入力することができます。

初めは最初の桁の下にあるアンダーライン カーソルは、ボタンを押すたびに自動的に次の桁に進みます。また、日付の最後の桁を入力するとタイム プロンプトが自動的に表示されます。

4 時間と分を入力してください。

12 時間形式で時刻を表示した場合、最後の桁を入力すると AM/PM のどちらにするか自動的に表示されます。

5 AM を選択するには **[1]** を、PM を選択するには **[2]** を押してください。

新しい日付と時刻の設定がフロント パネルに表示されます。

用紙のサイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせてください。ファクスは A4 用紙、レター用紙のいずれかにだけ印刷できます。

> ご注意 : この他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていてファクスを受信すると、ファクスが印刷されません。ファクスを印刷するには、A4 用紙、レター用紙のいずれかをセットして [OK] を押してください。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[3]** を押し、次に **[5]** を押します。

これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] が選択され、次に [ファクス ヨウシ サイズ] が選択されます。

3 ▶ を押してオプションを選択してから **[OK]** を押します。

トーン ダイヤルかパルス ダイヤルの設定

ダイヤル モードをトーン ダイヤルかパルス ダイヤルのいずれかに設定できます。ほとんどの電話システムは、トーン ダイヤルかパルス ダイヤルのどちらかです。パルス ダイヤルを必要とする公衆電話か構内交換 (PBX) をご使用の場合は、[パルス ダイヤル] を選択してください。デフォルトの設定は [トーン ダイヤル] です。パルス ダイヤルを使用すると、電話によっては一部の機能が利用できなくなることがあります。また、パルス ダイヤルではファクス番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。どちらの設定を利用するか不明なときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

ご注意 : ご使用の電話でパルス ダイヤルが不要なときは、デフォルト設定の [トーン ダイヤル] の使用をお奨めします。

1. **[セットアップ]** を押します。
2. **[3]** を押し、次に **[6]** を押します。
   これで [ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ] と [ダイヤル モード] が選択されます。
3. ▶ を押して **[トーンダイヤル]** か **[パルスダイヤル]** のいずれかを選択します。
4. **[OK]** を押します。

バックアップ ファクス受信の設定

受信したファクスをメモリに保存するには、[バックアップ ファクス ジュシン] 機能を使用します。たとえば、ファクスの受信中にプリント カートリッジのインクがなくなった場合、そのファクスがメモリに保存されます。インク カートリッジを交換してから、ファクスを印刷することができます。印刷しなければならないファクスがメモリ内に残っていると、フロント パネル ディスプレイに表示されます。

デフォルトでは、[バックアップ ファクス ジュシン] 機能は有効になっています。メモリに保存されたファクスを印刷するには、88 ページの**メモリにあるファクスの再印刷**を参照してください。

ご注意 : メモリ がいっぱいになると、印刷済みのファクスが HP Officejet によって古い順に消去されます。まだ印刷されていないファクスは、印刷するか削除しない限りメモリに残ります。まだ印刷されていないファクスでメモリがいっぱいになると、印刷していないファクスが印刷されるまで、HP Officejet はそれ以上のファクスを受信しなくなります。まだ印刷されていないファクスを含めメモリ内のファクスをすべて削除するには、HP Officejet の電源をオフにします。

1. **[セットアップ]** を押します。
2. **[4]** を押し、次に **[6]** を押します。
   これで、[ファクス ノ ショウサイ セッテイ] が選択され、次に [バックアップ ファクス] が選択されます。
3. ▶ を押して、**[オン]** か **[オフ]** を選択します。
4. **[OK]** を押します。

メモリにあるファクスの再印刷

[メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ] を使用すると、メモリ内に保存されているファクスを再印刷することができます。HP Officejet が不要なファクスを印刷し始めたら、いつでも [キャンセル] を押して印刷を中止してください。HP Officejet がメモリにある次のファクスを印刷し始めます。印刷を中止するには、保存されているファクスごとに [キャンセル] を押してください。

ご注意： HP Officejet の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて失われます。

ファクスをメモリ内に保存しておくには、[バックアップ ファクス ジュシン] を有効にしてください。詳しくは、87 ページのバックアップ ファクス受信の設定を参照してください。

1 **[セットアップ]** を押します。
2 **[5]** を押し、次に **[4]** を押します。
   これで [ツール] が選択され、次に [メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ] が選択されます。
   メモリ内のファクスが印刷されます。

ファクスの中止

- 送受信中のファクスを中止するには、**[キャンセル]** を押してください。

7 ファクスのセットアップ

1 ページのセットアップで行うすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。

ここでは、同じ電話回線で HP Officejet と他の機器やサービスを一緒に使用しても正常にファクスできるよう、HP Officejet のセットアップ方法を説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 89 ページのこの章を読むべき対象者
- 90 ページの適切なファクス セットアップ方法の見分け方
- 92 ページの表から適切なファクス セットアップを選択する
- 93 ページのケース A：単独のファクス回線 (電話は受けとらない)
- 94 ページのケース B：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
- 95 ページのケース C：電話とファクスを一緒に利用する
- 96 ページのケース D：同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話は受けとらない)
- 97 ページのケース E：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
- 98 ページの DSL 回線からファクスする
- 99 ページの PBX または ISDN 回線からファクスする

この章を読むべき対象者

この章のファクス セットアップ方法は、下記の表にある国または地域で一般的なパラレル タイプの電話方式をご使用の場合に対する説明です。

お住まいの国または地域が次のページの表にあるか、確認してください。

- お住まいの国または地域が下記の表にある場合は、本章の説明にしたがってファクスのセットアップを行ってください。
- お住まいの国または地域が下記の表にない場合は、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。本章の接続方法をお読みになる必要はありません。シリアル タイプの電話方式の場合、すべての他の電話機器 (モデム、電話機、留守番電話など) を電話コンセントに直接接続してください。パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

この章を読むべき国または地域		
アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシャ	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	中南米	マレーシア
メキシコ	フィリピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

適切なファクス セットアップ方法の見分け方

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP Officejet とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。既存のオフィス機器を HP Officejet に直接接続しなければならない場合に重要です。また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

オフィスに合った HP Officejet のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1 **複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。**

- ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
- ❑ いいえ。

答えが「はい」の場合は、このまま 94 ページのケース B：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用するに進みます。ここから先の質問に答える必要はありません。

答えが「いいえ」の場合は、引き続き次の質問に答えてください。

着信識別を利用しているか確信が持てない方のために説明いたします。1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が、多くの電話会社から提供されています。

この着信識別サービスを使用していると、シングル呼び出し音やダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、それぞれの番号で違う呼び出し音パターンが使用されます。一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。これによって、電話が鳴ったときに、人もその HP Officejet も、それが電話なのか、ファクスなのかを区別することができます。

2 **同じ電話番号で HP Officejet ファクスと電話を一緒に利用しますか。**

- ❑ はい、電話もかかります。
- ❑ いいえ。

続けて質問にお答えください。

3 **HP Officejet と同じ電話回線で PC モデムも利用しますか。**

- ❑ はい、PC モデムを使用しています。
- ❑ いいえ。

PC モデムを利用しているかどうかは、次の方法で見分けることができます。次のいずれかに当てはまる場合は、PC モデムを利用しています。

- ダイヤルアップ接続でコンピュータ プログラムから直接ファクスを送受信している
- ダイヤルアップ接続でコンピュータの電子メールを利用している
- ダイヤルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

続けて質問にお答えください。

4 **同じ電話番号で HP Officejet ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。**

- ❑ はい、留守番電話も利用します。
- ❑ いいえ。

続けて質問にお答えください。

5 **電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。**

- ❑ はい、DSL を利用しています。
- ❑ いいえ。

「はい」とお答えの方は、DSL フィルタを電話コンセントと HP Officejet の間に付ける必要があります。

まず、これまでの質問に対する答えにしたがってファクスのセットアップを行い、それから DSL フィルタの取り付け方について 98 ページの **DSL 回線からファクスする** を参照してください。

注意！ DSL を利用しているのに DSL フィルタを取り付けないと、HP Officejet でファクスを送受信できなくなります。

ファクスのセットアップ時

表から適切なファクス セットアップを選択する

これで、同じ電話回線で HP Officejet と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。オフィスに合ったセットアップを選択できます。

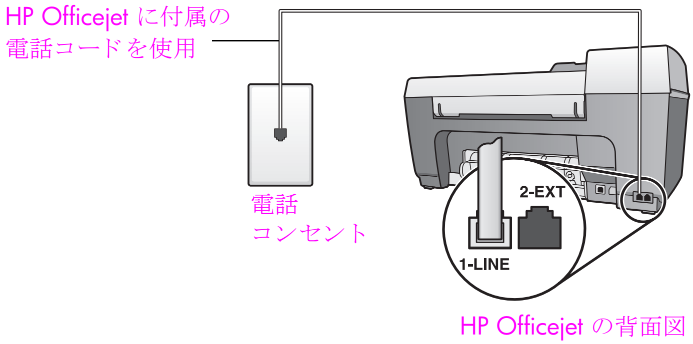
表の 1 列目から、オフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。それに対して、2 列目のセットアップ方法をご覧ください。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「なし」を選択してください。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	推奨するファクス セットアップ
ナシ (すべての質問に「いいえ」と回答した場合)	ケース A : 単独のファクス回線 (電話は使用しない)
着信識別サービス (質問 1 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース B : 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
電話 (質問 2 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース C : 電話とファクスを一緒に利用する
PC モデム (質問 3 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース D : 同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話は使用しない)
電話と留守番電話 (質問 2 と 4 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース E : 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
デジタル加入者線 (DSL) および本表内のその他の機器とサービス (質問 5 とそれ以外に「 はい」と回答した場合)	まず、この表から選択したセットアップ方法にしたがって他の機器を接続してから、98 ページの **DSL 回線からファクスする** にしたがって DSL フィルタを取り付けてください。
PBX または ISDN	99 ページの **PBX または ISDN 回線からファクスする**を参照してください。

ケース A : 単独のファクス回線 (電話は受けとらない)

電話を受け付けない単独のファクス回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP Officejet を接続します。



1 HP Officejet に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP Officejet の背面の「1-LINE」と書かれたポートに接続します。

   注意! 付属のコードを使用して、電話コンセントと HP Officejet を接続しないと、おそらく正常にファクスできないでしょう。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、160 ページのファクスの送信および受信がうまく行えない を参照してください。

2 (オプション) [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 設定を [1] もしくは [2] に変更します。

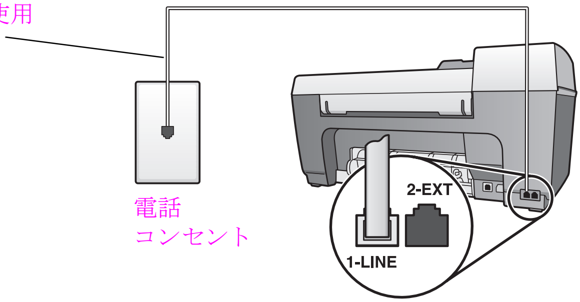
   この設定値の変更方法については、72 ページの応答までの呼び出し回数の設定 を参照してください。

hp officejet がファクス呼び出し音に応答する仕組み

電話が鳴ると、[オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP Officejet が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合は、このセクションで説明するように HP Officejet を接続します。



HP Officejet の背面図

1 HP Officejet に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP Officejet の背面の「1-LINE」と書かれたポートに接続します。

   注意！ 付属のコードを使用して、電話コンセントと HP Officejet を接続しないと、おそらく正常にファクスできないでしょう。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、160 ページの**ファクスの送信および受信がうまく行えない** を参照してください。

2 [オウトウ ヨビダシ オン ノ パターン] 設定を、電話会社がファクス番号に割り当てていたパターンに変更します。例えば、[ヨビダシ 2 カイ] や [ヨビダシ 3 カイ] に変更します。

   この設定値の変更方法については、85 ページの**応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更** を参照してください。

   ご注意： HP Officejet の工場出荷時の初期設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。電話会社がファクスに割り当てていた呼び出し音のパターンを正しく設定しないと、HP Officejet が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

3 (オプション) [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 設定を [1] もしくは [2] に変更します。

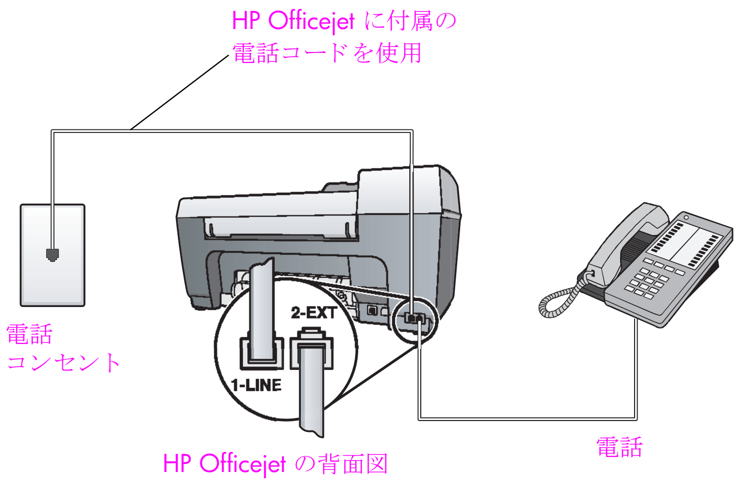
   この設定値の変更方法については、72 ページの**応答までの呼び出し回数の設定** を参照してください。

hp officejet がファクス呼び出し音に応答する仕組み

[オウトウ ヨビダシ オン ノ パターン] 設定で選択した呼び出し音パターンで、[オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 設定で選択した数だけ呼び出し音が鳴ると、HP Officejet が着信音に自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース C：電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器を何も接続しない場合は、次のように HP Officejet を接続します。



1 HP Officejet に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP Officejet の背面の「1-LINE」と書かれたポートに接続します。

注意！ 付属のコードを使用して、電話コンセントと HP Officejet を接続しないと、おそらく正常にファクスできないでしょう。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、160 ページのファクスの送信および受信がうまく行えない を参照してください。

2 HP Officejet の背面の「2-EXT」と書かれたポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。

ここで、ファクス呼び出し音の応答方法を決めます。自動と手動の 2 通りがあります。

ファクス呼び出し音に自動応答する方法

HP Officejet は呼び出し音が 5 回鳴るとすべての呼び出し音に自動応答するよう初期設定されています。したがって、ファクスを自動受信する場合は設定を変更する必要はありません。しかしながら、この場合は、HP Officejet でファクスと電話の呼び出し音が区別できなくなります。電話の呼び出し音だと思う場合は、呼び出し音が 5 回なる前に電話を取ってください。そうしない場合は、HP Officejet が先に応答してしまいます。

ご注意： 呼び出し音が 5 回なる前に電話を取ったが、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、74 ページのファクスを手動で受信するを参照してください。

ファクス呼び出し音に手動で応答する方法

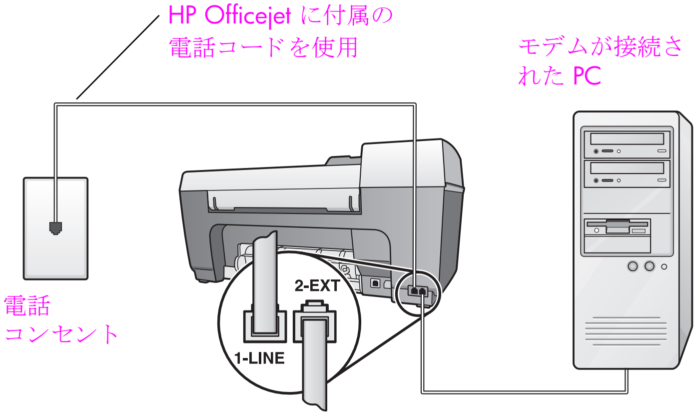
ファクスを手動で受信するには、ファクス着信に直接応答してください。そうしないと HP Officejet でファクスを受信できなくなります。

ファクス呼び出し音に手動で応答する前に、[オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 設定を [0] に設定します。詳細については 72 ページの応答までの呼び出し回数の設定 を参照してください。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、74 ページのファクスを手動で受信するを参照してください。

ケース D : 同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話は受けとらない)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線に PC モデムを接続する場合は、次のように HP Officejet を接続します。

ご注意 : 電話回線を PC モデムと HP Officejet と一緒に利用しているため、同時に PC モデムと HP Officejet を使用することはできなくなります。たとえば、ファクスの送受信中は電子メールを送信したりインターネットにアクセスできなくなります。



HP Officejet の背面図

1 HP Officejet の背面の「2-EXT」と書かれたポートから白いプラグを抜き取ります。
2 コンピュータ (PC モデム) の背面と電話コンセント間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話コンセントから抜き、HP Officejet の背面の「2-EXT」と書かれたポートに差し込みます。
3 HP Officejet に付属する電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP Officejet の背面の「1-LINE」と書かれたポートに接続します。

   注意 ! 付属のコードを使用して、電話コンセントと HP Officejet を接続しないと、おそらく正常にファクスできないでしょう。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、160 ページのファクスの送信および受信がうまく行えない を参照してください。

4 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注意！ PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP Officejet でファクスを受信できなくなります。

5 (オプション) [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 設定を [1] もしくは [2] に変更します。

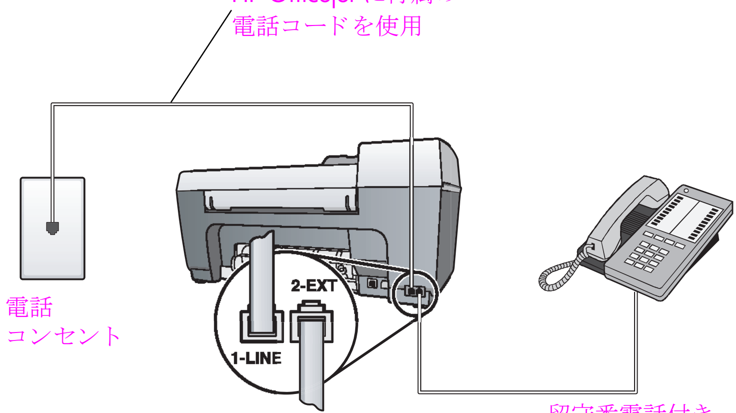
この設定値の変更方法については、72 ページの**応答までの呼び出し回数の設定** を参照してください。

hp officejet がファクス呼び出し音に応答する仕組み

電話が鳴ると、[オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP Officejet が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース E：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP Officejet を接続します。



1 HP Officejet の背面の「2-EXT」と書かれたポートから白いプラグを抜き取ります。

2 留守番電話のコードを電話コンセントから抜き、HP Officejet の背面の「2-EXT」と書かれたポートに差し込みます。

注意！ HP Officejet に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、おそらく、HP Officejet でファクスを受信できないでしょう。

3 HP Officejet に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP Officejet の背面の「1-LINE」と書かれたポートに接続します。

ファクスのセットアップ時

注意！ 付属のコードを使用して、電話コンセントと HP Officejet を接続しないと、おそらく正常にファクスできないでしょう。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、160 ページのファクスの送信および受信がうまく行えない を参照してください。

4 留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定します。

5 HP Officejet の [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 設定を [6回(またはそれ以上)] に変更します。

この設定値の変更方法については、72 ページの応答までの呼び出し回数の設定 を参照してください。

hp officejet がファクス呼び出し音に応答する仕組み

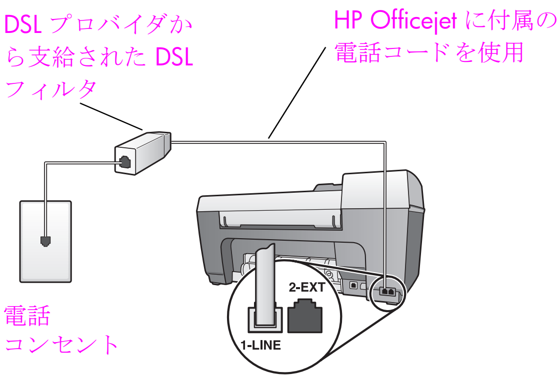
HP Officejet が応答するまでの呼び出し回数を 6 回に、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定しました。このため、HP Officejet より先に留守番電話の方が常に応答します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP Officejet は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。着信ファクス トーンを検出すると、HP Officejet はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP Officejet が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

DSL 回線からファクスする

電話会社のデジタル加入者線 (DSL) サービスを利用する場合は、このセクションの指示に従って、電話コンセントと HP Officejet の間に DSL フィルタを取り付けます。このフィルタは、HP Officejet が電話回線と正しく通信するのを妨げるデジタル信号を除去するものです。

注意！ DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP Officejet でファクスを送受信できなくなります。



HP Officejet の背面図

1 まず、オフィスに合ったセットアップ方法にしたがって HP Officejet を接続します。詳しくは、90 ページの適切なファクス セットアップ方法の見分け方を参照してください。

2 DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。

3 HP Officejet に付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空きポートに、もう一方の端を HP Officejet の背面の「1-LINE」と書かれたポートに接続します。

ご注意：ファクスのセットアップを行ったときに、すでに HP に付属するコードで HP Officejet を電話コンセントにつないでいることでしょう。その場合は、電話のコンセントからそのコードを抜いて、それを DSL フィルタの空きポートに接続してください。

注意！付属のコードで DSL フィルタと HP Officejet を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、160 ページのファクスの送信および受信がうまく行えない を参照してください。

4 DSL フィルタのコードを電話コンセントに接続します。

PBX または ISDN 回線からファクスする

PBX

PBX システムは標準的な専用回線とは動作が異なります。PBX システムは、アクセスコード (通常は 9) がダイヤルされるまで、Fax 機が認識できる標準的なダイヤルトーンを出さないことがあります。

この場合、Fax 機はダイヤルトーンを確認しないで電話番号のダイヤルを開始します。PBX 電話システムには標準的なビジー信号がないため、HP Officejet 製品は、別の Fax 機に接続できない場合があります。

PBX システムの場合、Fax 機のダイヤリングが速すぎることがあります。最初の番号の直前と直後にポーズを挿入してください。

フロントパネルでダイヤルする場合は、[リダイヤル / ポーズ] を押してポーズを挿入します。

ソフトウェアからダイヤルする場合、または短縮ダイヤルを設定する場合は、電話番号の途中にハイフン (-) を入れてポーズを挿入します。

備考：例：-9-1234567

詳細は、電話システムの管理者にお問い合わせください。

ISDN

ISDN は、通常 64Kbps のチャネル単位でデジタルサービスを提供する電話会社の技術です。電話会社は電話交換機内にサービスを組み込んで、このデジタル交換接続サービスを提供しています。

ターミナルアダプタのアナログ電話ポートに接続しても、ノイズ等の影響により動作しない可能性があります。

詳細と R インタフェースアダプタの入手については、ISDN 提供会社にお問い合わせください。

8 コンピュータからの印刷

プリント設定のほとんどは、プリント元のソフトウェア アプリケーションか HP の ColorSmart テクノロジによって自動的に処理されます。印刷の品質を変更したり、特定の種類の用紙やフィルムに印刷したり、特殊機能を使用したりする場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 101 ページのソフトウェア アプリケーションから印刷する
- 102 ページの印刷オプションの設定
- 104 ページの印刷ジョブの中止

HP Officejet は、フチなし画像、ポスター、OHP フィルムなどの特殊な印刷にも対応できます。特殊な印刷ジョブの詳細については、ソフトウェアに添付されているオンスクリーン HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

ソフトウェア アプリケーションから印刷する

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには、次の手順に従います。

Windows ユーザーの場合

1 給紙トレイに適切な用紙をセットします。

詳しくは、41 ページの原稿および用紙のセットを参照してください。

2 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** を選択します。

3 印刷先として HP Officejet が選択されていることを確認してください。

設定を変更する必要がある場合、[プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。このボタン名は、ソフトウェア アプリケーションによって異なります ([プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、または [プリンタ])。次に、[用紙 / 品質]、[レイアウト]、[機能]、[基本設定]、[カラー] の各タブで使用可能な機能を使って、印刷ジョブに適したオプションを選択します。

4 **[OK]** をクリックして、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。

選択した設定は、現在の印刷ジョブにのみ適用されます。すべてのジョブに印刷設定を設定する場合は、102 ページの印刷オプションの設定を参照してください。

5 **[OK]** をクリックして、印刷ジョブを開始します。

Macintosh ユーザーの場合

文書の用紙サイズ、倍率、方向を指定するには、[ページ設定] ダイアログ ボックスを使用します。文書のその他の印刷設定を指定したり 、文書を HP Officejet に送信したり するには、[プリント] ダイアログ ボックスを使用します。

ご注意： 次の手順は OS X 専用です。OS 9 では手順は若干異なります。印刷を開始する前に、[プリント センタ] (OS X) または [セレクタ] (OS 9) で HP Officejet が選択されていることを確認してください。

1 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** を選択します。
   [ページ設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
2 **[対象プリンタ]** ポップアップ メニューで、HP Officejet を選択します。
3 ページ属性の選択 :
   – 用紙のサイズを選択します。
   – 方向を選択します。
   – 倍率を入力します。
   OS 9 では、[ページ設定] ダイアログ ボックスに、画像を回転または左右反転したり、カスタムの用紙サイズを編集するオプションがあります。
4 **[OK]** をクリックします。
5 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** を選択します。
   [印刷] ダイアログ ボックスが表示されます。
   OS X を使用している場合は、[印刷部数と印刷ページ] パネルが開きます。OS 9 を使用している場合は、[全般] パネルが開きます。
6 印刷に適切な設定を選択します。
   ほかのパネルには、ポップアップ メニューを使用してアクセスします。
7 印刷を開始するには、**[プリント]** をクリックします。

印刷オプションの設定

HP Officejet の印刷設定をカスタマイズすると、ほぼすべての印刷タスクを取り扱うことができます。

Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する場合は、現在のジョブに対して変更するか、すべてのジョブに対して変更するかを決める必要があります。印刷設定の表示方法は、設定を固定するかどうかによって異なります。

今後すべての印刷ジョブに適用される設定値の変更

1 **[HP フォト イメージング ディレクタ]** (**HP ディレクタ**) で **[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** から **[プリンタ設定]** を選択します。
2 印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

印刷

現在の印刷ジョブに対して印刷設定を変更するには

1 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューから **[印刷]**、**[印刷設定]**、**[ページ設定]** のいずれかを選択します。選択されたプリンタが HP Officejet であることを確認します。

2 **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタの設定]**、または **[プリンタ]** をクリックします (オプション名はお使いのソフトウェア アプリケーションによって異なります)。

3 設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

4 **[OK]** をクリックしてジョブを印刷します。

Macintosh ユーザーの場合

[プリント] ダイアログ ボックスを使用して、印刷設定をカスタマイズします。表示されるオプションは、選択したパネルによって変わります。

- **[プリント]** ダイアログ ボックスを表示するには、印刷する文書を開き、**[ファイル]** メニューから **[プリント]** を選択します。

  ご注意： 各パネルの設定についての詳細は、[プリント] ダイアログ ボックス左下隅の ? をクリックしてください。

[印刷部数と印刷ページ] パネル

印刷する枚数およびページを選択するには、[プリント] ダイアログ ボックスの [印刷枚数と印刷ページ] パネル (OS X) および [全般] パネル (OS 9) を使用します。ページの順序もこのパネルで選択できます。

- **[プレビュー]** ボタンをクリックすると、印刷するドキュメントのプレビューが表示されます。

[レイアウト] パネル

[プリント] ダイアログ ボックスの [レイアウト] パネルを使用すると、1 枚の用紙に複数のページを印刷したり、ページを印刷する順序を調整したりできます。このパネルでは [枠線] オプションも選択できます。

[出力オプション] パネル

ファイルを Adobe Acrobat PDF®（ポータブル ドキュメント フォーマット）ファイルとして保存するには、[プリント] ダイアログ ボックスの [出力オプション] パネルを使用します。HP Officejet は PostScript 印刷をサポートしていません。

- 文書を PDF ファイルとして保存するには、**[ファイルとして保存]** チェック ボックスを選択します。

  ご注意： OS 9 では [出力オプション] パネルはありません。

[用紙の種類 / 品質] パネル

[プリント] ダイアログ ボックスの [用紙の種類 / 品質] パネル (OS X) および [全般] パネル (OS 9) を使って、用紙の種類、印刷品質を選択します。さらに OS X ではカラー設定も選択します。また、このパネルではデジタルフォトのコントラストおよび鮮明度が変更でき、また印刷に使用するインクの量も調整できます。

[一覧] パネル

印刷の前に設定をプレビューし、設定が正しいことを確認するには、[プリント] ダイアログ ボックスの [一覧] パネルを使用します。

ご注意 : OS 9 では、設定の情報は [全般] パネルに表示されます。

印刷ジョブの中止

印刷ジョブは、HP Officejet またはコンピュータから中止できます。

- HP Officejet で印刷ジョブを中止するには、フロント パネルの **[キャンセル]** ボタンを押します。フロント パネル ディスプレイに表示される **[プリント キャンセル サレマシタ]** というメッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、**[キャンセル]** をもう一度押します。

  HP Officejet で既に印刷が開始されたページをすべて印刷してから、ジョブの残りがキャンセルされます。これにはしばらく時間がかかる場合があります。

9 サプライ品

プリント カートリッジ、推奨される HP 用紙、および HP Officejet のアクセサリ類は HP Web サイトからオンラインで注文できます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 105 ページの用紙の注文
- 105 ページのプリント カートリッジの注文

用紙の注文

プレミアム用紙、プレミアム OHP フィルム、アイロン プリント紙などの用紙を注文するには、次のサイトにアクセスします。

www.hp.com/jp/supply

プリント カートリッジの注文

以下の表は、ご使用の HP Officejet に対応するプリント カートリッジについてまとめたものです。下記を見て、注文対象のプリント カートリッジを確認してください。

プリント カートリッジ	HP 注文番号
HP モノクロ プリント カートリッジ	#56, 19 ml モノクロ プリント カートリッジ
HP カラー プリント カートリッジ	#57, 17 ml カラー プリント カートリッジ

プリント カートリッジについての詳細な情報は、HP Web サイトから入手してください。

www.hp.com/jp/supply

10 hp officejet のメンテナンス

HP Officejet では、メンテナンスはほとんど不要です。時々ガラス板とカバーの裏側に付着したほこりを掃除し、コピーとスキャンがきれいに行えるようにしてください。適宜プリント カートリッジを交換、調整、クリーニングしてください。このセクションでは、HP Officejet を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じてこれらの簡単な保守手順を実行してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 107 ページのコピー ガラス板のクリーニング
- 108 ページのカバーの裏側のクリーニング
- 108 ページの外側のクリーニング
- 108 ページのプリント カートリッジの保守
- 117 ページの工場出荷時の初期設定に戻す
- 118 ページのスクロール速度の設定
- 118 ページのプロンプト遅延時間の設定
- 119 ページのセルフメンテナンス サウンド

コピー ガラス板のクリーニング

ゴミ、汚れ、髪の毛などでガラス板が汚れていると、パフォーマンスが低下し、また [ページ ニ アワセル] などの機能の精度に影響を及ぼします。

1 HP Officejet の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

  ご注意： 電源ケーブルを抜いた場合、72 時間以内にケーブルをもとどおりに接続しなければなりません。72 時間以内に接続しなかった場合は、日付と時刻の再設定が必要になります。詳しくは、86 ページの日付と時刻の設定を参照してください。

2 非摩耗性のガラス クリーナで少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

  注意！ 研磨剤やアセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接コピー ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで HP Officejet を傷める可能性があります。

3 しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラス板を拭いてください。

カバーの裏側のクリーニング

HP Officejet のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に微少な塵がたまることがあります。

1 HP Officejet の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

ご注意 : 電源ケーブルを抜いた場合、72 時間以内にケーブルをもとどおりに接続しなければなりません。72 時間以内に接続しなかった場合は、日付と時刻の再設定が必要になります。詳しくは、86 ページの日付と時刻の設定を参照してください。

2 刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。

3 固まっている塵を徐々に溶かすようにカバーの裏を洗ってください。その際にこすらないようにしてください。

4 セーム革あるいは柔らかい布でカバーの裏を拭いて乾かしてください。

注意 ! ふた裏を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5 これで十分きれいにならない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使って上記の手順を繰り返し、その後、湿らせた布で残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側の塵やしみ、汚れを拭き取ります。HP Officejet の内側はクリーニングの必要はありません。フロント パネルはもちろん、本体内側についても液体がかからないように注意してください。

ご注意 : HP Officejet の塗装部品を傷めますので、フロント パネルや本体のカバーに対してアルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

プリント カートリッジの保守

HP Officejet の印刷品質を最高のものに保つには、いくつかの簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。また、フロント パネルにメッセージが表示された場合はプリント カートリッジを交換する必要があります。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 109 ページのインク レベルのチェック
- 109 ページのセルフテスト レポートの印刷
- 110 ページのプリント カートリッジの取り扱い
- 111 ページのプリント カートリッジの交換
- 113 ページのプリント カートリッジの位置調整
- 115 ページのプリント カートリッジのクリーニング
- 116 ページのプリント カートリッジの接点のクリーニング

インク レベルのチェック

インク残量を簡単にチェックして、いつ頃プリント カートリッジを交換すれば良いか知ることができます。インク残量には、プリント カートリッジ内のおおよそのインク残量が表示されます。インク残量のチェックは、HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) からのみ行えます。

インク残量をチェックするには (Windows の場合)

1 **[HP ディレクタ]** から、**[設定]** を選択し、**[印刷設定]** を選択してから、**[プリンタ ツールボックス]** を選択します。

2 **[推定インク残量]** タブをクリックします。

プリント カートリッジのおおよそのインク残量が表示されます。

インク残量をチェックするには (Macintosh の場合)

1 **[HP ディレクタ]** から **[設定]** を選択し、次に、**[プリンタの保守]** を選択します。

2 **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが開いたら、ご使用の HP Officejet を選択して **[ユーティリティ]** をクリックします。

3 リストから、**[インク量]** を選択します。

プリント カートリッジのおおよそのインク残量が表示されます。

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前にセルフテスト レポートを印刷するようにしてください。このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。

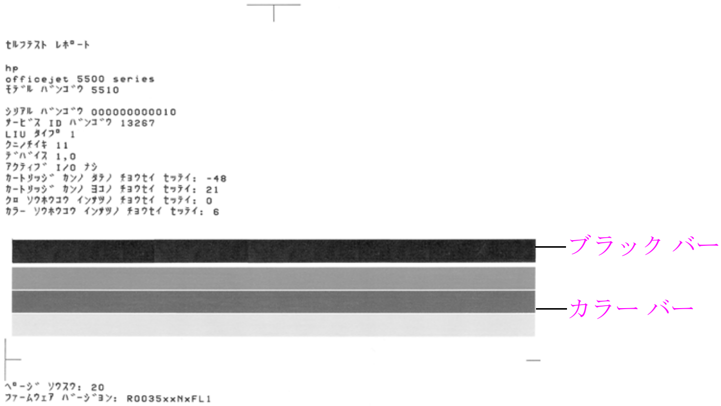
1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[1]** を押し、次に **[4]** を押します。

これで [レポート ノ インサツ] が選択され、次に [セルフテスト レポート] が選択されます。

レポート ノ インサツ
1 : サイシュウ ノ ショリ
2 : ファクス キロク
3 : タンシュク ダイヤル リスト
4 : セルフ テスト レポート
5 : ジドウ レポート ノ セッテイ

印刷で発生した問題の原因を示すセルフテスト レポートが HP Officejet によって印刷されます。


ｾﾙﾌﾃｽﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ

hp
officejet 5500 series
ﾓﾃﾞﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 5510

ｼﾘｱﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 000000000010
ｻｰﾋﾞｽ ID ﾊﾞﾝｺﾞｳ 13267
LIU ﾀｲﾌﾟ 1
ｸﾆﾉﾁｲｷ 11
ﾃﾞﾊﾞｲｽ 1,0
ｱｸﾃｨﾌﾞ I/O ﾅｼ
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｶﾝﾉ ﾀﾃﾉ ﾁｮｳｾｲ ｾｯﾃｲ: -48
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｶﾝﾉ ﾖｺﾉ ﾁｮｳｾｲ ｾｯﾃｲ: 21
ｸﾛ ｿｳﾎｳｺｳ ｲﾝｻﾂﾉ ﾁｮｳｾｲ ｾｯﾃｲ: 0
ｶﾗｰ ｿｳﾎｳｺｳ ｲﾝｻﾂﾉ ﾁｮｳｾｲ ｾｯﾃｲ: 6

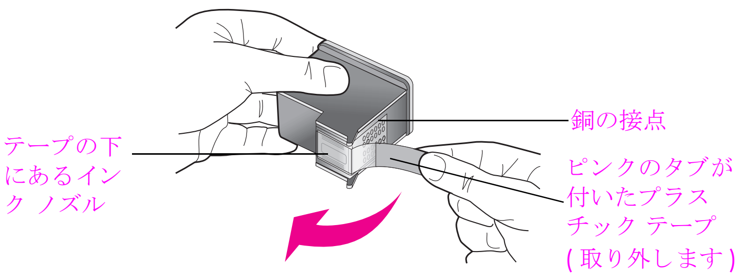
ﾍﾟｰｼﾞ ｿｳｽｳ: 20
ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ: R0035xxNxFL1

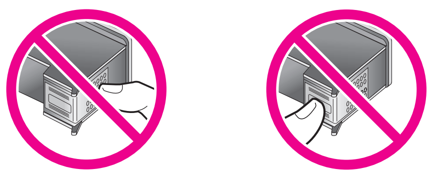
セルフテスト レポートで縞や白線をチェックします。ベタに塗りつぶされたブラック バーと 3 本のカラー バーがあることを確認します。これらのバーは、均等な濃度を持ち、またページ全体に伸びていなければなりません。

– 欠落しているカラー バーがある場合は、その色のカラー プリント カートリッジがインク切れになっている可能性があります。プリント カートリッジの交換が必要です。プリント カートリッジの交換の詳細については、111 ページのプリント カートリッジの交換を参照してください。
– 筋が入る場合は、ノズルの目詰まりまたは接触部の汚れが原因と考えられます。プリント カートリッジのクリーニングが必要です。プリント カートリッジのクリーニングの詳細については、115 ページのプリント カートリッジのクリーニングを参照してください。アルコールを使ってクリーニング*しない*でください。

プリント カートリッジの取り扱い

プリント カートリッジを交換したりクリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や扱い方を知っておく必要があります。





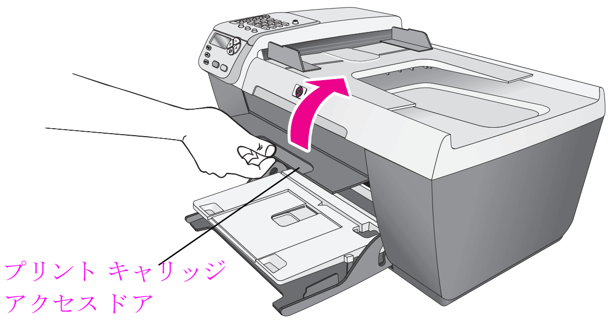
銅の接点やインク ノズルにはさわらないでください。

プリント カートリッジの交換

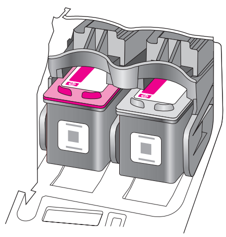
フロント パネル ディスプレイに、プリント カートリッジのインク残量が残り少ないことを知らせるメッセージが表示されます。インク残量は、コンピュータ上の HP ディレクタからもチェックできます。詳しくは、109 ページのインク レベルのチェックを参照してください。このメッセージが出力された場合は、プリント カートリッジの交換をお勧めします。このメッセージは、プリント カートリッジを交換する必要があることを示しています。文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じたりした場合にも、プリント カートリッジを交換してください。

プリント カートリッジの交換の注文方法について詳しくは、105 ページのプリント カートリッジの注文を参照してください。

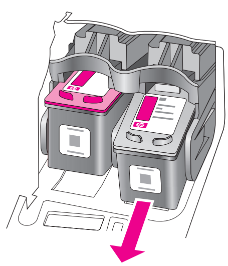
1 HP Officejet の電源を入れ、プリント キャリッジ アクセス ドアを開きます。



プリント キャリッジが見える位置まで移動します。

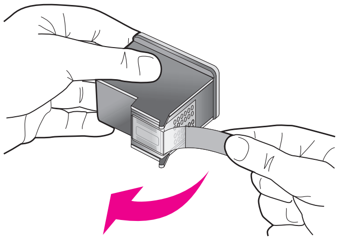


2 キャリッジが停止したら、プリント カートリッジの上部を押し込んで固定解除し、次に手前に引いてスロットから取り外します。



ご注意： プリント カートリッジ スロットにインクが蓄積されていても、異常ではありません。

3 新しいプリント カートリッジの包装を取り外し、黒いプラスチックの部分以外には触れないように気をつけて、つまみを持ちながら、ピンクのテープをゆっくり取り外します。



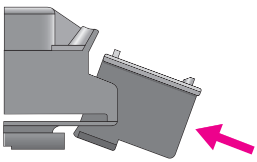
注意！ 銅の接点やインク ノズルにはさわらないでください。

プラスチック テープを取り除いたら、ノズルのインクが乾かないよう、直ちにプリント カートリッジを取り付けます。

4 モノクロ プリント カートリッジを、HP ラベルを上にして持ちます。プリント カートリッジを図のようにわずかに傾けながら、右側のプリントキャリッジにセットします。

プリント カートリッジが所定の場所にカチッとはまるまで、しっかり押します。

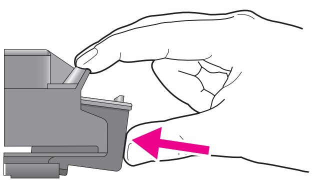
注意！ カートリッジをスロットにまっすぐ押し込むことは避けてください。やや角度をつけながらスライドさせなければなりません。



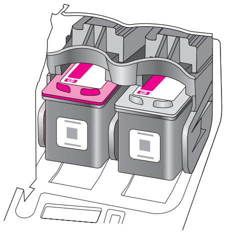
5 カラー プリント カートリッジを、HP ラベルを上にして持ちます。プリント カートリッジを図のようにわずかに傾けながら、左側のプリントキャリッジにセットします。

プリント カートリッジが所定の場所にカチッとはまるまで、しっかり押します。

注意！ カートリッジをスロットにまっすぐ押し込むことは避けてください。やや角度をつけながらスライドさせなければなりません。



ご注意：HP Officejet が動作するには、*両方*のプリント カートリッジを取り付ける必要があります。



6 プリント キャリッジ アクセス ドアを閉じます。数分以内に、プリント カートリッジの調整用のページが印刷されます。プリント カートリッジの位置を調整する必要があります。

プリント カートリッジの位置調整の詳細については、次のセクション プリント カートリッジの位置調整を参照してください。

プリント カートリッジの位置調整

HP Officejet では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。プリント カートリッジは、フロント パネルか HP ディレクタ からいつでも調整できます。プリント カートリッジを調整することで高品質の出力が得られます。

ご注意: 同じプリント カートリッジを取り外して再び取り付けた場合は、HP Officejet はプリント カートリッジの調整を求めるメッセージを表示しません。

フロント パネルからプリント カートリッジを位置調整するには

1 プリント カートリッジを調整するかどうかを尋ねられたら、**[OK]** を押します。

HP Officejet が調整用のページを印刷します。

2 調整用のページが印刷されない場合は、フロント パネルから手動でプリント カートリッジを調整できます。**[セットアップ]** を押します。

3 **[5]** を押し、次に **[2]** を押します。

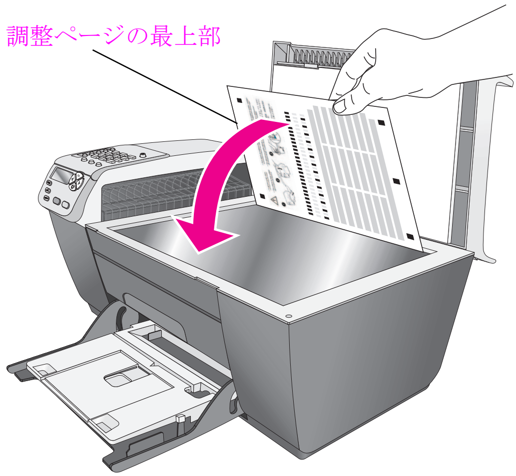
これで [ツール] が選択され、次に [プリント カートリッジ ノ チョウセイ] が選択されます。

ツール
1 : プリントカートリッジ ノ クリーニング
2 : プリントカートリッジ ノ チョウセイ
3:シュッカジ デフォルト チ ニ モドス
4 : メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ

HP Officejet が調整用のページを印刷します。

4 以下に示すように、調整用のページをガラス板の左下隅に合わせてセットします。このとき、表を下にし、ページの上部が左側に向くようにします。

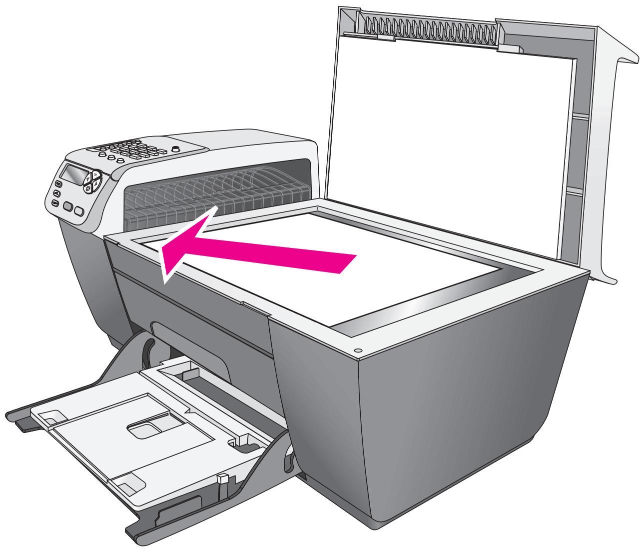
ご注意： ページの上部が HP Officejet の左側に向いていることを確認します。



5 **[OK]** を押します。

フロント パネル ディスプレイに [チョウセイ ガ カンリョウ シマシタ] と表示されたら、調整は完了です。この調整ページは再利用するか捨てるかしてください。

HP ディレクタでプリント カートリッジを位置調整するには



1 **HP ディレクタ**にアクセスします。

HP ディレクタの開き方については、35 ページの **HP ディレクタ ソフトウェアによる hp officejet のフル活用**を参照してください。

2 Windows ユーザーの場合は、次の作業を行います。
  a. [設定]、[印刷設定]、[プリンタ ツールボックス] の順に選択します。
  b. [プリンタ サービス] タブをクリックします。
  c. [プリント カートリッジの調整] をクリックします。

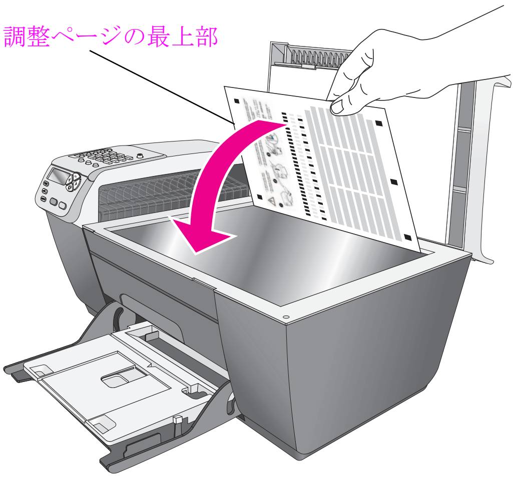
  HP Officejet が調整用のページを印刷します。

3 Macintosh ユーザーの場合は、次の作業を行います。
  a. [設定]、[プリンタの保守] の順に選択します。
  b. [出力プリンタ] ダイアログ ボックスが開いたら、ご使用の HP Officejet を選択して [ユーティリティ] をクリックします。
  c. リストから [位置調整] を選択します。
  d. [位置調整] をクリックします。

  HP Officejet が調整用のページを印刷します。

4 以下に示すように、調整用のページは表を下にして、ガラス板の左下隅に合わせてセットしてください。

  ご注意 : ページの上部が HP Officejet の左側を向いていることを確認します。



5 [OK] を押します。

  フロント パネル ディスプレイに [チョウセイ ガ カンリョウ シマシタ] が表示されたら、調整は完了です。調整ページは再利用するか捨てるかしてください。

プリント カートリッジのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー バーのどれか 1 つに縞や白線が現れた場合は、この機能を使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングを行わないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

1 [セットアップ] を押します。
2 [5] を押し、次に [1] を押します。

  これで [ツール] が選択され、次に [プリント カートリッジ ノ クリーニング] が選択されます。

ツール
1 : プリントカートリッジ ノ クリーニング
2 : プリントカートリッジ ノ チョウセイ
3 : シュッカジ デフォルト チ ニ モドス
4 : メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ

パターンを持つページが印刷されます。プリント カートリッジがクリーニングされます。

プリント カートリッジのクリーニング後もコピーあるいは印刷の品質がよくない場合は、問題のあるそのプリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換については、111 ページのプリント カートリッジの交換を参照してください。

プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジをクリーニングして調整しているのに、プリント カートリッジをチェックするよう求めるメッセージがフロント パネルに繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

注意！ 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は一度に 1 つずつ行ってください

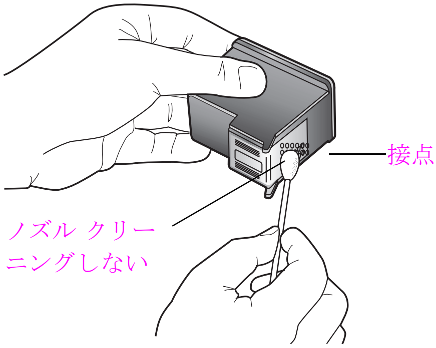
次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 水道水、濾過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)

注意！ プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを*使用しないでください*。プリントカートリッジまたは HP Officejet を傷める可能性があります。

1. HP Officejet の電源を入れ、プリント キャリッジ アクセス ドアを開きます。
2. キャリッジが停止したら、電源コードを HP Officejet の背面から取り外します。
3. プリント カートリッジの上部を押し込んで固定解除し、次にカートリッジを手前に引いてスロットから取り外します。
4. プリント カートリッジの接点にインクや汚れが固着していないか調べます。
5. 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を水道水に浸し、余分な水分を絞ります。
6. プリント カートリッジの横を持ちます。

7 接点のみをクリーニングします。ノズルはクリーニングしないでください。



8 プリント カートリッジをキャリッジに戻します。

9 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業を繰り返します。

10 プリント キャリッジ アクセス ドアを閉め、HP Officejet に電源コードを差し込みます。

工場出荷時の初期設定に戻す

HP Officejet を購入したときの、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

ご注意： 工場出荷時の初期設定に戻しても、設定してあった日付情報は変更されませんし、スキャン設定、言語、国、地域設定に行った変更にも影響しません。

この作業は、フロント パネルでのみ実行することができます。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[5]** を押し、次に **[3]** を押します。
これで [ツール] が選択され、次に [シュッカジ デフォルト チ ニ モドス] が選択されます。

ツール
1 : プリントカートリッジ ノ クリーニング
2 : プリントカートリッジ ノ チョウセイ
3 : シュッカジ デフォルト チ ニ モドス
4 : メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ

これで工場出荷時の初期設定に戻されました。

スクロール速度の設定

[スクロール ソクド] オプションを使用すると、テキスト メッセージがフロント パネル ディスプレイの右から左に表示される速度を調整できます。たとえば、メッセージが長すぎて、フロント パネル ディスプレイに収まりきらない場合は、スクロールする必要があります。これによって、メッセージ全体を読むことができます。スクロール速度は、次のように選択することができます。速度は [ヒョウジュン]、[ハヤイ]、[オソイ] のいずれかから選択できます。デフォルトの設定は [ヒョウジュン] です。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[6]** を押し、次に **[1]** を押します。
これで [プリファレンス] が選択され、次に [スクロール ソクド ノ セッテイ] が選択されます。

プリファレンス
1 : スクロールソクド ノ セッテイ
2 : プロンプト チエン ジカン ノ セッテイ
3 : ゲンゴ ト クニ / チイキ ノ セッテイ

3 ▶ を押してスクロール速度を選択してから、**[OK]** を押します。

プロンプト遅延時間の設定

[プロンプト チエン ジカン] オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を制御することができます。たとえば、[コピー] を押してから他のボタンを押さずにプロンプト遅延時間が過ぎると、フロント パネル ディスプレイに [コピー ヲ オシテ セッテイシマス] というようなメッセージが表示されます。速度は [ヒョウジュン]、[ハヤイ]、[オソイ] のいずれかから選択できます。デフォルトの設定は [ヒョウジュン] です。

1 **[セットアップ]** を押します。

2 **[6]** を押し、次に **[2]** を押します。
これで [プリファレンス] が選択され、次に [プロンプト チエン ジカン ノ セッテイ] が選択されます。

プリファレンス
1 : スクロールソクド ノ セッテイ
2 : プロンプトチエン ジカン ノ セッテイ
3 : ゲンゴ ト クニ / チイキ ノ セッテイ

3 設定したい遅延時間が表示されるまで ▶ を押し、次に **[OK]** を押します。

セルフメンテナンス サウンド

本製品を使用中は、様々な機械音が聞き取れることがあります。これは、本製品のセルフメンテナンスの正常な動作の一部です。

11 hp officejet 5500 series サポート

Hewlett-Packard では、HP Officejet に対してインターネットと電話によるサポートを提供しています。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 121 ページのインターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手
- 121 ページの hp カスタマ サポート
- 125 ページの hp officejet の発送準備
- 127 ページのプリンタの交換が必要な場合 ... (HP Quick Exchange Service)

製品に付属する印刷マニュアルまたはオンライン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国およびカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国 / 地域で利用できます。お住まいの国 / 地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄の HP 製品販売店までお問い合わせください。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットにアクセスすると、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます。

http://www.jpn.hp.com/support/printers/hho-support/index.html

この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

hp カスタマ サポート

HP Officejet には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

1. 以下の事項を確認します。
   a. HP Officejet が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定されたプリント カートリッジが正しく装着されていること。
   c. 推奨される用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. 以下の手順に従って HP Officejet をリセットします。
   a. フロント パネルにある **[On]** ボタンを使用して、HP Officejet の電源をオフにします。

b. 電源コードを HP Officejet の背面から取り外します。
c. 電源コードを HP Officejet に元通り差し込みます。
d. **[On]** ボタンを使用して、HP Officejet の電源をオンにします。

3 詳細については、次の HP Web サイトを参照してください。
http://www.jpn.hp.com/support/printers/hho-support/index.html

4 上記の作業を行い、ヘルプのトラブルシューティングや HP Web サイトのサポート情報を参照しても問題がせず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
a. 本体のフロント パネルに明記されている HP Officejet のモデル名を控えてください。
b. サービス ID とシリアル番号をメモします。サービス ID とシリアル番号をフロント パネルに表示するには、**[OK]** と **[スタート] - [カラー]** を同時に押します。シリアル ID が表示されるまで ▶ を押し、次に **[OK]** ボタンを押します。
c. セルフテスト レポートを印刷します。セルフテスト レポートの印刷の詳細については、109 ページのセルフテスト レポートの印刷を参照してください。
d. サンプルのプリントアウトとしてカラー コピーを作成します。
e. 発生した問題を詳しく説明するための準備を行います。

5 HP カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、HP Officejet の近くで行ってください。

日本 hp カスタマー・ケア・センター　連絡先

TEL : 0570-000-511 (ナビダイヤル)　03-3335-9800 (ナビダイヤルをご利用いただけない場合)

FAX : 03-3335-8338

電話受付時間 : 月～金 9:00 ～ 17:00　土・日 10:00 ～ 17:00　(祝祭日、1/1 ～ 3 を除く)

FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧については、下記の Web サイトをご覧になり、自分の国 / 地域または言語を選択してください。

www.hp.com/support

以下の国 / 地域では、HP サポート センターに問い合わせることができます。お客様の国 / 地域が一覧にない場合は、地元の代理店か、最寄りの HP 営業サポート事務所にお問い合わせください。

サポート サービスは保証期間中は無料ですが、長距離電話料金はユーザーの負担になります。場合によっては、1 回のお問い合わせごとに定額の料金が適用されることがあります。

ヨーロッパについては、国 / 地域によって電話でのサポート内容や条件が異なりますので、下記の Web サイトでご確認ください。

www.hp.com/support

あるいは、代理店に問い合わせたり、このガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。このため、定期的に当社の Web サイトを確認してサービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
アルジェリア[1]	+213(0)61 56 45 43	ルクセンブルグ (フランス語)	900 40 006
アルゼンチン	(54)11-4778-8380 0-810-555-5520	ルクセンブルグ (ドイツ語)	900 40 007
オーストラリア	+61 3 8877 8000 1902 910 910	マレーシア	1-800-805405
オーストリア	+43 (0) 820 87 4417	メキシコ	01-800-472-6684
バーレーン (ドバイ)	+973 800 728	メキシコ (メキシコ市)	5258-9922
ベルギー (オランダ語)	+32 (0) 70 300 005	モロッコ[1]	+212 224 047 47
ベルギー (フランス語)	+32 (0) 70 300 004	オランダ (0.10 ユーロ / 分)	0900 2020 165
ボリビア	800-100247	ニュージーランド	0800 441 147
ブラジル (リオグランデ、サンパウロ)	(11) 3747 7799	ノルウェー	+47 815 62 070
ブラジル (その他の地域)	0800 157751	オマーン	+971 4 883 8454
カナダ (保証期間内)	(905) 206 4663	パレスチナ	+971 4 883 8454
カナダ (保証期間後) (1 回ごとに料金が発生)	1-877-621-4722	パナマ	001-800-7112884
カリブおよび中央アメリカ	1-800-711-2884	ペルー	0-800-10111
チリ	800-360-999	フィリピン	632-867-3551
中国	86-21-38814518 8008206616	ポーランド	+48 22 865 98 00
コロンビア	9-800-114-726	ポルトガル	+351 808 201 492
コスタリカ	0-800-011-0524	プエルトリコ	1-877-232-0589
チェコ共和国	+42 (0) 2 6130 7310	カタール	+971 4 883 8454
デンマーク	+45 70202845	ルーマニア	+40 1 315 44 42
エクアドル (Andinatel)	999119+1-800-7112884	ロシア、モスクワ	+7 095 797 3520

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
エクアドル (Pacifitel)	1-800-225528+1-800-7112884	ロシア、サンクトペテルブルグ	+7 812 346 7997
ヨーロッパ (英語)	+44 (0) 207 512 5202	サウジアラビア	+966 800 897 14440
エジプト	+20 02 532 5222	シンガポール	(65) 272-5300
フィンランド	+358 (0) 203 66 767	スロバキア	+ 421 2 6820 8080
フランス (0.34 ユーロ / 分)	+33 (0) 892 6960 22	南アフリカ (RSA)	086 000 1030
ドイツ (0.12 ユーロ / 分)	+49 (0) 180 5652 180	南アフリカ、共和国以外	+27-11 258 9301
ギリシャ	+30 10 6073 603	スペイン	+34 902 010 059
香港	+85 (2) 3002 8555	スウェーデン	+46 (0)77 120 4765
グアテマラ	1800-995-5105	スイス [2] (ピーク時は 0.08 CHF/ 分、非ピーク時は 0.04 CHF/ 分)	+41 (0) 848 672 672
ハンガリー	+36 (0) 1 382 1111	台湾	+886-2-2717-0055 0800 010 055
インド	1-600-112267 91 11 682 6035	タイ	+66 (2) 661 4000
インドネシア	62-21-350-3408	チュニジア [1]	+216 1 891 222
アイルランド	+353 1890 923902	トルコ	+90 216 579 7171
イスラエル	+972 (0) 9 830 4848	ウクライナ	+7 (380-44) 490-3520
イタリア	+39 848 800 871	アラブ首長国連邦	800 4910
日本	0570 000 511 +81 3 3335 9800	イギリス	+44 (0) 870 010 4320
ヨルダン	+971 4 883 8454	ベネズエラ	01-800-4746-8368
韓国	+82 1588 3003	ベネズエラ (カラカス)	(502) 207-8488
クウェート	+971 4 883 8454	ベトナム	84-8-823-4530
レバノン	+971 4 883 8454	イエメン	+971 4 883 8454

1 このコール センターでは、次の国でフランス語を使用するユーザーをサポートしています : モロッコ、チュニジア、アルジェリア。

2 このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、およびイタリア語を使用するユーザーをサポートしています。

hp officejet の発送準備

HP カスタマ サポートに問い合わせた後、修理のために HP Officejet を発送するように求められることがあります。その際は、HP 製品の損傷を防ぐため以下の手順に従ってください。

ご注意： HP Officejet を搬送する際には、必ずプリント カートリッジを取り外してください。プリント カートリッジとスキャナを元の場所に戻し、[オン] ボタンを押して、HP Officejet を正しく停止するようにしてください。

1 HP Officejet の電源をオンにします。

本体の電源がオンにならず、プリント キャリッジがホーム ポジションにある場合は、ステップ 1 から 6 までを省略します。この場合、プリント カートリッジを取り外すことはできません。ステップ 7 に進みます。

2 プリント キャリッジ アクセス ドアを開きます。

プリント キャリッジが、見える位置まで移動します。

3 プリント カートリッジをクリーニングします。

プリント カートリッジを取り外す場合の詳細については、111 ページのプリント カートリッジの交換を参照してください。

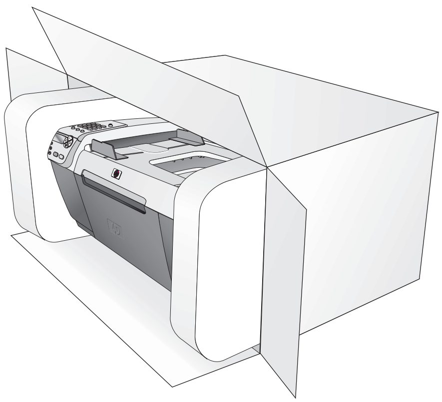
注意！ 両方のプリント カートリッジを取り外します。これを怠ると、HP Officejet が損傷する可能性があります。

4 プリント カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを気密性の高い袋に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、カートリッジは HP Officejet と一緒に発送しないでください。

5 プリント キャリッジ アクセス ドアを閉め、プリント キャリッジがホーム ポジション (左側) に戻るまでしばらく待ちます。

6 HP Officejet の電源をオフにします。

7 可能な場合は、元の梱包用材料を使用するか、代替製品が梱包されていた材料を使用して HP Officejet を梱包して発送します。



元の梱包用材料がない場合は、ほかの適切な梱包用材料を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

8 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。

9 箱には、以下のものを入れてください。
   - サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます)。
   - 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
   - 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

プリンタの交換が必要な場合 ...（HP Quick Exchange Service）

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。ユニットが故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Service がこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

HP Quick Exchange Service

電話番号：0570-000511 （自動応答）

03-3335-9800 （自動応答システムが使用できない場合）

サポート時間：平日の午前 9：00 から午後 5：00 まで

土日の午前 10：00 から午後 5：00 まで。

祝祭日および 1 月 1 日から 3 日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。

  ご注意： ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。詳しくは、カスタマケアセンターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者 (日本通運株式会社) が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

12 保証に関する情報

このセクションでは、HP Officejet に付加されている制限付きの保証について説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 129 ページの限定保証の期間
- 129 ページの修理のための hp officejet の返送
- 129 ページの Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示

限定保証の期間

限定保証の期間 (ハードウェア) : 1 年間

限定保証の期間 (CD メディア) : 90 日間

限定保証の期間 (プリント カートリッジ) : HP カートリッジのインクが消耗した当日の日付か、カートリッジに記載されている "保証期限" の日付のうち、どちらか早い方の日付。

修理のための hp officejet の返送

サービスを受けるために HP Officejet を返送する前に、HP カスタマ サポートに連絡する必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、121 ページの hp カスタマ サポートを参照してください。

Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示

次に HP グローバル限定保証について説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 129 ページの限定保証の範囲
- 130 ページの保証の制限
- 130 ページの義務の制限
- 131 ページの現地法

限定保証の範囲

Hewlett-Packard （以下、「HP」という）は、エンドユーザー （以下、「ユーザー」という）に対し、関連ソフトウェア、アクセサリ、用紙、およびサプライ品を含め、お買い上げ日から一定の期間 (以下に指定) にわたり、それぞれの HP Officejet 5500 Series （以下、「本製品」という）に材料および製品上の瑕疵がないことを保証します。

本製品の各ソフトウェアを対象とする HP の限定保証は、プログラムの命令を実行できない場合にのみ適用されます。HP は、本製品の動作が停止しないことまたは誤動作しないことを保証しません。

HP の限定保証は、本製品を正しく使用した結果として発生した瑕疵のみを対象とするものであり、(a) 不適切な保守または改造、(b) HP によってサポートされていないソフトウェア、アクセサリ、用紙、またはサプライ品、あるいは (c) 本製品の仕様外の動作、不法な改造や誤用に起因する問題を含め、その他のあらゆる問題は保証の対象になりません。

本製品の各ハードウェアについては、HP 以外のプリント カートリッジまたは詰め替え用のプリント カートリッジを使用しても、ユーザーに対する保証またはユーザーとの HP サポート契約には影響しません。ただし、本製品の障害または損傷が HP 以外のプリント カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用したことに起因する場合、HP は本製品の障害または損傷を修理するための標準の作業費および材料費を請求するものとします。

保証の適用期間内に、HP が本製品の瑕疵の報告を受けた場合、HP はその裁量により、瑕疵のある本製品を、HP の保証の範囲内で修理または交換するものとします。保守作業費が HP の限定保証の対象とならない場合、修理は HP の標準の保守作業費で行われるものとします。

HP の保証の対象である瑕疵のある本製品を、瑕疵があることが通知されてから妥当な期間内に修理または交換することが不可能な場合は、本製品の購入費用を払い戻しいたします。

HP は、ユーザーが瑕疵のある本製品を HP に返却するまでは修理、交換、または払い戻しを行う義務はないものとします。

交換用の製品は、新品または新品同様のものとします。ただし、交換される本製品と同等以上の機能を持つものとします。

本製品を含め、HP 製品には、性能が新品と同等の再生部品、再生装置、または再生材料が使用されていることがあります。

各製品に対する HP の制限付きの保証は、保証の対象となる製品が HP によって配布される国 / 地域内であればどこでも有効です。オンサイト サービス等の追加的な保証サービス契約は、HP またはしかるべき代理店によって製品の配布が行われている国 / 地域内の認可を受けた HP サービス機関との間で締結することができます。

保証の制限

現地の法律によって許可される範囲において、HP および第三者の供給業者のいずれも、市場性、十分な品質、特定目的への適合性をはじめとして、他のいかなる種類の明示的あるいは黙示的な保証や条件も設定しません。

義務の制限

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知で提供される補償は、ユーザーの独占的および排他的な補償です。

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知に明記された義務を除き、HP または第三者の供給業者は、直接的、間接的、特殊、付随的、または結果的な損害に対しては、契約、不法行為、またはその他のいかなる合法的見解に基づくものであるかどうかを問わず、また上記の損害の可能性を通知したかどうかを問わず、その責任を負わないものとします。

現地法

この限定保証の告示により、ユーザーには法律上の特定の権利が付与されます。また、ユーザーは、その他の権利も有しますが、この権利は米国およびカナダでは州によって異なり、世界各国 / 地域では国 / 地域によって異なります。

この限定保証の告示が現地の法律と矛盾する場合に限り、この告示はその現地の法律と矛盾しないように修正されているとみなされるものとします。上記の現地の法律の下では、この告示の特定の免責条項および制限がユーザーに適用されないことがあります。たとえば、米国の一部の州のほか、米国以外の一部の政府では（カナダの州を含め)、以下の事例が発生することがあります。

この告示の免責条項および制限で、法律によって定められたユーザーの権利を制限することができなくなることがあります（イギリスなど)。

あるいは、上記の免責条項または制限条項をメーカーが実施できないように制限されることがあります。

また、別の保証の権利をユーザーに付与したり、メーカーが否認できない黙示的な保証期間を指定したりするほか、黙示的な保証期間への制限を許可しないことがあります。

オーストラリアおよびニュージーランドでの消費者の取り引きにおいては、この限定保証の告示の条項は、合法的に許可された場合を除き、対象の HP 製品の当該消費者への販売に適用可能な、法律によって定められた必須の権利を除外、制限、または修正しません。

13 技術情報

このセクションでは、HP Officejet の技術仕様および国際的な規制について説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 133 ページの用紙の仕様
- 135 ページのファクスの仕様
- 135 ページのスキャンの仕様
- 135 ページの物理的仕様
- 135 ページの電気的仕様
- 136 ページの環境仕様
- 136 ページの環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム
- 138 ページの規制に関する告知

用紙の仕様

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 133 ページの用紙トレイの収容枚数
- 134 ページの自動ドキュメント フィーダの収容枚数
- 134 ページの用紙サイズ
- 134 ページの印刷余白の仕様

用紙トレイの収容枚数

形式	用紙の重さ	給紙トレイ[1]	排紙トレイ[2]
普通紙	70 ～ 90 gsm (20 ～ 24 lb.)	100	25
カード	200 gsm (110 lb.)	20	10
封筒	75 ～ 90 gsm (20 ～ 24 lb.)	10	5
OHP フィルム	N/A	20	10
10 x 15 cm のフォト用紙	236 gsm (145 lb.)	20	10

1 最大収容枚数。
2 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量から影響を受けます。排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

自動ドキュメント フィーダの収容枚数

形式	用紙の重さ	枚数
レター	70 ～ 90 gsm(20 ～ 24 lb.)	20
リーガル	70 ～ 90 gsm(20 ～ 24 lb.)	20
A4	70 ～ 90 gsm(20 ～ 24 lb.)	20

用紙サイズ

形式	サイズ
用紙	レター : 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ) リーガル : 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ) A4 : 210 x 297 mm
封筒	US No.10 : 105 x 241 mm (4.125 x 9.5 インチ) A2 : 111 x 146 mm (4.4 x 5.8 インチ) DL : 110 x 22.10 cm (4.3 x 8.66 インチ) C6 : 114 x 16.26 cm (4.5 x 6.38 インチ)
OHP フィルム	レター : 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ) A4 : 210 x 297 mm
フォト用紙	102 x 152 mm (4 x 6 インチ)

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (後端)[1]	左	右
用紙または OHP フィルム				
U.S. (レター、リーガル、エグゼクティブ)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	6.4 mm (0.25 インチ)	6.4 mm (0.25 インチ)
ISO (A4、A5) および JIS (B5)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.2 mm (0.13 インチ)	3.2 mm (0.13 インチ)
封筒				
	3.2 mm (0.13 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.2 mm (0.13 インチ)	3.2 mm (0.13 インチ)
カード				
	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.2 mm (0.13 インチ)	3.2 mm (0.13 インチ)

1 この余白は Officejet には該当しませんが、合計の印刷領域は Officejet にも該当します。印刷領域は、中心から 0.21 インチ (5.4 mm) オフセットされています。このため、上と下の余白は同じではありません。

技術情報

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー補正モード (ECM) 対応)
- 伝送速度 33.6 Kbps
- 33.6 Kbps で 1 ページにつき 3 秒 (標準的な解像度での ITU-T テスト イメージ #1 に基づく) より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は、時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス / 留守番電話の自動切り替え

スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- OCR ソフトウェアにより、スキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ)
- コンタクト イメージ センサ (CIS)
- Twain に準拠したインタフェース
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。
- 解像度 ：最大 600 x 2400 ppi (最大補間解像度 19200ppi)
- ビット深度：36 ビットカラー、12 ビット グレースケール
- ガラス板の最大スキャン サイズ：216 x 297 mm (8.5 x 11.7 インチ)
- 自動ドキュメント フィーダの最大スキャン サイズ：216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)

物理的仕様

高さ	幅	奥行き	重量 (プリント カートリッジなし)
用紙トレイを畳んだ場合			
23.1 cm (9.1 インチ)	45.3 cm (17.8 インチ)	28.6 cm (11.2 インチ)	5.5 kg (12 lbs)
用紙トレイを広げた場合			
23.1 cm (9.1 インチ)	45.3 cm (17.8 インチ)	45.0 cm (17.7 インチ)	5.5 kg (12 lbs)

電気的仕様

- 消費電力：最大 75 W
- 入力電圧：AC 100 ～ 240 V、1 A、50 / 60 Hz、アース済み
- 出力電圧：DC 32V===940 mA、16 V===625 mA

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲：15° ～ 32° C（59° ～ 90° F）
- 許容される動作時の温度範囲：5° ～ 40° C（41° ～ 104° F）
- 湿度：15 ～ 85% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲：-4° ～ 60° C（-40° ～ 140° F）
- 強い電磁気が発生している場所では、HP Officejet の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3m 以下のものとしてください。

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 136 ページの環境の保護
- 136 ページのオゾン層の保護
- 136 ページのエネルギー消費
- 137 ページの用紙の使用
- 137 ページのプラスチック
- 137 ページの化学物質等安全データシート
- 137 ページのリサイクル プログラム
- 137 ページの **HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム**

環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下のアドレスの HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾン層の保護

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O_3) は生成されません。

エネルギー消費

エネルギーの消費は、ENERGY STAR® モードになっている間は極めて低くなります。このモードでは、天然の資源と費用を節約できますが、この製品の高いパフォーマンスに影響することはありません。この製品は、ENERGY STAR に適合しています。これは、エネルギー効率の高いオフィス機器の開発を推進するために設立された自主的なプログラムです。

ENERGY STAR は、米国 EPA の登録サービス マークです。ENERGY STAR のパートナーとして、当社ではエネルギーの効率化のため、この製品を ENERGY STAR のガイドラインに適合させることを決定しました。

ENERGY STAR のガイドラインの詳細については、次の Web サイトにアクセスしてください。

www.energystar.gov

用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質等安全データシート

化学物質等安全データシート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。(現在日本では本体のリサイクルプログラムは行われていません)

HP の本製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な以下の物質が含まれています。

- 鉛 (はんだ内)

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット サプライ品リサイクル プログラムは多くの国 / 地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

www.jpn.hp.com/hho/supply/recycle.html　(日本)

規制に関する告知

HP Officejet は、使用している国 / 地域の規制機関の製品要件を満たしています。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 138 ページの規制モデルの ID 番号
- 138 ページの notice to users of the U.S. telephone network：FCC requirements
- 139 ページの FCC statement
- 140 ページの note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network
- 140 ページの note à l'attention des utilisateurs Canadien/notice to users in Canada
- 141 ページの notice to users in the European Economic Area
- 141 ページの notice to users of the German telephone network
- 141 ページの declaration of conformity (European Union)
- 141 ページの geräuschemission
- 142 ページの notice to users in Korea

規制モデルの ID 番号

規制の識別を目的として、お使いの製品には規制モデル番号が割り当てられています。お使いの製品の規制モデル番号は、SDGOB-0302 です。この規制番号は、市販名 (HP Officejet 5500 Series) や製品番号 (Q3434A) と混同しないでください。

notice to users of the U.S. telephone network：FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line may result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state's public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

  Note: The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful: How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems. This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

Caution! Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux specifications techniques des equipements terminaux d'Industrie Canada. Le numero d'enregistrement atteste de la conformite de l'appareil. L'abreviation IC qui precede le numero d'enregistrement indique que l'enregistrement a ete effectue dans le cadre d'une Declaration de conformite stipulant que les specifications techniques d'Industrie Canada ont ete respectees. Neanmoins, cette abreviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a ete valide par Industrie Canada.

Pour leur propre securite, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises electriques reliees a la terre de la source d'alimentation, des lignes telephoniques et du circuit metallique d'alimentation en eau sont, le cas echeant, branchees les unes aux autres. Cette precaution est particulierement importante dans les zones rurales.

Le numero REN (Ringer Equivalence Number) attribue a chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent etre connectes a une interface telephonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, a condition que le total des numeros REN ne depasse pas 5.

Base sur les resultats de tests FCC Partie 68, le numero REN de ce produit est 0.2B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Note: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.2B, based on FCC Part 68 test results.

note à l'attention des utilisateurs Canadien/notice to users in Canada

Le present appareil numerique n`emet pas de bruit radioelectrique depassant les limites applicables aux appareils numeriques de la classe B prescrites dans le Reglement sur le brouillage radioelectrique edicte par le ministere des Communications du Canada.

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

notice to users in the European Economic Area

CE

This product is designed to interwork with the analogue telephone networks in the following countries:

Austria	Greece	Portugal
Belgium	Ireland	Spain
Denmark	Italy	Sweden
Finland	Luxembourg	Switzerland
France	Netherlands	United Kingdom
Germany	Norway	

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP Officejet 5500 Series into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

geräuschemission

LpA < 70 dB
am Arbeitsplatz
im Normalbetrieb
nach DIN 45635 T. 19

declaration of conformity (European Union)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer's name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

notice to users in Korea

사용자 안내문 (B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파장해검정을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

declaration of conformity

According to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's name and address:	
Hewlett-Packard Company, 16399 West Bernardo Drive, San Diego, CA 92127-1899, USA	
Regulatory model number:	SDGOB-0302
Declares that the product:	
Product name:	HP Officejet 5500 Series (Q3434A)
Model number(s):	5510 (Q3435A), 5510xi (Q3436A), 5510v (Q3437A), 5505 (Q3438A), 5508 (Q3439A), 5515 (Q3440A)
Power adapters:	0950-4466
Conforms to the following product specifications:	
Safety:	IEC 60950:1991+A1+A2+A3+A4 /
	EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4+A11
	UL1950/CSA22.2 No.950, 3rd Edition:1995
	NOM 019-SFCI-1993
	GB4943: 2001
EMC:	CISPR 22:1997 / EN 55022:1998, Class B
	CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
	IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:1995
	IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995
	AS/NZS3548:1998
	CNS13438 Approved 1994, Revised 1997
	VCCI-2
	FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2
	GB9254:1998
Telecom:	TBR 21:1998
Supplementary Information:	
The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC, and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE marking accordingly. • The product was tested in a typical configuration.	
European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143)	

14 hp instant share のセットアップと使用

HP Instant Share を使用すると、写真を簡単に送信して家族や友人に見せることができます。写真を撮影するかまたは画像をスキャンしてそれを選択し、コンピュータのソフトウェアを使用するだけで、それらを電子メールで送信先に送信することができます。また、(お住まいの国や地域により異なりますが) オンライン フォト アルバムや、オンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。

HP Instant Share を使用すると、いつでも写真を家族や友人に見てもらうことができます。大きなダウンロードを行ったり、受け取った画像が大きすぎて開けないといったことはなくなります。電子メールに写真のサムネイル画像を添付して送信するのですが、これにセキュアな Web ページへのリンクが示されており、このリンクから家族や友人に写真を簡単に表示、共有、印刷、保存してもらうことができます。

> **ご注意：** カメラでとった写真を使用するには、画像をコンピュータに転送するための手段が必要になります。

> **ご注意：** 一部のオペレーティング システムには HP Instant Share をサポートしていないものありますが、HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアを使用すれば、家族や友人に写真を添付ファイルとして電子メール送信できます。(詳しくは、147 ページの **hp officejet で写真または画像を送信する (Macintosh)** を参照してください。)

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 145 ページの **HP Instant Share の使用 - 5 ステップの簡易操作 (Windows)**
- 147 ページの **hp officejet で写真または画像を送信する (Macintosh)**
- 149 ページの **HP Instant Share への登録が必要な理由 (Windows の場合)**

HP Instant Share の使用 - 5 ステップの簡易操作 (Windows)

HP Instant Share は、HP Officejet 5500 Series (HP Officejet) で以下のように簡単に使用できます。

1. HP Officejet を使用して画像をスキャンし、それを HP フォト イメージング ギャラリ (HP ギャラリ) ソフトウェアに送信します。

   ご注意： HP ギャラリ は、HP Officejet に付属する HP ディレクタ ソフトウェアの一部です。HP ディレクタ は、使用しているコンピュータ上にインストールされます。

2. **HP ギャラリ** から、送信したい画像を選択します。
3. **[HP Instant Share]** タブから、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。
4. HP Instant Share から、電子メールの送信先を指定します。

   ご注意： 電子メール アドレスを指定するには、[アドレス帳] から設定することもできます。

5 電子メール メッセージを送信します。

HP Instant Share の使用方法について詳しくは、以下の手順を参照してください。

- 146 ページの**スキャンした画像の使用**
- 146 ページの **HP Instant Share を HP ディレクタから開く**

ご注意： HP Instant Share をお使いになるには、コンピュータからインターネットに接続できる状態にしてください。AOL または Compuserve をご使用の場合は、HP Instant Share を使用する前にインターネット サービス プロバイダに接続しておいてください。

スキャンした画像の使用

画像のスキャン方法については、65 ページの**スキャン機能の使用** を参照してください。

1 原稿を、表を下にして自動ドキュメント フィーダにセットするか、ガラス板の左下隅に合わせてセットします。

2 **[スキャン]** を押します。
[スキャン] メニューが表示されます。

3 **[HP フォト イメージング ギャラリ]** を選択します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** か **[スタート] - [カラー]** を押します。
HP Officejet からスキャン内容が HP フォト イメージング ギャラリに送信され、その画像が自動的に開かれて表示されます。

5 画像を選択します。
画像を編集する場合は、編集した後で画像を選択します。

ご注意： HP ギャラリには、画像を編集して目的どおりに編集できるツールが多数用意されています。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

6 **[HP Instant Share]** タブをクリックします。

7 [HP Instant Share] を使用するには、下記の **HP Instant Share を HP ディレクタから開く**の手順 5 に進んでください。

HP Instant Share を HP ディレクタから開く

ここでは、HP Instant Share の電子メール サービスの使用方法について説明します。HP ディレクタの使用方法の詳細については、ソフトウェアに添付されているオンライン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

1 **[HP ディレクタ]** を開きます。

2 [HP ディレクタ] から、**[HP ギャラリ]** をクリックします。
[HP フォト イメージング ギャラリ] が表示されます。

3 保存されているフォルダから、写真またはスキャン画像を選択します。

ご注意： 詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **HP フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

4 **[HP Instant Share]** タブをクリックします。

5 [コントロール] 領域から、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。
[インターネットに接続] 画面が作業領域に表示されます。

6 **［次へ］**をクリックします。
[簡単セットアップ 6 地域と使用条件] 画面が表示されます。

7 ドロップダウン リストからお住まいの国または地域を選択します。

8 **[サービス条件]** を読み、**[同意する]** ボックスをチェックして **[次へ]** をクリックします。
[HP Instant Share サービスを選択します] 画面が表示されます。

9 **[HP Instant Share E メール]** を選択します。つまり、電子メールで写真を送信します。

10 **［次へ］**をクリックします。

11 [HP Instant Share E-Mail の作成] 画面で、**[送信先]**、**[差出人]**、**[件名]**、および **[メッセージ]** フィールドを記入します。

ご注意： 電子メールのアドレス帳を開いて利用するには、[アドレス帳] をクリックして HP Instant Share に登録して HP パスポートを入手します。

ご注意： 電子メールを複数のアドレスに送信するには、[複数の受信者にメールを送る方法] をクリックしてください。

12 **［次へ］**をクリックします。
[キャプションの追加] 画面が表示されます。

13 デジタル画像のタイトルを入力して、**[次へ]** をクリックします。
画像が HP Instant Share サービスのサイトにアップロードされます。
画像がアップロードされたら、[写真がメールされました] 画面が表示されます。
この電子メールは、画像を 60 日間保存するセキュアな Web ページへのリンク先を表示して送信されます。

14 **[完了]** をクリックします。
HP Instant Share の Web サイトがブラウザに表示されます。
このサイトから画像を選択して、いくつかの処理オプションを選択できます。

hp officejet で写真または画像を送信する (Macintosh)

ご使用の HP Officejet を Macintosh に接続している場合、電子メール アドレスのある人なら誰にでも簡単に写真を送信できます。[HP ギャラリ] で [電子メール] をクリックすると、コンピュータ上にインストール済みの電子- メール アプリケーションから電子メール メッセージを作成できます。[HP ディレクタ] から、[HP ギャラリ] を開きます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 148 ページの**スキャンした画像の使用**
- 148 ページの **HP ディレクタから電子メール オプションを開く**

スキャンした画像の使用

画像のスキャン方法については、65 ページのスキャン機能の使用 を参照してください。

1 原稿を、表を下にして自動ドキュメント フィーダにセットするか、ガラス板の左下隅に合わせてセットします。

2 [スキャン] を押します。

[スキャン] メニューが表示されます。

3 [HP フォト イメージング ギャラリ] を選択します。

4 [スタート] - [モノクロ] か [スタート] - [カラー] を押します。

HP Officejet からスキャン内容が HP フォト イメージング ギャラリに送信され、その画像が自動的に開かれて表示されます。

5 画像を選択します。

画像を編集する場合は、画像を選択する前に編集します。

ご注意 : HP ギャラリには、画像を編集して目的どおりに編集できるツールが多数用意されています。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

6 [電子メール] をクリックします。

Macintosh で電子メール プログラムが開きます。

これで、Macintosh から下記の手順にしたがって、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

HP ディレクタから電子メール オプションを開く

1 [HP ディレクタ] を開き、[HP ギャラリ] をクリックします (OS 9 の場合)。

または

ドックから [HP ディレクタ] をクリックし、[HP ディレクタ] メニュー (OS X の場合) の [ソフト] セクションから [HP ギャラリ] を選択します。

[HP フォト イメージング ギャラリ] が開きます。

2 画像または写真を 1 枚以上選択します。

詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

3 [電子メール] をクリックします。

Macintosh で電子メール プログラムが開きます。

これで、Macintosh から下記の手順にしたがって、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

HP Instant Share への登録が必要な理由 (Windows の場合)

HP Officejet 5500 Series をご使用の場合、HP Instant Share のユーザー登録は [アドレス帳] を使用する場合にのみ必要です。ユーザー登録は、HP の製品登録とはまったく別のログオン手続きで、HP Passport セットアップ プログラムを使用して行います。

HP Instant Share の [アドレス帳] で電子メール アドレスを保存して送信先リストを作成するよう選択すると、登録を行うようメッセージが表示されます。HP Instant Share 電子メールをアドレス指定する場合、[アドレス帳] を設定して [アドレス帳] を開くには、まず登録が必要です。

15 トラブルシューティング情報

このセクションでは、HP Officejet 5500 Series (HP Officejet) のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定について詳しく説明します。動作時のトピックについては、オンライン ヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 151 ページのインストール時のトラブルシューティング
- 165 ページの動作時のトラブルシューティング

インストール時のトラブルシューティング

このセクションでは、HP Officejet ファクスのセットアップ、ソフトウェアとハードウェアのインストール、および HP Instant Share に関連する一般的な問題のいくつかに関して、インストールおよび設定時のトラブルシューティングのヒントについて説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 152 ページのソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング
- 156 ページのハードウェアのインストール時のトラブルシューティング
- 160 ページのファクス セットアップ時のトラブルシューティング
- 164 ページの **HP Instant Share** セットアップ時のトラブルシューティング

ソフトウェアおよびハードウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。ハードウェアのインストール時に問題が検出された場合は、156 ページのハードウェアのインストール時のトラブルシューティングを参照してください。

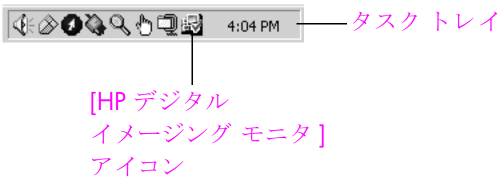
HP Officejet ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

- HP Officejet の CD-ROM が自動的に実行される
- ソフトウェアがインストールされる。
- 一連のファイルがハード ドライブにコピーされる。
- HP Officejet を接続するよう要求される。
- 緑色の OK とチェック マークがインストール ウィザードの画面に表示される。
- コンピュータを再起動するよう要求される。
- ファクス セットアップ ウィザードが実行される。
- 登録プロセスが実行される。

これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。PC に対するインストールをチェックするには、以下の事柄を確認します。

- HP ディレクタを起動し、必須のアイコン ([画像のスキャン]、[ドキュメントスキャン](Windows のみ)、[ファクス送信]、[HP ギャラリ]) が HP ディレクタに表示されることを確認します。必須のアイコンがすぐに表示されない場合は、お使いのコンピュータに HP Officejet が接続されるまで数分待たなければならないこともあります。そうでない場合は、以下を参照してください。
- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開き、HP Officejet がリスト表示されることを確認します。

HP デジタル イメージング モニタのタスク トレイを見てください。表示されていれば、HP Officejet が待機中であることを示しています。



ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

このセクションは、HP Officejet ソフトウェアのインストール時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない

HP Officejet 5500 Series CD-ROM をコンピュータの CD -ROM ドライブに挿入しても何も実行されない場合は、次の手順に従います。

1 Windows の **[スタート]** メニューの **[ファイル名を指定して実行]** を選択します。

2 [ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスで、**d：\setup.exe** (CD-ROM ドライブにドライブ文字 d が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字) を入力し、**[OK]** をクリックします。

インストール中に、最小システム チェック画面が表示される

最小システム チェック画面が表示される場合は、使用しているシステムが本ソフトウェアをインストールするための最低条件を満たしていません。**[詳細]** をクリックして、具体的な問題点を確認してください。その後、問題点を修正した後、ソフトウェアをインストールしてください。

赤の X が USB 接続プロンプトに表示される



赤の X が USB 接続プロンプトに表示されます。

通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

次の手順に従ってください :

1 フロント パネル カバーがしっかりと取り付けられていることを確認した後、HP Officejet の電源ケーブルをいったん抜き、再度差し込みます。

2 USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。

3 USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続しないでください。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。
   – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。

4 インストール処理を継続し、指示されたらコンピュータをリブートします。HP ディレクタを起動し、必須のアイコン ([画像のスキャン]、[ドキュメントスキャン](Windows のみ)、[ファクスの送信]、および [HP ギャラリ]) が表示されることを確認します。

5 必須のアイコンが HP ディレクタにまだ表示されない場合は、本ソフトウェアを削除した後、153 ページの **HP ディレクタでいくつかのアイコンが表示されない**の手順に従って再インストールしてください。

不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される

不明なエラー メッセージを受け取っても、インストールを継続してください。インストールができない場合は、中断し、最初からやり直します。

HP ディレクタでいくつかのアイコンが表示されない

必須アイコン (画像のスキャン、ドキュメントスキャン (Windows のみ)、ファクス送信、および HP ギャラリ) が表示されない場合は、インストールが完了していない可能性があります。

インストールが未完の場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP Officejet のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP Officejet プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

再インストールには、20 ～ 40 分以上かかります。Windows マシンからソフトウェアをアンインストールする方法は 3 種類あります。Macintosh からアンインストールする方法は 1 つです。

♦ **Windows マシンからアンインストールするには : その 1**

a. お使いのコンピュータから HP Officejet の接続を解除します。
b. Windows のタスク バーで、**[スタート]**、**[すべてのプログラム]** (XP)、**[HP]**、**[HP Officejet 5500series]**、**[アンインストール]** の順にクリックします。
c. 画面上の指示に従ってください。
d. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
e. 共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
f. コンピュータを再起動します。

ご注意 : コンピュータを再起動する前に HP Officejet の接続を解除することが重要です。

g. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP Officejet 5500 Series の CD-ROM を挿入し、画面に表示される指示に従って操作します。
h. ソフトウェアのインストールが完了したら、HP Officejet をコンピュータに接続します。[On] ボタンを使用して、HP Officejet の電源をオンにします。インストール処理を継続するには、画面上の指示、および 1 ページの**セットアップ**の指示に従って操作してください。

   HP Officejet を接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。

   ソフトウェアのインストールが完了すると、タスク トレイに [ステータス モニタ] アイコンが表示されます。
i. ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで **HP ディレクタ**アイコンをダブルクリックしてください。HP ディレクタに主要なアイコン ([画像のスキャン]、[ドキュメントのスキャン]、[ファクス送信]、および [HP ギャラリ]) が表示されている場合は、ソフトウェアが正しくインストールされています。

♦ **Windows マシンからアンインストールするには : その 2**

この方法は、[スタート] メニューから [ソフトウェアのアンインストール] が利用できない場合に使用します。

a. Windows のタスク バーで、**[スタート]**、**[設定]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックします。
b. **[アプリケーションの追加と削除]** をダブルクリックします。
c. **[HP PSC & Officejet 3.0]** を選択して、**[変更と削除]** をクリックします。

d. 画面上の指示に従って操作します。
e. コンピュータを再起動します。
f. セットアップ プログラムを起動し、再インストールの指示に従います。

♦ **Windows マシンからアンインストールするには：その 3**

[ソフトウェアのアンインストール] が [スタート] メニューにない場合には替わりにこの方法でアンインイトールしてください。

a. HP Officejet 5500 Series ソフトウェア セットアップ プログラムを起動します。
b. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
c. コンピュータを再起動します。
d. HP Officejet 5500 Series ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。
e. **[再インストール]** を起動し、画面の指示に従います。

♦ **Macintosh コンピュータからアンインストールするには**

a. Macintosh から HP Officejet の接続を解除します。
b. **[アプリケーション：HP All-in-One Software]** フォルダをダブルクリックします。
c. **[HP アンインストーラ]** をダブルクリックします。
d. 画面上の指示に従って操作します。
e. ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP Officejet を切断し、コンピュータを再起動します。
f. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP Officejet 5500 Series の CD-ROM を挿入します。

ご注意： ソフトウェアの再インストール時は、1 ページのセットアップの指示に従って操作してください。ソフトウェアのインストールが完了するまで、HP Officejet をコンピュータに接続しないでください。

g. デスクトップで、CD-ROM を開いて **[hp all-in-one インストーラ]** をダブルクリックし、表示される指示に従って操作します。

ファクス ウィザードが起動されない

以下のようにファクス ウィザードを起動します。

1 Windows の **[スタート]** メニューの Hewlett-Packard フォルダで **HP ディレクタ**を起動します。
2 **[設定]** メニューをクリックし、**[ファクスの設定とセットアップ]** を選択した後、**[ファクス セットアップ ウィザード]** を選択します。

登録画面が表示されない

- Windows の [スタート] メニューにある HP フォルダの**製品登録**プログラムを起動します。**[スタート]**、**[すべてのプログラム]** または **[すべてのプログラム]** (XP)、**[HP]**、**[PSC All-In-One 5500 Series]**、**[製品登録]** の順にクリックします。

タスク トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない

デジタル イメージング モニタがタスク トレイに表示されない場合は、数分待ってください。数分待っても表示されない場合は、HP ディレクタをクリックして、必須のアイコンがそこに表示されているかどうかをチェックします。詳しくは、153 ページの **HP ディレクタでいくつかのアイコンが表示されない**を参照してください。

タスク トレイは、通常、Windows デスクトップの右下隅に表示されます。



ハードウェアのインストール時のトラブルシューティング

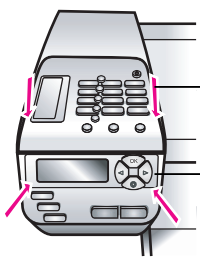
このセクションは、HP Officejet ハードウェアのインストール時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

日本ではフロントパネルカバーはあらかじめ取り付けられています。また、言語、国 / 地域の設定は通常不必要です。

フロント パネル カバーを取り付けるように指示するメッセージがフロント パネル ディスプレイに表示される

フロント パネル カバーが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。ベゼルを以下に説明するように取り付け、所定の場所に固定されていることを確認します。

1 HP Officejet の上面にあるボタンに、*大きいほうの*フロント パネル カバーをかぶせるように合わせ、所定の場所にカチッとはめます。



2 HP Officejet の正面にあるボタンに、*小さいほうの*フロント パネル カバーをかぶせるように合わせ、所定の場所にカチッとはめます。

3 すべてのボタンが問題なく上下に動くことを確認します。

フロント パネルに表示される言語が正しくない

HP Officejet の言語または国 / 地域の設定が不正です。言語および国 / 地域は通常、HP Officejet を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1 [セットアップ] を押します。
2 [6] を押し、次に [3] を押します。

   [プリファレンス] が選択されるので、次に [ゲンゴ ト クニ / チイキ ノ セッテイ] を選択します。

   定型作業の開始後、フロント パネル ディスプレイに次のプロンプトが表示されます。

   11 ヲ オシテ エイゴ ニ シマスカ ?

   言語を英語に変更したい場合は、キーパッドで 11 を入力するか、◀ または ▶ を使用して、国 / 地域をスクロールします。それ以外の言語を使用したい場合は、5 秒すると、ディスプレイが自動的に変更され、次に使用可能な言語が表示されます。使用したい言語が表示されたら、キーパッドにその 2 桁の数値を入力します。
3 言語を確認するためのプロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 1 を、[いいえ] の場合は 2 を押します。

   選択した言語に適した国 / 地域を選択するよう指示されます。国 / 地域のスクロールは、◀ または ▶ を使用しても行えます。
4 キーパッドを使用し、目的の国 / 地域の 2 桁の数字を入力します。
5 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 1、[いいえ] の場合は 2 を押します。
6 言語と国 / 地域は、以下のようにしてセルフテスト レポートを印刷すると、確認できます。
   a. [セットアップ] を押します。
   b. [1] を押し、次に [4] を押します。

   これで [レポート ノ インサツ] が選択され、次に [セルフテスト レポート] が選択されます。

日本でご使用の場合、メニューの国 / 地域の設定において日本以外の国を選択すると、ファクスに関する日本の通信規定や法律に違反した構成になる恐れがありますので日本以外は選択しないでください。また、モデムが正しく機能しない場合があります。

プリント カートリッジの位置を調整するよう指摘するメッセージがフロント パネル ディスプレイに表示される

HP Officejet では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。詳しくは、113 ページのプリント カートリッジの位置調整を参照してください。

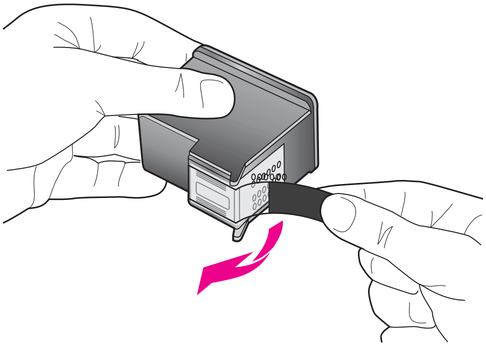
HP Officejet の電源がオンにならない

HP Officejet に電源が入らない場合は、電源から HP Officejet への各接続が確実に行われているかどうかを確認し、HP Officejet の電源がオンになるのを数秒待ってください。また、HP Officejet がテーブルタップに接続されている場合は、テーブルタップの電源がオンになっていることも確認してください。

HP Officejet が印刷を行わない

まず、プリント カートリッジがインク切れになっていないことを確認します。それについては、109 ページの**セルフテスト レポートの印刷** を参照してください。

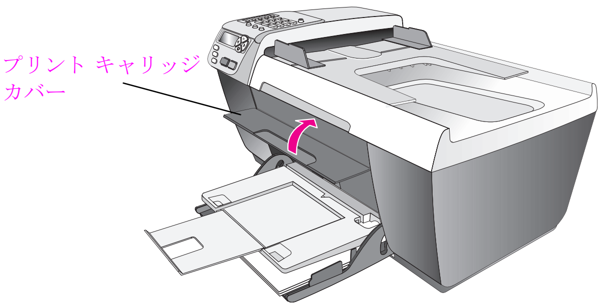
ただし、その前に、プリント カートリッジをチェックし、その包装が正しく取り除かれていることを確認してください。銅の接点やインク ノズルにさわらないように注意してピンクのタブをゆっくりと引き、プラスチック テープを取り除きます。



プリント カートリッジの交換が必要な場合は、*111 ページの***プリント カートリッジの交換** *を参照してください。*

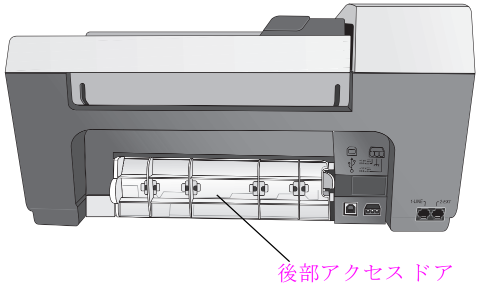
紙詰まりやカートリッジのブロックに関するメッセージがフロント パネル ディスプレイに出力される

紙詰まりやキャリッジのブロックに関するエラー メッセージがフロント パネル ディスプレイに出力される場合は、HP Officejet の内部に梱包用材料が詰まっている可能性があります。プリント キャリッジ アクセス ドアを開けて、プリント カートリッジから梱包用材料などの不要なものを取り除きます。



HP Officejet で紙詰まりが起こったら、次の手順に従ってください。

1 HP Officejet の背面にある後部アクセス ドアを外します。



警告！ HP Officejet の正面側から詰まった紙を取り除くと、印刷機構が損傷する場合があります。必ず、背面にある後部アクセス ドアを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。

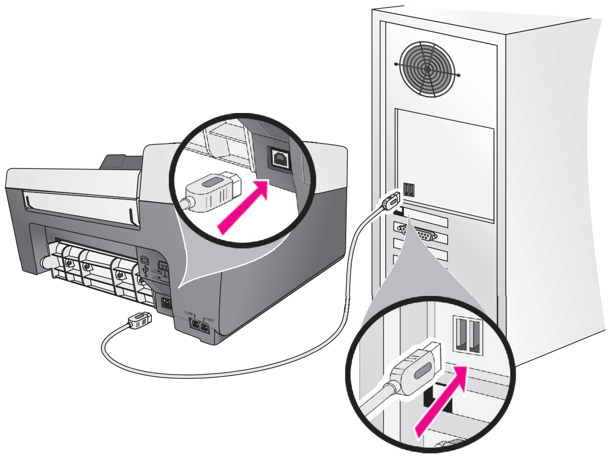
2 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引っ張り出します。

3 後部アクセス ドアを元に戻します。

4 現在のジョブを続行するには、**[OK]** をクリックします。

USB ケーブルが接続されていない

USB ケーブルを使ってコンピュータを HP Officejet に接続するのは、簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの背面に接続し、他方の端を HP Officejet の背面に接続するだけで済みます。コンピュータの背後にある任意の USB ポートに接続できます。



インストール時のその他のトラブルシューティングについて

インストール時に発生するその他の問題の詳細については、Read Me ファイルを参照してください。Windows のタスクバー上の [スタート] ボタンから Read Me ファイルにアクセスするには、**[すべてのプログラム]**、**[Hewlett-Packard]**、**HP Officejet 5500 Series**、**[Readme]** の順に選択します。

Macintosh の OS 9 または OS X の場合は、HP Officejet ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、readme ファイルにアクセスできます。

readme ファイルには、次のような情報が含まれています。

- インストールに失敗した後、再インストール ユーティリティを使用し、HP Officejet を再インストールできる状態までコンピュータを戻す方法
- Windows 98 で再インストール ユーティリティを使用して、コンポジット USB システム ドライバーが見つからないエラーから復帰する方法

  ソフトウェアをインストールする前にハードウェアがインストールされている場合、このエラーが発生する可能性があります。再インストール ユーティリティを実行した後、PC を再起動して、HP Officejet をコンピュータに接続する前に HP Officejet ソフトウェアをインストールします。

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/jp/hho-support

ファクス セットアップ時のトラブルシューティング

このセクションは、HP Officejet のファクス機能をセットアップする際に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

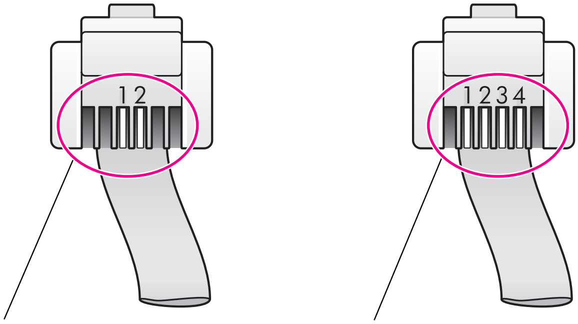
HP Officejet のファクス機能のセットアップ方法については、89 ページの ファクスのセットアップ を参照してください。

HP Officejet のファクス機能の使用時に発生する可能性がある問題の解決方法の詳細については、ソフトウェアに付属する **HP フォト イメージング ヘルプ**の **hp officejet 5500 series** のトラブルシューティングに関するセクションを参照してください。

ファクスの送信および受信がうまく行えない

- HP Officejet が、「1-LINE」というラベルの付いたポートから同梱されている電話コードを使って壁側のモジュラー ジャックに接続されていることを確認してください

  HP Officejet 同梱の電話コード * は 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式コードとは違います。下図の 2 つのタイプのコードと、コードの終端を比較してみてください。



2 線式コード
2 線式電話コード
(HP Officejet と同梱) の
終端部

4 線式コード
4 線式電話コードの終端部
(HP Officejet に直接接続する
と、ファクス使用時に問題が
発生する場合があります)

* この原因 / ソリューションが当てはまるのは、2 線式電話コードが HP Officejet と同梱されている次のような国 / 地域だけです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

4 線式コードが使用されている場合は、それを取り外し、同梱されている 2 線式コードを HP Officejet (「1-LINE」というラベルが付いているポート) に接続します。このコードの接続方法の詳細については、89 ページの**ファクスのセットアップ** を参照してください。

ご注意： 2 線式コードの長さが不足で、延長する必要がある場合は、電話コード延長コネクタを購入し、4 線式コードを使用すると、長さを延長できます。必要となる電話コード延長コネクタは、一方の端で 2 線式コードに接続し、もう一方の端で 4 線式コードに接続できるタイプのものです。2 線式コードで HP Officejet の「1-LINE」ポートと電話コード延長コネクタの一方の端を接続した後、4 線式コードでカプラーの反対側の端と壁側のモジュラージャックを接続します。

ファクスの送信および受信がうまく行えない

- HP Officejet が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていること、および HP Officejet と電話線を共有するその他の機器および設備が正しく接続されていることを確認してください。

  HP Officejet の背面にある 1-LINE ポートは壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用し、2-EXT ポートは PC モデムや留守番電話などの機器の接続に使用します。詳細および接続図については、89 ページの**ファクスのセットアップ** を参照してください。

- 電話線分配器がファクス使用時の問題の原因となることがあります。(スプリッタは、ジャックに差し込む 2 線コード コネクタです。) 分配器を取り除き、HP Officejet を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 壁側のモジュラー ジャックに電話を接続し、発信音を確認して、壁側のモジュラー ジャックの電話線が機能していることをチェックしてください。

- 電話線の音質が悪い (雑音がある) と、ファクスの使用時に問題が発生する可能性があります。電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。ノイズが聞こえたら、HP Officejet の [エラー シュウセイ モード] (ECM) 機能をオフにし、ファクスの操作を再度実行してみてください。詳しくは、84 ページのエラー補正モードの使用を参照してください。また、電話会社に連絡し、お使いの回線のノイズについてご報告ください。
- HP Officejet と同じ電話線を使用するその他の機器が使用中であることもあります。たとえば、内線電話が使用中の場合や、PC モデムで電子メールの操作やインターネットへのアクセスを実行していると、HP Officejet のファクス機能は使用できません。
- デジタル加入者線 (DSL) の使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタは、HP Officejet が電話線とうまくやり取りするのを妨害するデジタル信号を除去します。DSL フィルタの接続方法については、98 ページの **DSL 回線からファクスする** を参照してください。
- HP Officejet のフロント パネルに表示されるエラー メッセージをチェックしてください。製品のエラー状態が解除されるまで、ファクスの送受信は行うことができません。エラー状態の解決方法については、ソフトウェアに付属する **HP フォト イメージング ヘルプ**の **hp officejet 5500 series** のトラブルシューティングに関するセクションを参照してください。
- PBX または ISDN コンバータを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP Officejet が接続されていることを確認してください。

  一部の ISDN システムでは、特定の電話機に複数のポートを設定できます。たとえば、電話およびグループ 3 ファクス用に 1 つのポートを割り当て、他方のポートを複数の目的に割り当てることもできます。ファクス / 電話ポートに接続しているときに問題が解決しない場合は、複数の目的用のポート (「多用途」などのラベルが貼られている場合がある) を使用してみてください。

ファクスの送信は行えるが、受信が行えない

- [オウトウ ノ ヨビダシ カイスウ] 機能が設定されておらず、呼び出しが所定の回数実行されても応答しない設定になっている可能性があります。詳しくは、72 ページの応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。ボイスメール サービスをお使いの場合のファクスのセットアップ方法については、89 ページのファクスのセットアップ を参照してください。ファクスの手動受信については、73 ページの**ファクスを自動または手動で受信するために hp officejet をセットアップする**を参照してください。

- HP Officejet と同じ電話回線上に PC モデムがある場合は、モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。モデムのファクス自動受信機能がオンになっていると、そのモデムが代わりに電話に出て、送信されたファクスをすべて受信します。そのため、HP Officejet は、ファクスを受信することができません。
- HP Officejet と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP Officejet がファクス トーンを検出し、それが原因で送信元のファクス機が切断される。
  - HP Officejet がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。この問題は、デジタル留守番電話の場合によく発生します。

  以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。

  a. 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみる。ファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が問題の原因かもしれません。
  b. 留守番電話を再接続し、発信メッセージを録音し直してみる。メッセージはできるだけ短くし (10 秒以下)、録音時はやさしくゆっくりとしゃべってください。そして、ファクスを再度受信してみてください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP Officejet の [オウトウ ヨビダシ ノ パターン] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号にダブルの呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、[オウトウ ヨビダシ ノ パターン] の設定値として [ヨビダシ 2 カイ] が選択されていることを確認します。この設定の変更については、85 ページの応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更 を参照してください。

  短い呼び出し音パターンと長い呼び出し音パターンが交互になっている場合など、HP Officejet では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っている場合に問題があるときは、電話会社に依頼し、交互型でない呼び出し音パターンを割り当ててもらってください。

ファクスの送信は行えるが、ファクスの受信が行えない

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP Officejet の [オウトウ ヨビダシ ノ パターン] 機能に [スベテ ノ ヨビダシ] が設定されていることを確認してください。詳しくは、85 ページの応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更を参照してください。
- HP Officejet が留守番電話や PC モデムなどのほかのタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰し、ファクスの受信時に問題が発生する可能性があります。

  ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP Officejet 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。ファクスの受信に成功した場合は、取り外した機器のいずれかが問題の原因です。問題の原因となっている機器が判明するまで、機器を一度に 1 つずつ取り付け、ファクスを受信してみてください。

ファクスの受信は行えるが、ファクスの送信が行えない

- 短縮ダイヤルを使用してファクス番号をダイヤルしている場合は、HP Officejet によるダイヤリングが速すぎたり、早すぎたりすることがあります。この問題を解決するには、次の操作を行ってください。
  - 短縮ダイアルのエントリを作成し直し、ポーズをいくつか挿入してみてください。詳しくは、79 ページの個々の短縮ダイヤルエントリの作成を参照してください。
- 電話回線で PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線用の番号をダイヤルしていることを確認してください。
- 受信側のファクス機に問題がある場合もあります。それを調べるには、電話からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてみてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機に電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイスメール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。

ファクス トーンが留守番電話に録音されている

- ファクスと同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、89 ページのファクスのセットアップ の記述に従って、留守番電話を HP Officejet に直接 (または直接接続の PC モデムを介して) 接続してください。推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。

HP Officejet を接続した時点以降、電話回線上で静電ノイズが聞こえる

- HP Officejet が「1-LINE」というラベルの付いたポートから HP Officejet と同梱されている電話コードを使って壁側のモジュラー ジャックに接続されていない場合は、電話回線上で静電ノイズが聞こえ、ファクスがうまく機能しないことがあります。* これは特殊な 2 線式コードであり、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。詳しくは、160 ページのファクスの送信および受信がうまく行えないを参照してください。

  * この原因 / ソリューションが当てはまるのは、2 線式電話コードが HP Officejet と同梱されている次のような国 / 地域だけです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。
- 電話回線分配器を使用すると、電話回線の音質が影響を受け、静電ノイズが発生する場合があります。分配器を取り除き、HP Officejet を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

HP Instant Share セットアップ時のトラブルシューティング

HP Instant Share セットアップ時のエラー (アドレス帳のセットアップ時に発生するエラーなど) については、HP Instant Share の画面に固有なヘルプを参照してください。動作時に固有なトラブルシューティングについては、次の動作時のトラブルシューティング を参照してください。

動作時のトラブルシューティング

HP フォト イメージング ヘルプの hp officejet 5500 series のトラブルシューティングのセクションには、HP Officejet に関連するいくつかの一般的な問題に対するトラブルシューティング上のヒントが記述されています。Windows マシンでトラブルシューティング情報にアクセスするには、HP フォト イメージング ディレクタ で [ヘルプ] をクリックした後、[トラブルシューティングとサポート] を選択します。トラブルシューティング情報は、一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Macintosh (OS X) でトラブルシューティング情報にアクセスするには、ドックで [HP ディレクタ (All-in-One)] アイコンをクリックし、[HP ディレクタ] メニューで [HP ヘルプ] を選択した後、[HP フォト イメージング ヘルプ] を選択し、ヘルプ ビューアで hp officejet 5500 series [トラブルシューティング] をクリックします。

インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます

www.hp.com/jp/hho-support

この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

HP Instant Share のトラブルシューティング

HP Instant Share の基本的なトラブルシューティングについては、下記の表を参照してください。HP Instant Share の Web サイトにアクセスすると、出力されたエラー メッセージに関するオンライン ヘルプが得られます。

インターネットに接続できない

[インターネットに接続] 画面が表示された場合、お使いのコンピュータは HP Instant Share サーバーに接続できません。

- インターネット接続を確認し、オンライン状態であることをチェックしてください。
- ファイアウォールの背後にいる場合は、ブラウザでのプロキシの設定が正しいことを確認してください。

HP Instant Share サービスが一時的に利用できない

HP Instant Share サーバーは現在、メンテナンスのためにダウンしています。

- 接続を後で再度試みてください。

索引

数字

10 x 15 cm のフチなし写真
- 原稿のセット , **48**
- コピー , **56**
- ページに合わせる , **58**

C

CD-ROM, **152**

D

DSL, **98**

F

FCC の告示 , **139**
FCC 要件 , **138**

H

HP Instant Share
- Windows でのアクセス , **146**
- 概要 , **145**
- 簡易操作 , **145**
- スキャンした画像の使用 , **146**

HP Officejet
- オフィスでのセットアップ , **89**
- 概要 , **31**
- パーツ , **31**
- 発送準備 , **125**
- フロント パネル , **32**
- 返送 , **129**
- メニュー , **34**
- メンテナンス , **107**

hp officejet
- パーツ , **xi**

HP Officejet の返送 , **125**, **129**
HP カスタマ サポート , **121**
HP ディレクタ
- HP Instant Share を開く (Windows), **146**
- 電子メール オプションを開く (Macintosh), **148**
- HP ディレクタ ソフトウェアの使い方 , **35**

I

ISDN, **99**

O

officejet の概要
- インストール時 , **5**

P

PC モデム
- ファクス回線のセットアップ , **96**

U

USB 画面上の赤の X, **152**
USB ケーブル , **152**, **159**
USB ケーブルの接続 , **159**
USB ケーブルの取り付け , **159**

あ

アイコンが表示されない , **154**
暗
- コピー , **61**
- 写真 , **63**
- ファクス , **81**

い

インク
- レベルのチェック , **109**

インク カートリッジ , **157**
インク カートリッジが空 , **158**
インク カートリッジの位置を調整する , **157**
インク カートリッジ。プリント カートリッジを*参照*
印刷 , **101**
- 印刷オプション , **102**
- キャンセル , **104**
- 現在の設定の変更 , **103**
- セルフテスト レポート , **109**
- ソフトウェアから , **101**
- デフォルト設定の変更 , **102**
- ファクス レポート , **77**
- メモリ内のファクス , **88**

印刷エラー , **158**
印刷余白の仕様 , **134**
インストールが失敗した , **152**
インストールが不完全 , **154**

え

エラー補正モード (ECM), **84**

お

応答するまでの呼び出し回数 , **72**
音、ファクスの調整 , **85**

か

カード、セット , **49**
カートリッジ
- 扱い方 , **110**
- インク レベルのチェック , **109**
- クリーニング , **115**
- 交換 , **111**
- 接点のクリーニング , **116**
- セルフテスト レポート , **109**
- 注文 , **105**
- 調整 , **113**

解像度
- ファクス , **80**

カスタマ サポート , **121**
- Web サイト , **121**
- 米国以外 , **122**
- 保証 , **129**
- 連絡先 , **121**

カバーの裏側、クリーニング , **108**
紙詰まり , **158**
カラー
- 写真の強調 , **63**
- 濃度 , **61**
- ファクス , **69**

ガラス板、クリーニング , **107**
環境
- インクジェット サプライ品リサイクル , **137**
- エネルギー消費 , **136**
- オゾン層の保護 , **136**
- 化学物質等安全データシート , **137**
- 環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム , **136**

プラスチック , **137**
保護 , **136**
用紙の使用 , **137**
リサイクル プログラム , **137**
環境仕様 , **136**

き

キーパッド、文字の入力 , **76**
技術情報
印刷余白の仕様 , **134**
環境仕様 , **136**
自動ドキュメント フィーダの収容枚数 , **134**
スキャンの仕様 , **135**
電気的仕様 , **135**
ファクスの仕様 , **135**
物理的仕様 , **135**
用紙サイズ , **134**
用紙トレイの収容枚数 , **133**
用紙の仕様 , **133**
規制に関する告知 , **138**
FCC の告示 , **139**
FCC 要件 , **138**
カナダのユーザーに対する告示 , **140**
韓国のユーザーに対する告示 , **142**
規制モデルの ID 番号 , **138**
適合宣言 (欧州連合), **141**
適合宣言 (米国), **143**
ドイツのユーザーに対する告示 , **141**
ヨーロッパ経済圏 , **141**
キャリッジのブロック , **158**
キャンセル
印刷 , **104**
コピー , **63**
スキャン , **66**
スケジュールしたファクス , **71**
ファクス , **88**
きれいコピー設定 , **54**

く

国の設定 , **157**
グリーティング カード , **49**
クリーニング
カバーの裏側 , **108**
ガラス板 , **107**
外側 , **108**
プリント カートリッジ , **115**
プリント カートリッジの接点 , **116**

け

言語の設定 , **157**

こ

高画質コピー設定 , **54**
工場出荷時の初期設定に戻す , **117**
工場出荷時の初期設定、戻す , **117**
コピー , **53**
色あせた原稿 , **61**
拡大 , **58**
カラー , **56**
キャンセル , **63**
写真、強調 , **63**
縮小 , **60**
速度 , **54**
デフォルト設定 , **54**
品質 , **54**
フチなし写真 , **56**
ページに合わせる , **58**
枚数 , **58**
文字、強調 , **62**
モノクロ , **55**
用紙のサイズ , **50**
用紙の種類 , **50**
リーガルから A4 へ , **60**
コントラスト、ファクス , **80**

さ

最低のシステム要件 , **152**
サウンド、セルフメンテナンス , **119**
サポート サービス , **121**

し

時刻、設定 , **86**
自動ドキュメント フィーダ , **31**
原稿のセット , **41**
収容枚数 , **134**
自動ファクス レポート , **77**
写真
コピーの強調 , **63**
ファクス , **69**
フチなしコピー , **56**
ページに合わせる , **58**
写真の送信
Macintosh, **147**
スキャンした画像の使用 , **148**
縮小 / 拡大コピー
A4 用紙に合わせてサイズ調整 , **60**
ページに合わせる , **58**
手動ファクス レポート , **78**

す

スキャン , **65**
キャンセル , **66**
高解像度 , **65**
スキャンの仕様 , **135**
フロント パネルからの , **65**
スクロール速度 , **118**

せ

設定
印刷オプション , **102**
言語と国 , **157**
セット
カード , **46, 49**
ガラス板上に原稿を , **43**
自動ドキュメント フィーダにセットした原稿 , **41**
はがき , **46, 49**
封筒 , **47**
フォト用紙 , **48**
用紙 , **44**
セットアップ , **5**
ファクス , **89**
セットアップ、ファクス , **89**
セルフテスト レポート , **109**

そ

速度
コピー , **54**
フロント パネル スクロール , **118**
フロント パネル プロンプト遅延 , **118**
ソフトウェア , **152**
印刷する , **101**
ソフトウェアのインストール , **5, 152**
ソフトウェアの再インストール , **154**

た

短縮ダイヤルのエントリ
概要 , **79**
削除 , **80**
追加 , **79**
ファクスの送信 , **70**

ち

着信識別音 , **85**
中止

印刷 , **104**
コピー , **63**
スキャン , **66**
スケジュールしたファクス , **71**
ファクス , **88**
注文
プリント カートリッジ , **105**
用紙 , **105**

て
適合宣言
(EU), **141**
(U.S.), **143**
デジタル加入者回線 (DSL), **91**
デフォルト設定
印刷用に変更 , **102**
工場出荷時の初期設定に戻す , **117**
コピー用に変更 , **54**
ファクス , **82**
電気的仕様 , **135**
電源をオンにする , **157**
電話加入者識別コード , **75**
電話番号、カスタマ サポート , **121**

と
登録画面が表示されない , **156**
トーン ダイヤル , **87**
トラブルシューティング
HP Instant Share セットアップ時 , **164**
HP Instant Share の使用 , **165**
インストール時 , **151**
ソフトウェアのインストール , **152**
動作時 , **165**
ハードウェアおよびソフトウェアのインストール時 , **151**
ハードウェアのインストール時 , **156**
ファクスのセットアップ時 , **160**

は
はがき
セット , **49**
バックアップ ファクス受信 , **87**
はやいコピー設定 , **54**
パルス ダイヤル , **87**

ひ
日付、設定 , **86**
必須のアイコン , **153**
必須のアイコンが表示されない , **154**
品質
コピー , **54**

ふ
ファクス , **67**
DSL 回線のセットアップ , **98**
エラー補正モード (ECM), **84**
応答がない , **83**
応答するまでの呼び出し回数 , **72**
応答呼び出し音のパターン , **85**
オフィス機器のセットアップ , **89**
解像度 , **80**
確認 , **68**
カラー ファクスの送信 , **69**
キャンセル , **88**
コントラスト , **80**
再印刷 , **88**
自動縮小 , **84**
自動受信 , **73**
写真 , **69**
受信 , **72**
手動受信 , **73**, **74**
スケジュール , **70**
スケジュールのキャンセル , **71**
セットアップ , **89**
送信 , **68**
短縮ダイヤル , **70**
短縮ダイヤル エントリ、削除 , **80**
短縮ダイヤル エントリ、追加 , **79**
単独のファクス回線のセットアップ , **93**
着信識別音 , **85**
着信識別サービスのセットアップ , **94**
デジタル加入者回線 (DSL), **91**
デフォルト , **82**
転送 , **83**
転送のキャンセル , **84**
電話 / ファクス / 留守番電話回線のセットアップ , **97**
電話線の静電ノイズに関する問題 , **164**
電話とファクスとの回線共有のセットアップ , **95**
トーン ダイヤル , **87**
バックアップ ファクス受信 , **87**
パルス ダイヤル , **87**
ビジー , **83**
ビジー状態あるいは応答のない番号にリダイヤルする , **83**
日付と時刻 , **86**
ファクス /PC モデム回線のセットアップ , **96**
ファクスの送受信の問題 , **160**, **162**
ファクスの仕様 , **135**
ヘッダー , **75**
ポーリングを使用して受信 , **75**
ボリューム , **85**
メモリから送信 , **71**
用紙のサイズ , **50**, **86**
留守番電話の問題 , **164**
レポート , **77**
ファクス ウィザードが起動されない , **155**
ファクスの受信 , **72**
ファクスのセットアップ時
トラブルシューティング , **160**
ファクスの送信 , **68**
ファクスの転送
キャンセル , **84**
セットアップ , **83**
ファクスのリダイヤル , **83**
封筒
セット , **47**
フォト用紙
セット , **48**
複数の番号をもつ電話回線 , **85**
フチなし写真
コピー , **56**
物理的仕様 , **135**
部品の説明 , **xi**
不明なエラー メッセージ , **153**
プリント カートリッジ , **157**
扱い方 , **110**

インク レベルのチェック , **109**
クリーニング , **115**
交換 , **111**
接点のクリーニング , **116**
セルフテスト レポート , **109**
注文 , **105**
調整 , **113**
プリント カートリッジが空 , **158**
プリント カートリッジの位置調整 , **113**, **157**
プリント カートリッジの交換 , **111**
フロント パネル , **31**
概要 , **32**
スクロール速度 , **118**
プロンプト遅延 , **118**
メニュー , **34**
文字の入力 , **76**
フロント パネル ディスプレイ , **156**
言語の設定 , **157**
フロント パネルの取り付け , **156**
プロンプト遅延、設定 , **118**

へ

ページに合わせる , **58**
ヘルプ , **vii**

ほ

ポーリングを使用してファクスを受信 , **75**
保証 , **129**
期間 , **129**
告示 , **129**
ボリューム、ファクスの調整 , **85**

ま

枚数
コピー , **58**

み

明
ファクス , **81**

め

メニューの概要 , **34**
メモリ
ファクスの再印刷 , **88**
メモリにあるファクスの再印刷 , **88**
メンテナンス , **107**
インク レベルのチェック , **109**
カバーの裏側のクリーニング , **108**
ガラス板のクリーニング , **107**
工場出荷時の初期設定に戻す , **117**
スクロール速度の設定 , **118**
セルフテスト レポート , **109**
セルフメンテナンス サウンド , **119**
外側のクリーニング , **108**
プリント カートリッジのクリーニング , **115**
プリント カートリッジの交換 , **111**
プリント カートリッジの接点のクリーニング , **116**
プリント カートリッジの調整 , **113**

も

文字
キーパッドから入力 , **76**
コピーの強調 , **62**
モデム PC モデムを参照してください。

よ

用紙
紙詰まりの防止 , **51**
給紙トレイにセットする , **44**
原稿のセット , **41**
サイズ、設定 , **50**
サイズ、ファクス用に設定 , **86**
写真のセット , **48**
種類、設定 , **50**
推奨 , **49**
セット , **41**
注文 , **105**
他の種類をセット , **49**
用紙サイズ , **134**
リーガルから A4 へコピー , **60**
用紙トレイの収容枚数 , **133**
用紙に合わせてファクスを縮小 , **84**
用紙の仕様 , **133**
呼び出し音、応答パターン , **85**

ら

ラベル
セット , **49**

る

留守番電話
電話 / ファクス回線のセットアップ , **97**

れ

レポート
セルフテスト , **109**
ファクス、自動 , **77**
ファクス、手動 , **78**

お客様サポート窓口

本製品についてのご質問は、下記の hp 窓口へお問い合わせください。

日本 hp インクジェットプリンタ ホームページ

http://www.hp.com/jp/inkjet/

ホームページ内の［サポート情報／ドライバ］をクリックしてください。よくあるお問い合せの解決方法や、最新のプリンタドライバの情報を入手できます。

電話サポート（カスタマ・ケア・センタ）

TEL：0570-000511（ナビダイヤル）
　　03-3335-9800（ナビダイヤルがご利用になれない場合にご使用ください）
FAX：03-3335-8338

- 電話受付時間：平日 9:00～17:00
  土曜日／日曜日 10:00～17:00
  （祝祭日、年始を除く）
- FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

修理に関するお問い合せ（hp クイックエクスチェンジサービス）

本製品に不具合が生じた場合、まずは下記電話窓口までご連絡ください。故障と診断された場合、「hp クイックエクスチェンジサービス」によって、良品のお届けと同時に故障した製品のお取り引きに伺います。

TEL：0570-000511（ナビダイヤル）
　　03-3335-9800（ナビダイヤルがご利用になれない場合にご使用ください）

- 電話受付時間：平日 9:00～17:00
  土曜日／日曜日 10:00～17:00
  （祝祭日、年始を除く）

E メールサポート

http://japan.support.hp.com/

ホームページ内の［e-mail サポート］をクリックしてください。

オンラインカスタマ登録のお願い

hpでは大切なお客様へ必要な情報をお知らせするため、また適切なサービス・サポートを提供していくためにカスタマ登録をお願いしております。

カスタマ登録はオンライン（http://www.hp.com/jp/inkjet/）で簡単に行うことができます。

hpカスタマ登録の主なメリット

- プリンタドライバや関連情報のお知らせ
- スムーズなアフターサポート対応
- ニュースレター配信サービス（製品の使い方、サポート情報やキャンペーン情報等を予定）

＊ hpカスタマ登録に関する情報・サービスは、ホームページに最新情報を掲載しております。

http://www.hp.com/jp/inkjet/

日本ヒューレット・パッカード株式会社
本社　〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24
http://www.hp.com/jp

リサイクル紙に印刷しています。

シンガポールまたはマレーシアで印刷

Q3434-90213